

令和6年度（繰）角田市立角田小学校トイレ改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)	-	A-26	【改修前】南校舎1階児童トイレ天井伏図	1:50	E-01	電気設備改修工事特記仕様書	-
A-02	建築改修工事特記仕様書(2)	-	A-27	【改修後】南校舎1階児童トイレ天井伏図	1:50	E-02	【改修後】南校舎1階児童トイレ電気設備図	1:50
A-03	建築改修工事特記仕様書(3)	-	A-28	【改修前】南校舎2階児童トイレ天井伏図	1:50	E-03	【改修後】南校舎2階児童トイレ電気設備図	1:50
A-04	建築改修工事特記仕様書(4)	-	A-29	【改修後】南校舎2階児童トイレ天井伏図	1:50	E-04	【改修後】南校舎3階児童トイレ電気設備図	1:50
A-05	建築改修工事特記仕様書(5)	-	A-30	【改修前】南校舎3階児童トイレ天井伏図	1:50	E-05	【改修後】1階職員トイレ電気設備図	1:50
A-06	建築改修工事特記仕様書(6)	-	A-31	【改修後】南校舎3階児童トイレ天井伏図	1:50	E-06	【改修後】南校舎2階東側トイレ電気設備図	1:50
A-07	建築改修工事特記仕様書(7)	-	A-32	【改修後】1階職員トイレ天井伏図	1:50	E-07	【改修後】屋内運動場トイレ電気設備図	1:50
A-08	付近見取り図・全体配置図	1:Free、1:1,200	A-33	【改修後】南校舎2階東側トイレ天井伏図	1:50	E-08	【改修後】北校舎トイレ電気設備図	1:50
A-09	1階平面図	1:400	A-34	【改修前・後】トイレ床断面詳細図	1:50			
A-10	2階平面図	1:400	A-35	【改修前】南校舎1、2階共通女子児童トイレ展開図	1:50	M-01	機械設備改修工事特記仕様書	-
A-11	3階平面図	1:400	A-36	【改修後】南校舎1、2階共通女子児童トイレ展開図	1:50	M-02	【改修前】南校舎1階児童トイレ機械設備図	1:50
A-12	屋内運動場1階平面図	1:200	A-37	【改修前】南校舎1、2階共通男子児童トイレ展開図	1:50	M-03	【改修後】南校舎1階児童トイレ機械設備図	1:50
A-13	【改修前】南校舎1階児童トイレ平面図	1:50	A-38	【改修後】南校舎1、2階共通男子児童トイレ展開図	1:50	M-04	【改修前】南校舎2階児童トイレ機械設備図	1:50
A-14	【改修後】南校舎1階児童トイレ平面図	1:50	A-39	【改修前】南校舎3階女子児童トイレ展開図	1:50	M-05	【改修後】南校舎2階児童トイレ機械設備図	1:50
A-15	【改修前】南校舎2階児童トイレ平面図	1:50	A-40	【改修後】南校舎3階女子児童トイレ展開図	1:50	M-06	【改修前】南校舎3階児童トイレ機械設備図	1:50
A-16	【改修後】南校舎2階児童トイレ平面図	1:50	A-41	【改修前】南校舎3階男子児童トイレ展開図	1:50	M-07	【改修後】南校舎3階児童トイレ機械設備図	1:50
A-17	【改修前】南校舎3階児童トイレ平面図	1:50	A-42	【改修後】南校舎3階男子児童トイレ展開図	1:50	M-08	【改修前】1階職員トイレ機械設備図	1:50
A-18	【改修後】南校舎3階児童トイレ平面図	1:50	A-43	【改修前】1階職員トイレ展開図	1:50	M-09	【改修後】1階職員トイレ機械設備図	1:50
A-19	【改修前】1階職員トイレ平面図	1:50	A-44	【改修後】1階職員トイレ展開図	1:50	M-10	【改修前】南校舎2階東側トイレ機械設備図	1:50
A-20	【改修後】1階職員トイレ平面図	1:50	A-45	【改修前】南校舎2階東児童トイレ展開図	1:50	M-11	【改修後】南校舎2階東側トイレ機械設備図	1:50
A-21	【改修前】南校舎2階東側トイレ平面図	1:50	A-46	【改修後】南校舎2階東児童トイレ展開図	1:50	M-12	【改修前】屋内運動場トイレ機械設備図	1:50
A-22	【改修後】南校舎2階東側トイレ平面図	1:50	A-47	【改修前】屋内運動場トイレ展開図	1:50	M-13	【改修後】屋内運動場トイレ機械設備図	1:50
A-23	【改修前】屋内運動場トイレ平面図	1:50	A-48	【改修後】屋内運動場トイレ展開図	1:50			
A-24	【改修後】屋内運動場トイレ平面図	1:50						
A-25	【改修前・後】北校舎トイレ平面図	1:100						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

16. コンクリートの打込み工法等	コンクリートの打設工法の種類 補強工法 打設工法 部位 ・現場打ちコンクリート壁の増設工事 ・工法指定なし ・全ての増設壁 ・図示による() ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・全ての増設壁 ・図示による() ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3) ・全ての増設壁 ・図示による() ・ ・図示による() ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法) ・工法指定なし ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3) ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・ ・図示による() ・ ・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)			7. アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2) ・構造用アンカーボルト 種類 ・ABR400 ・ABR490 ・ ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト適用箇所 ・図示による() ・ 種類 ・SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による() ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・ 種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ 仮組を行う範囲 ・図示による() ・ 試験の要領 ・図示による() ・ 開先の形状 ・図示による() ・ 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() ・ 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ・ 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による() 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() ・ 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() ・ 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・ 耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・ ・ 溶接材料 ・
-------------------	---	--	--	--

[illegible]

10

ユニット及びその他の工事

1.フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床材 ・タイル・ベタ

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
・以下による
 パネルの長さの寸法精度
 パネルの平面形状（角度）の寸法精度
 フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
帯電防止性能
・評価値 (U) ≥0.6以上
・評価値 (U) ≥1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁶Ω

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スラット ・パネル	・メラミン樹脂焼付又は アル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具
・有り (※図示による)
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆

(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材質	遮音性 (dB/500Hz)
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式	・フック式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ※36以上

パネル表面仕上材材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

(20.2.5)

表面材の材料	脚部種類	ドアエッジ材質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

(20.2.6)

ドア表示錠「パトリオン」非常時外開き仕様
材料の種類及び仕上
・SUS304 表面処理 ※HL程度
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 () 種)
・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 () 種)
色合い ・標準色 () ・特注色 ()
手すりの握り部分

材種	表面仕上	直径 (mm)	取付箇所	備考
・集成材 (材種:)	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度		
・ビニル製		・35程度 ・45程度		

6.階段滑り止め

(20.2.7)

材種
※ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
形状
※タイヤ型 (タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂合等)
・タイヤレス型
寸法 (幅)
・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度
取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

(20.2.9)

黒板及びホワイトボード
・黒板区分
※焼き付け
種類
※鋼製黒板
・ほうろう黒板
色
※緑
・ホワイトボード

(20.2.10)

鏡
取付け箇所 ()
寸法 (mm)
・図示による
厚さ (mm)
※5

(20.2.11)

表示
衝突防止表示
・設置する (設置場所: ※図示による)
形状・寸法 (30φ)
材質 (※ステンレス製)
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)
取付箇所

(20.2.12)

タラップ
材質及び仕上
・SUS304 (スリップ止め加工 ※あり なし)
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 (※C種 種))

(20.2.13)

煙突ライニング
適用安全使用温度
工法
※鋼製ユニット煙突 (煙突用成形ライニング材)

(20.2.14)

ブラインド

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材質	幅・高さ
・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7&ミニム合金製	※25	※鋼製	・図示による
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	7&ミニムスラット ・クロススラット	・80 ・100	※7&ミニム合金製	・図示による

(20.2.15)

ロールスクリーン

操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	

スクリーンの仕様
消防法で定める防災性能の表示があるもの

(20.2.16)

カーテン

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類別、品質、特殊加工等	取付け箇所
・シングル・片引き ・ダブル・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ		・図示による

生地の仕様
消防法で定める防災性能の表示があるもの
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上

15.カーテンレール

(20.2.16)

材料による区分
・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
※ステンレス製
強さによる区分
※10-90
仕上
※アルマイト
形状
※角形
材種
・集成材 (仕上:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色 () ・特注色 ()
・鋼製 (仕上:)

(20.2.16)

ブラインドボックス及びカーテンボックス
材種
・集成材 (仕上:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色 () ・特注色 ()
・鋼製 (仕上:)

(20.2.16)

天井点検口
材種
・集成材 (仕上:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色 () ・特注色 ()
・鋼製 (仕上:)

(20.2.16)

床点検口
材種
・集成材 (仕上:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色 () ・特注色 ()
・鋼製 (仕上:)

(20.2.16)

くつふきマット
材種
・集成材 (仕上:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色 () ・特注色 ()
・鋼製 (仕上:)

(20.2.16)

流し台ユニット
材種
・集成材 (仕上:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色 () ・特注色 ()
・鋼製 (仕上:)

(20.2.16)

旗竿
材種
・集成材 (仕上:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色 () ・特注色 ()
・鋼製 (仕上:)

(20.2.16)

旗竿受金物
材種
・ステンレス製 (SUS 304)

(20.2.16)

車止めさく
材種
・集成材 (仕上:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色 () ・特注色 ()
・鋼製 (仕上:)

(20.2.16)

フェンス
フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ
・図示による

(20.2.16)

間知石及びコンクリート間知ブロック積み
材種
・集成材 (仕上:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色 () ・特注色 ()
・鋼製 (仕上:)

(20.2.16)

鋼製書架及び物品棚
材種
・集成材 (仕上:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色 () ・特注色 ()
・鋼製 (仕上:)

27.屋内掲示板

材の材質
※アルミニウム製
・表面の材質
※塩ビ発泡シート張り
・

28.洗面カウンター

材種
・メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材)
・人工大理石
奥行き (mm)
・約450 ・約600

29.防煙垂れ壁

材質
※網入り磨き板ガラス
・線入り磨き板ガラス
・可動式
種類
材質
高さ (mm)
備考
※網入り磨き板ガラス
・線入り磨き板ガラス
・可動式 (天井材張り)

30.屋外掲示板

照明器具
・有り
・無し
施錠
・有り
・無し
製造所
・

31.収納家具

合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
材質、形状、寸法
※図示による

1.一般事項

2.測定対象化学物質

3.測定方法

4.測定する室

5.測定結果等報告書の提出

6.その他

宮城県角田市角田字大坊 4 1
電話 0224-63-0138
FAX 0224-63-4863
角田市産業建設部都市計画課

設計年月日

調査者氏名

設計者氏名

工事名称
令和6年度 (繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事

図面名称
特記仕様書 (7)

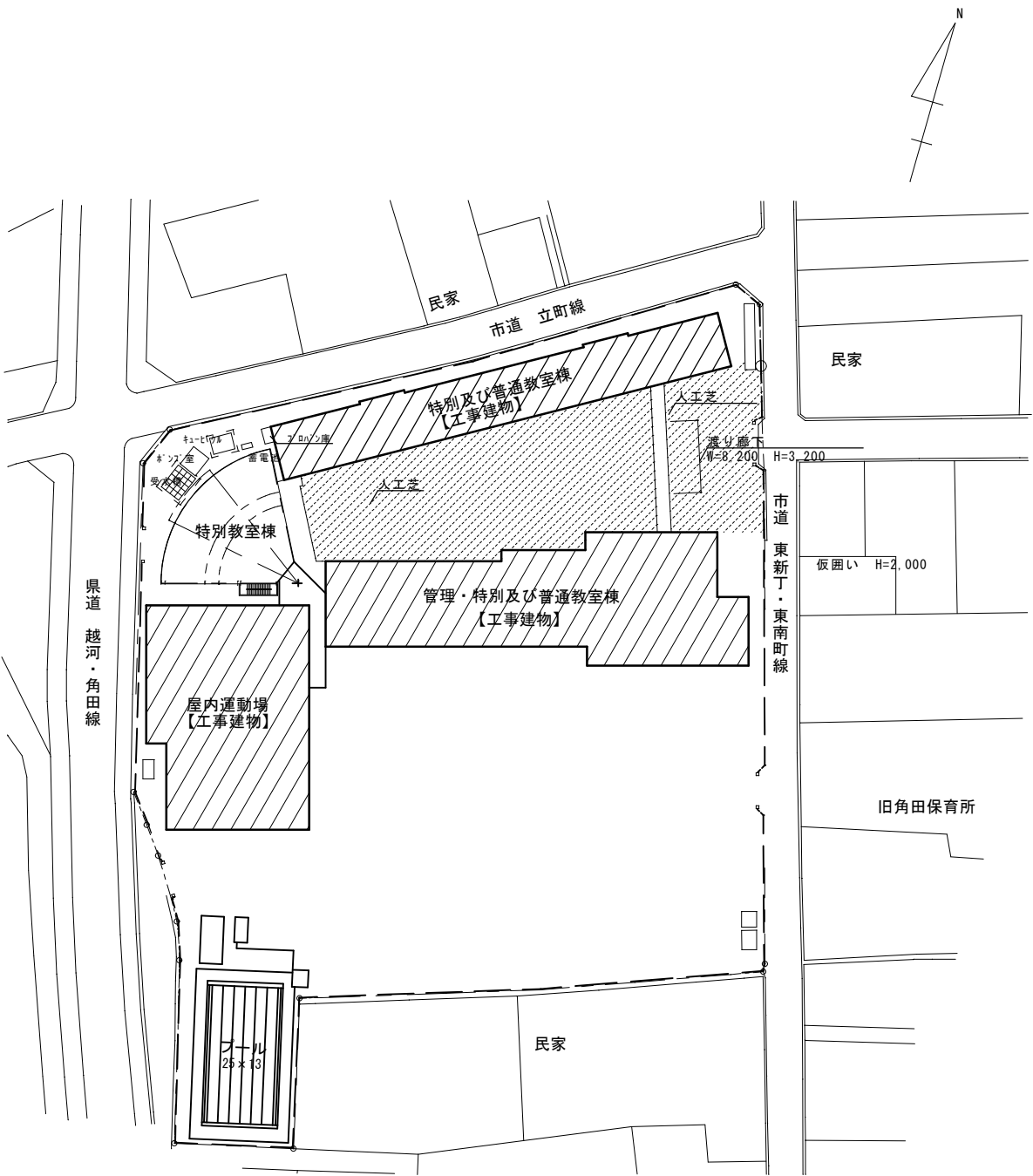
全業

図面 No
A-07



工事場所：角田市角田字牛館地内

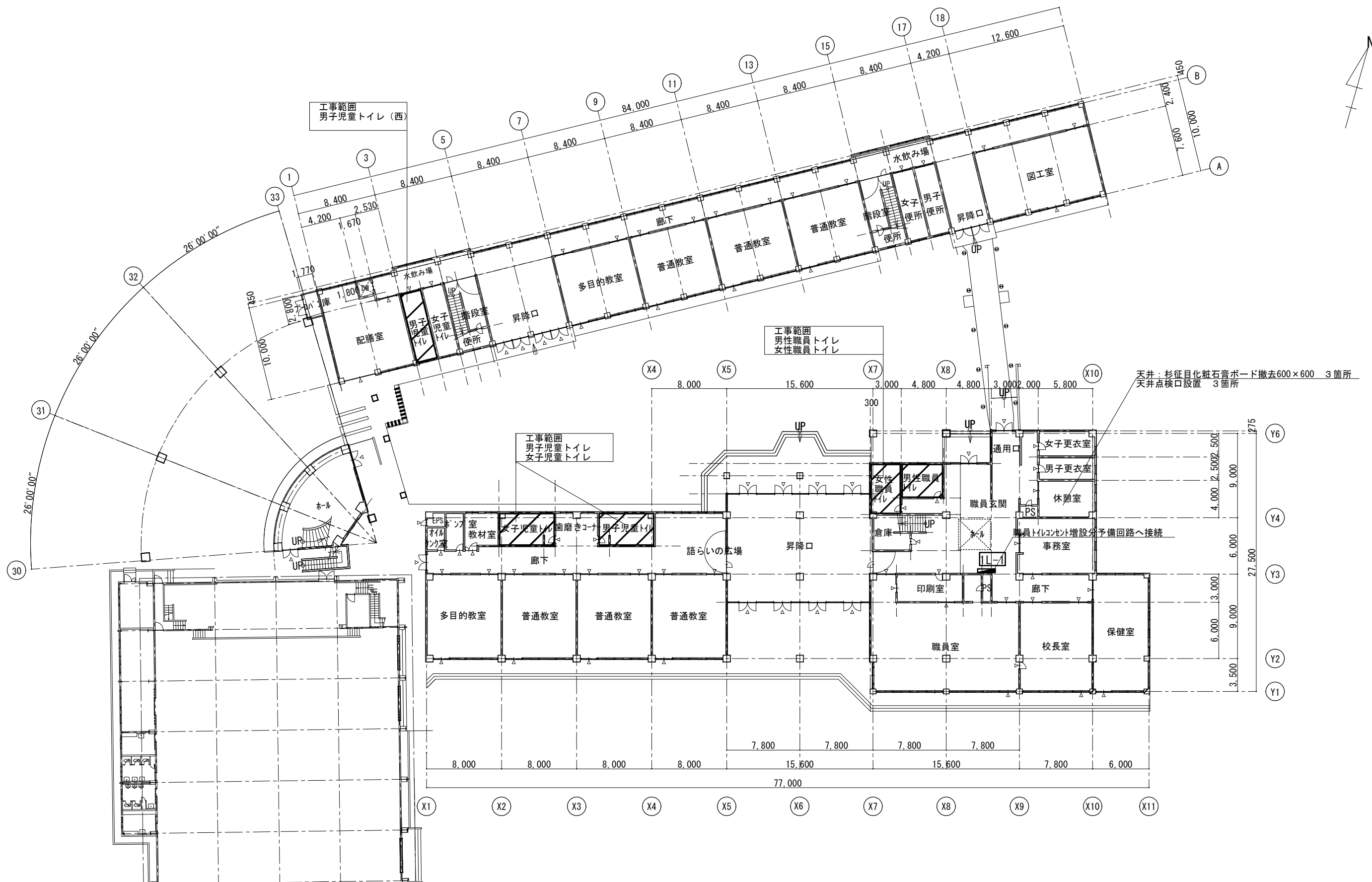
付近見取り図 S=1：Free



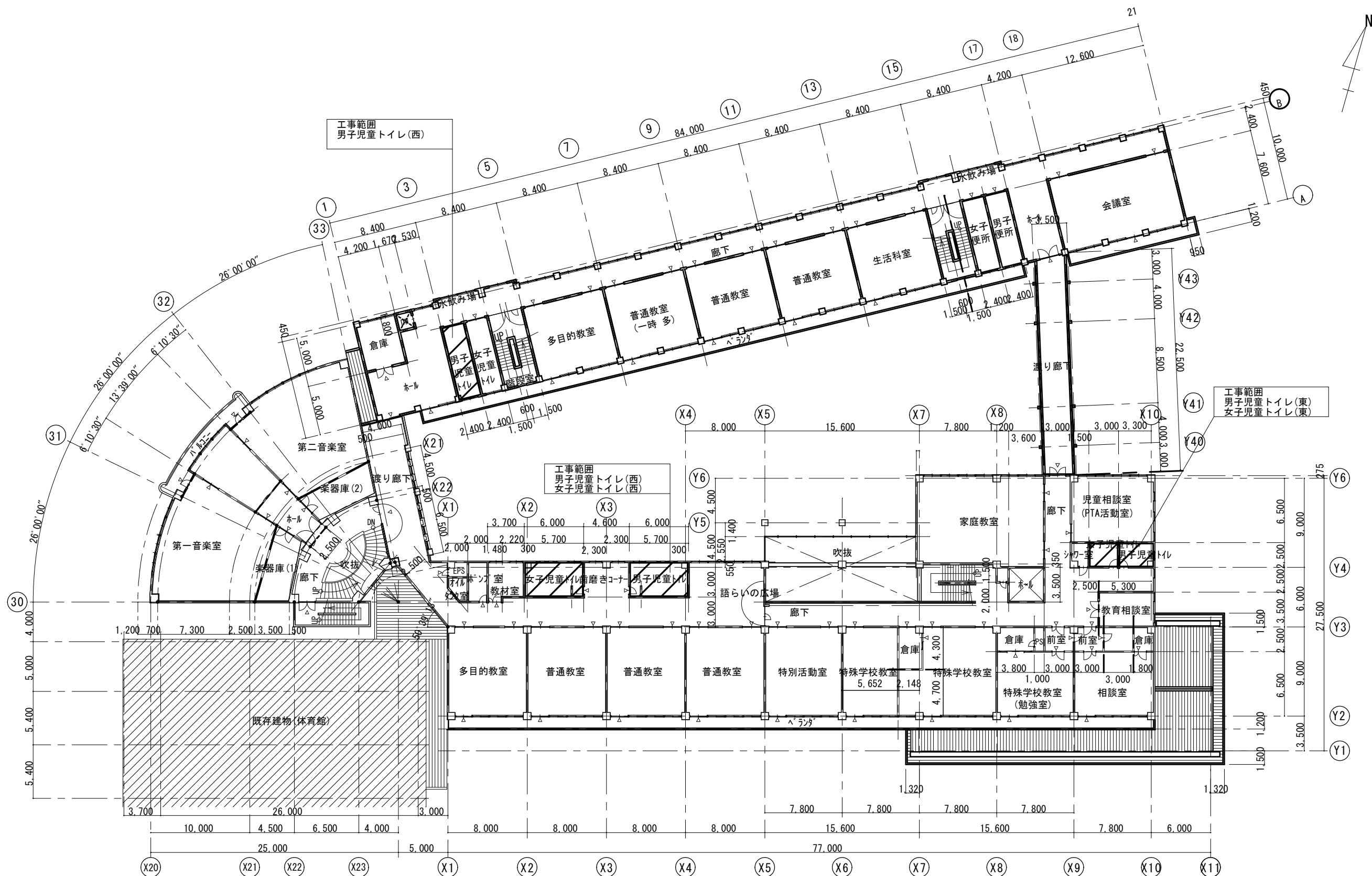
全体配置図 S=1：1,200

工事範囲

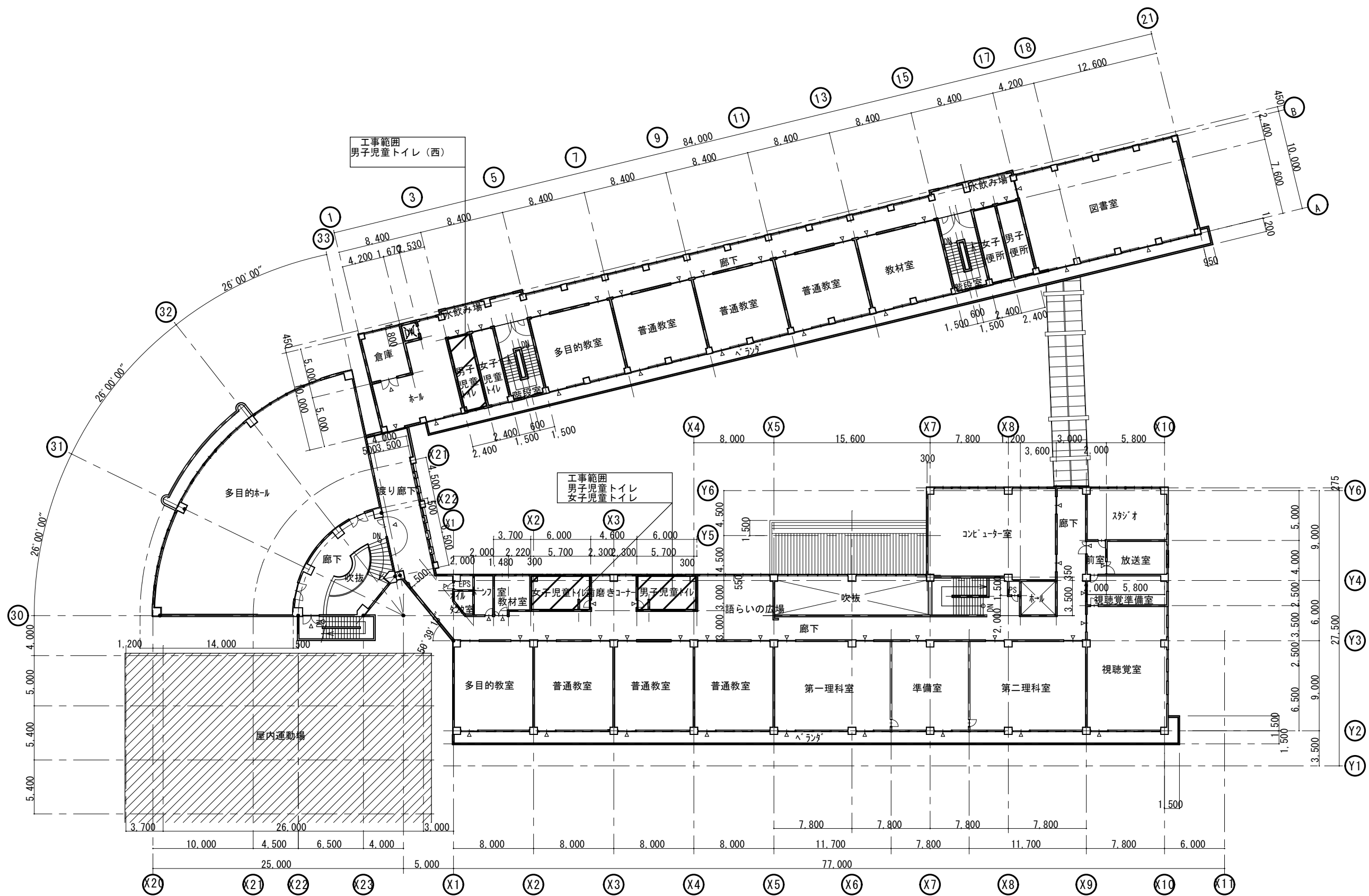
備考		工 事 名	令和6年度（繰）角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	付近見取り図・全体配置図	縮 尺	作成年月日	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	設 計 者	角田市産業建設部 都市計画課	S=1：Fee、1：1,200	2025.6	A-08



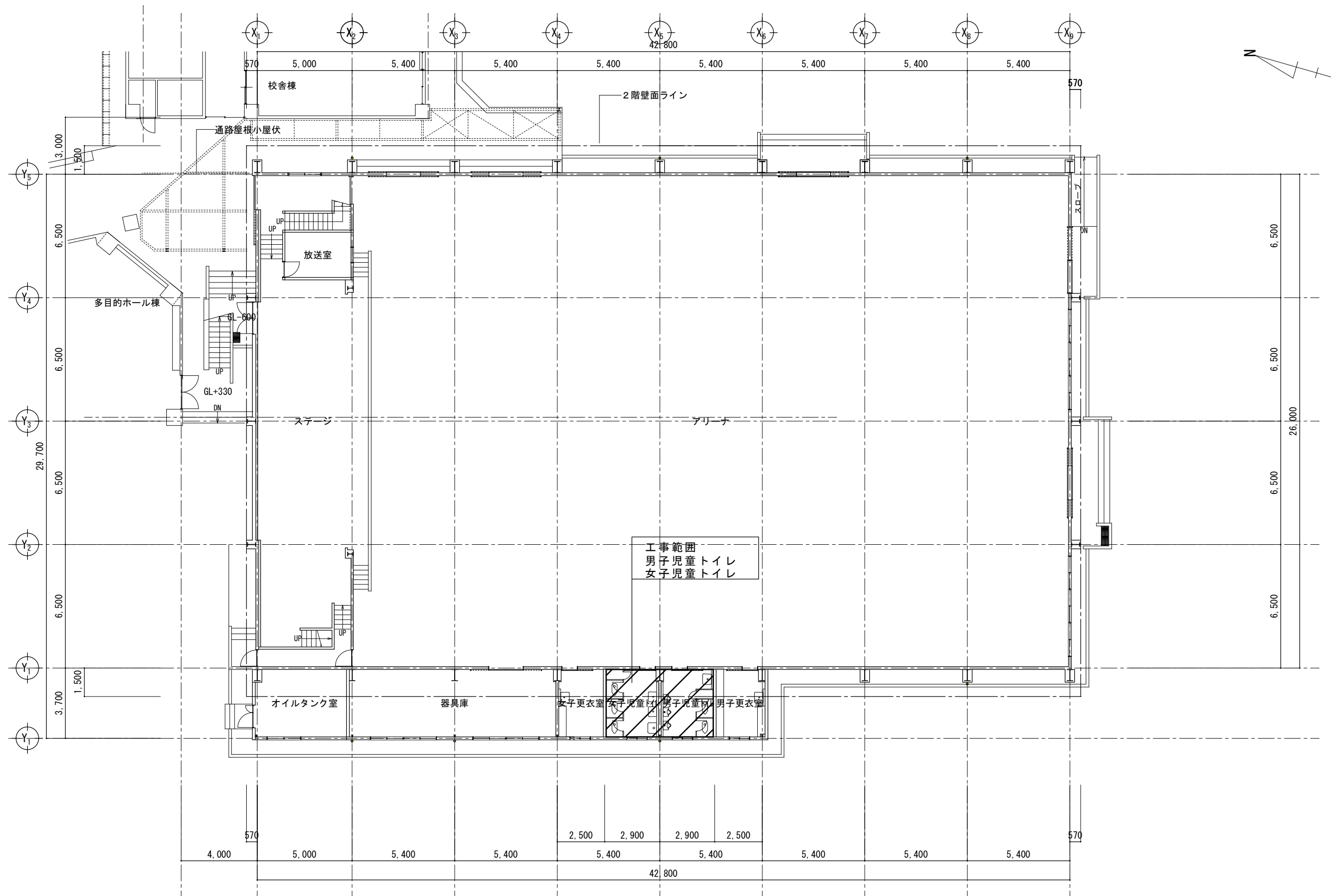
備考		工 事 名	令和6年度（繰）角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	1階平面図	縮 尺	作成年月日	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	設 計 者	角田市産業建設部 都市計画課	S=1:400	2025.6	A-09



		工 事 名	令和6年度（繰）角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	2階平面図	縮 尺	作成年月日	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	設 計 者	角田市産業建設部 都市計画課	1 : 4 0 0	2025.6	A-10



	工 事 名	令和6年度（繰）角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	3階平面図	縮 尺	作成年月日	図 面 番 号
	工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	設 計 者	角田市産業建設部 都市計画課	1 : 4 0 0	2025.6	A-11

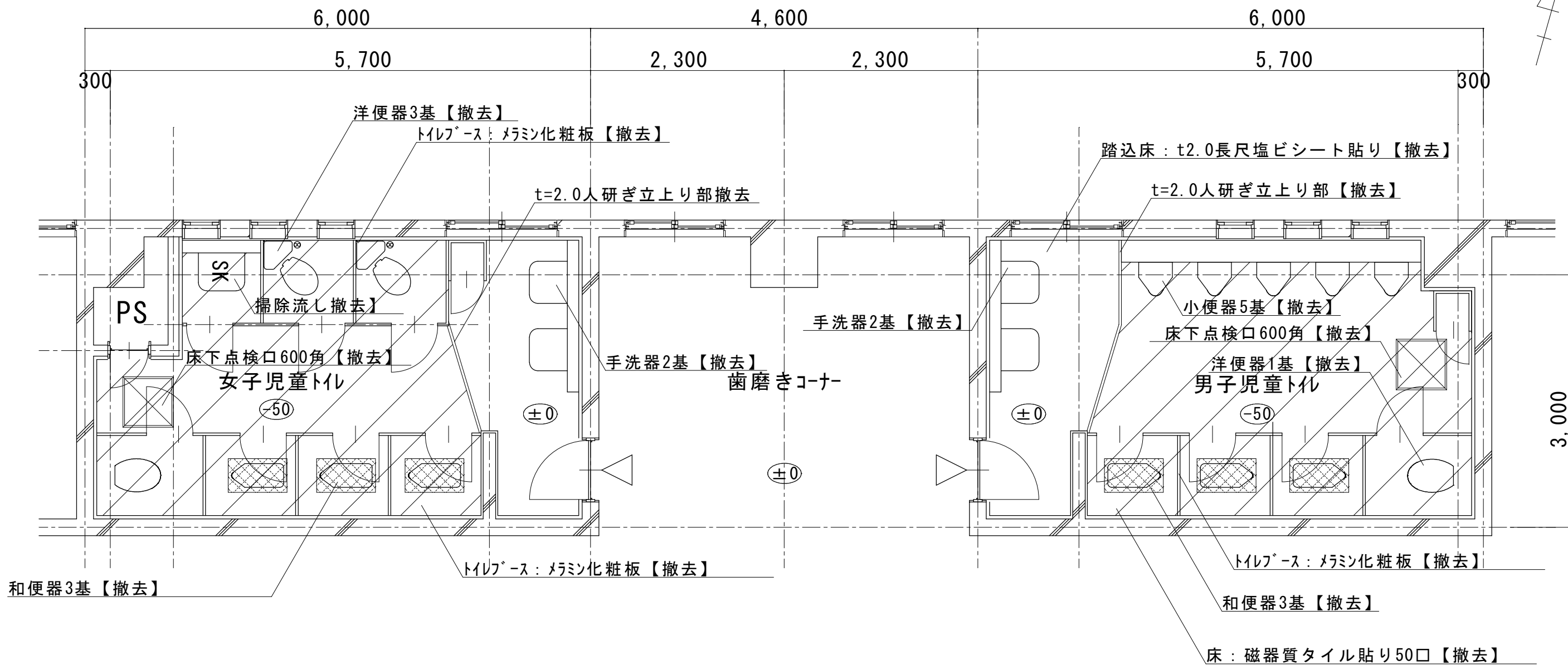


	工 事 名	令和6年度（繰）角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	屋内運動場 1 階平面図	縮 尺	作成年月日	図 面 番 号
	工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	設 計 者	角田市産業建設部 都市計画課	1 : 2 0 0	2025.6	A-12

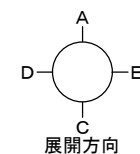
X2

X3

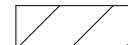
X4



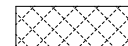
改修前南校舎1階児童トイレ平面図



※紙巻器撤去（大便器につき1個）



磁器質タイル貼り撤去範囲を示す



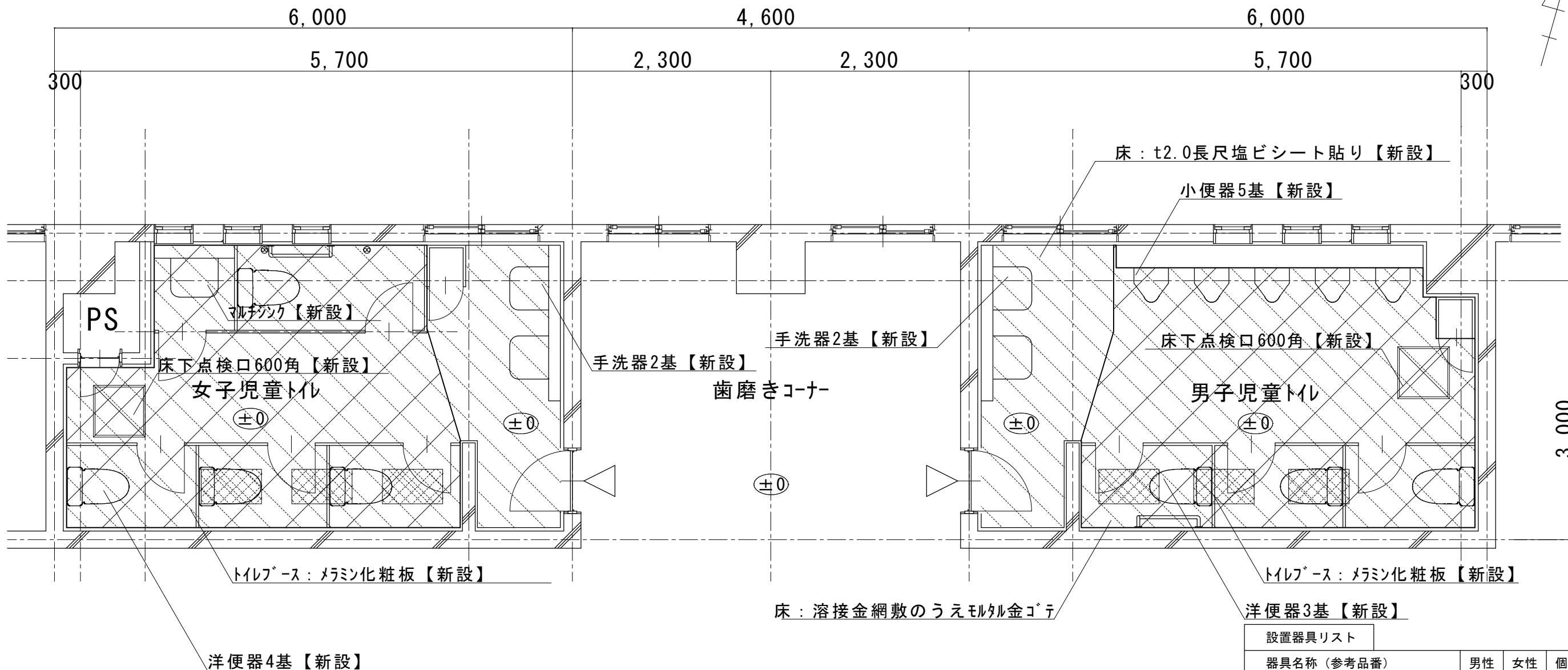
床コンクリート撤去・打設範囲
（t150 差し筋7mm-D10 @200）

備考	工事名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修前】南校舎1階児童トイレ平面図	縮尺	作成年月	図面番号
	工事場所	角田市 角田 字 牛館 地内	発注者	角田市産業建設部 都市計画課	S=1:50	2025.6	A-13

X2

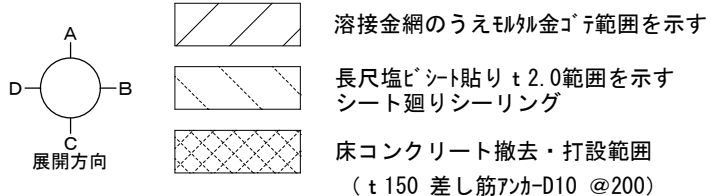
X3

X4



改修後南校舎 1 階児童トイレ平面図

設置器具リスト			
器具名称 (参考品番)	男性	女性	個数
L型手すり (樹脂被覆タイプ)	1	1	2

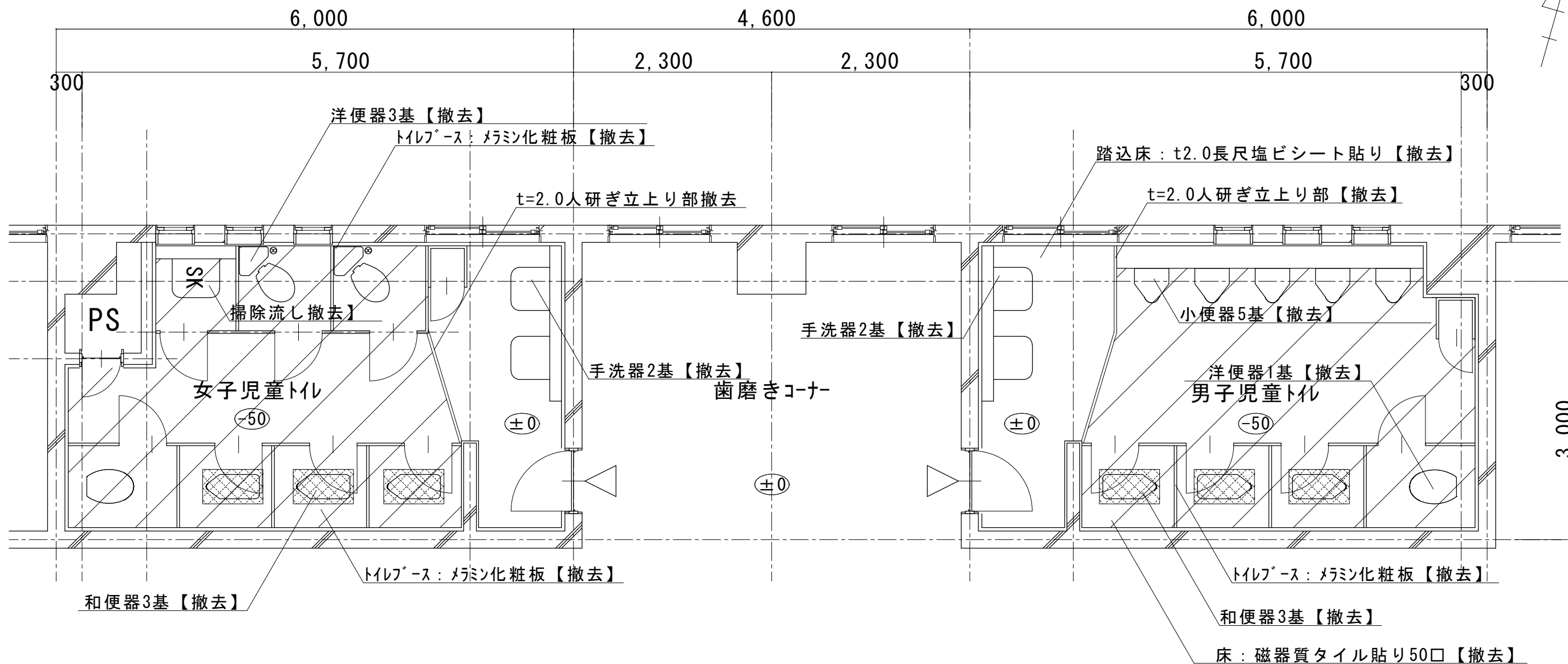


備考	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修後】南校舎1階児童トイレ平面図	縮尺	作成年月	図面番号
	工事場所	角田市 角田 字 牛館 地内	発注者	角田市産業建設部 都市計画課	S=1:50	2025.6	A-14

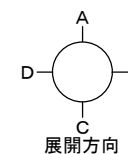
X2

X3

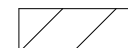
X4



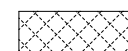
改修前南校舎2階児童トイレ平面図



※紙巻器撤去（大便器につき1個）



磁器質タイル貼り撤去範囲を示す



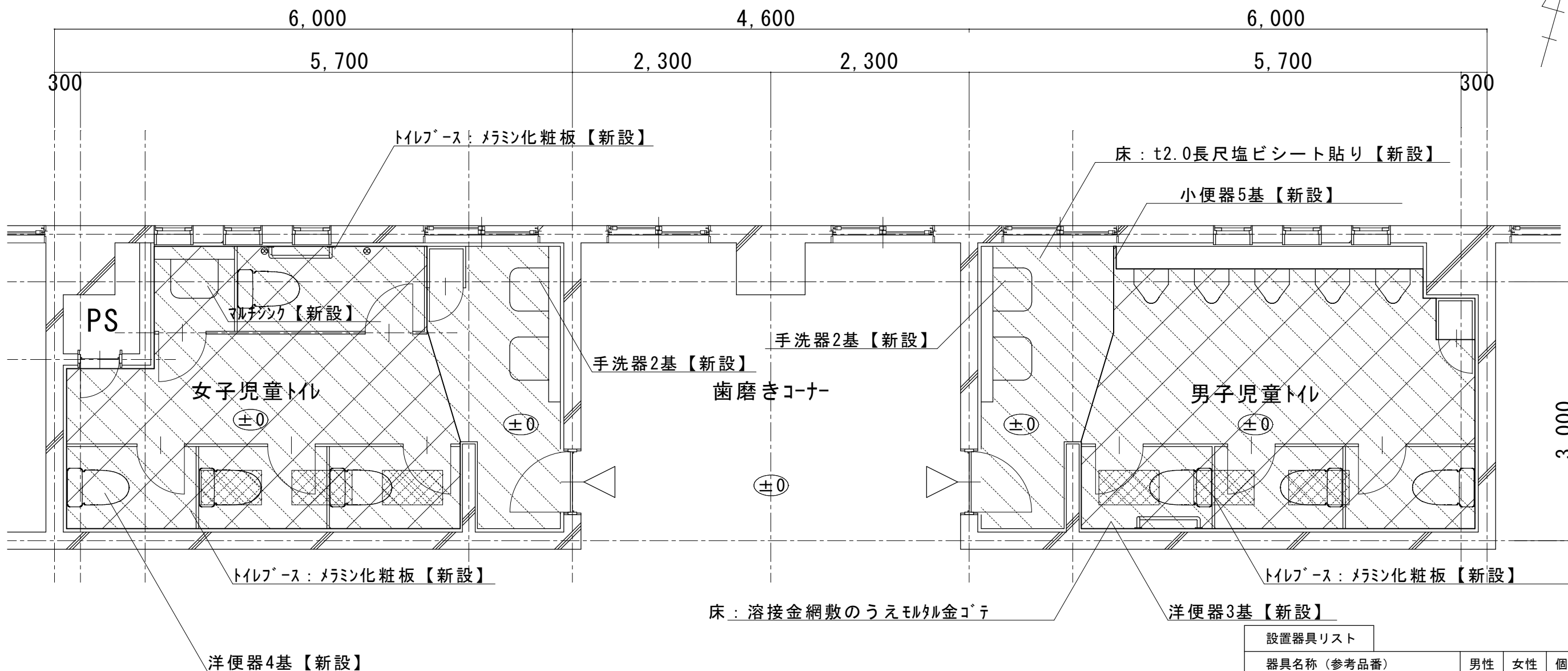
床コンクリート撤去・打設範囲
（t150 差し筋7mm-D10 @200）

備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎2階児童トイレ平面図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-15

X2

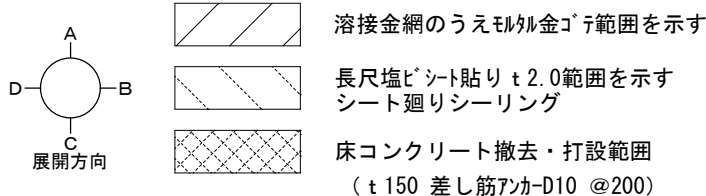
X3

X4



設置器具リスト			
器具名称 (参考品番)	男性	女性	個数
L型手すり (樹脂被覆タイプ)	1	1	2

改修後南校舎2階児童トイレ平面図

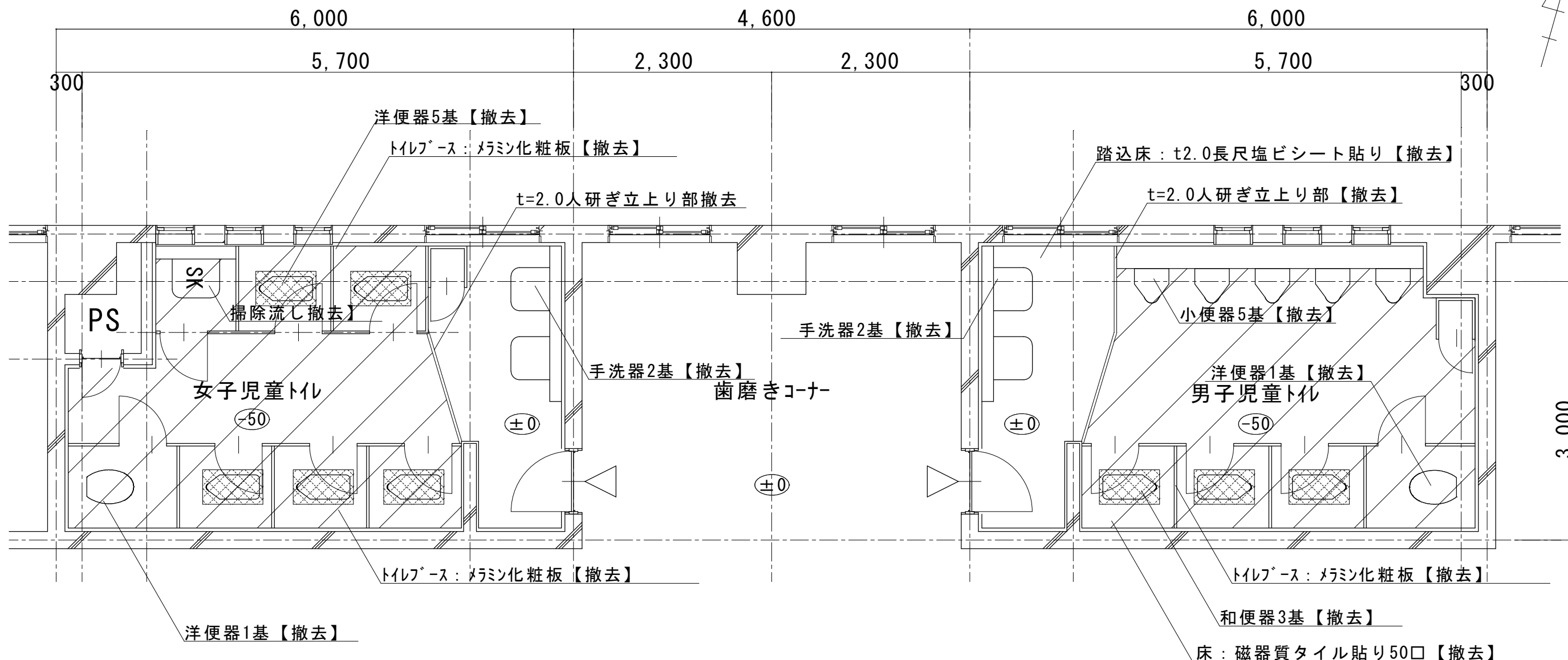


備考	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修後】南校舎2階児童トイレ平面図	縮尺	作成年月	図面番号
	工事場所	角田市 角田 字 牛館 地内	発注者	角田市産業建設部 都市計画課	S=1:50	2025.6	A-16

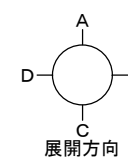
X2

X3

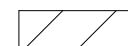
X4



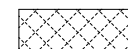
改修前南校舎3階児童トイレ平面図



※紙巻器撤去（大便器につき1個）



磁器質タイル貼り撤去範囲を示す



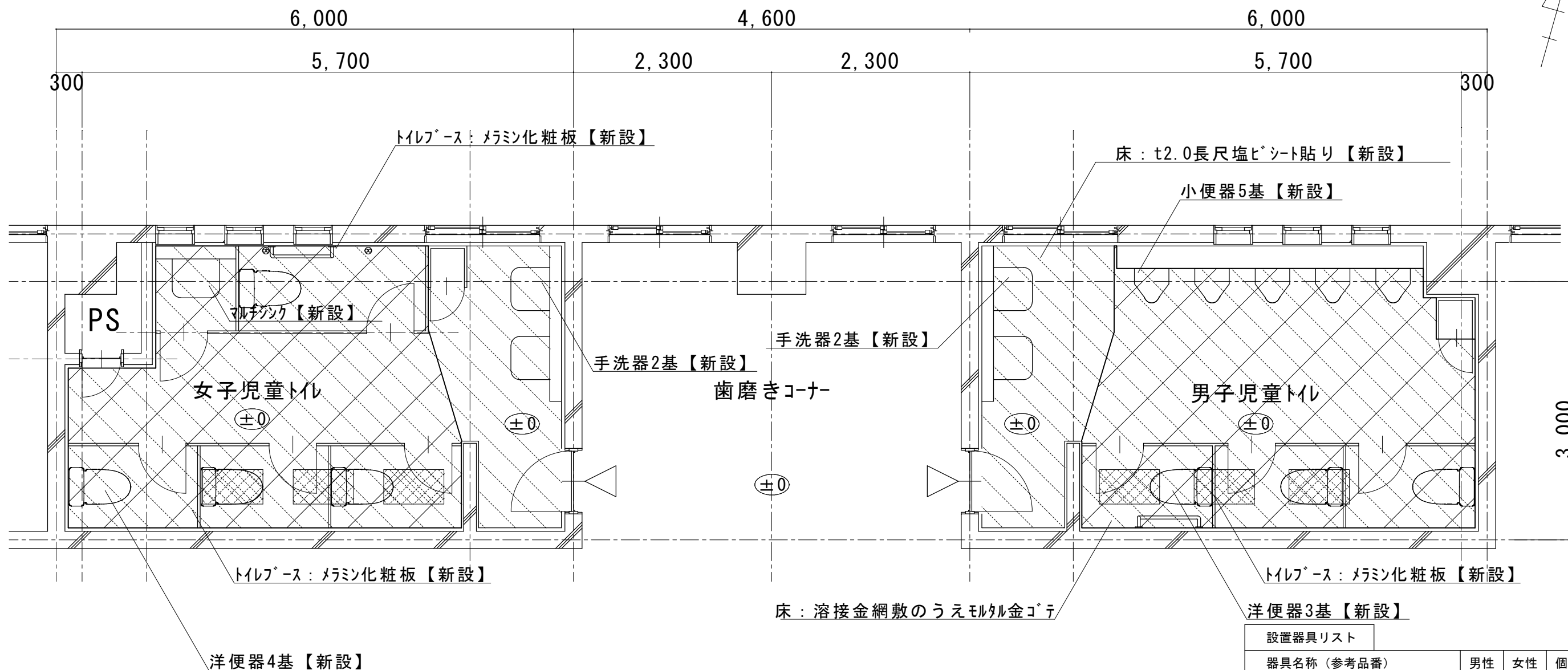
床コンクリート撤去・打設範囲
(t150 差し筋7カ-D10 @200)

備考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎3階児童トイレ平面図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-17

X2

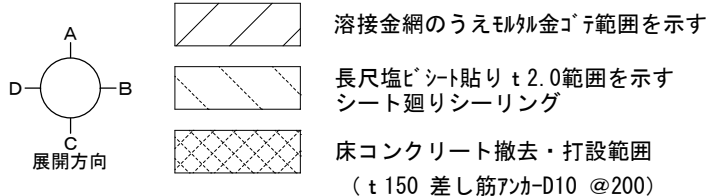
X3

X4



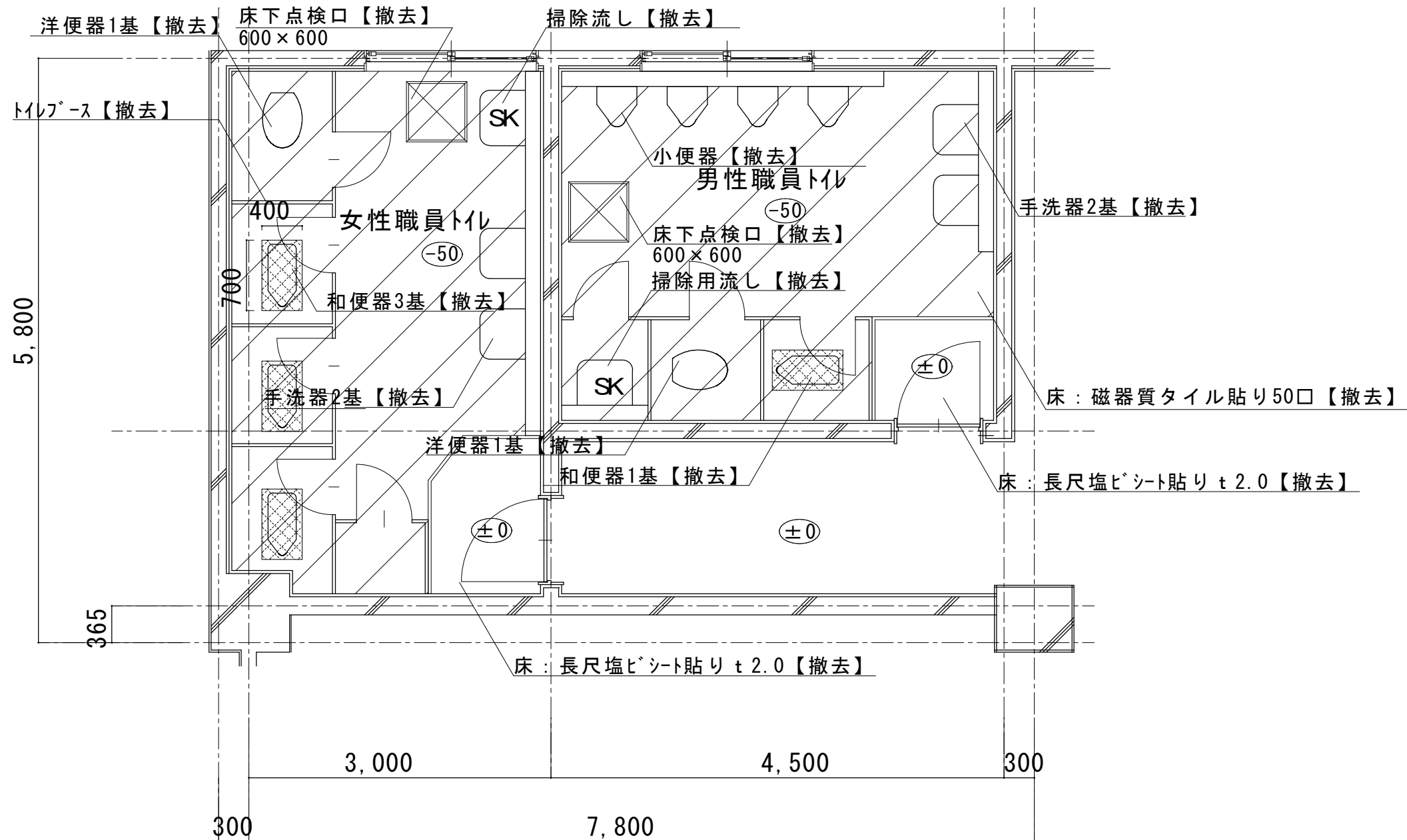
設置器具リスト			
器具名称 (参考品番)	男性	女性	個数
L型手すり (樹脂被覆タイプ)	1	1	2

改修後南校舎3階児童トイレ平面図



備考	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修前】南校舎3階児童トイレ平面図	縮尺	作成年月	図面番号
	工事場所	角田市 角田 字 牛館 地内	発注者	角田市産業建設部 都市計画課	S=1:50	2025.6	A-18

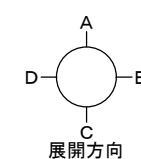
Y4



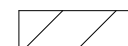
X7

X8

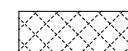
改修前1階職員トイレ平面図



※紙巻器撤去（大便器につき1個）

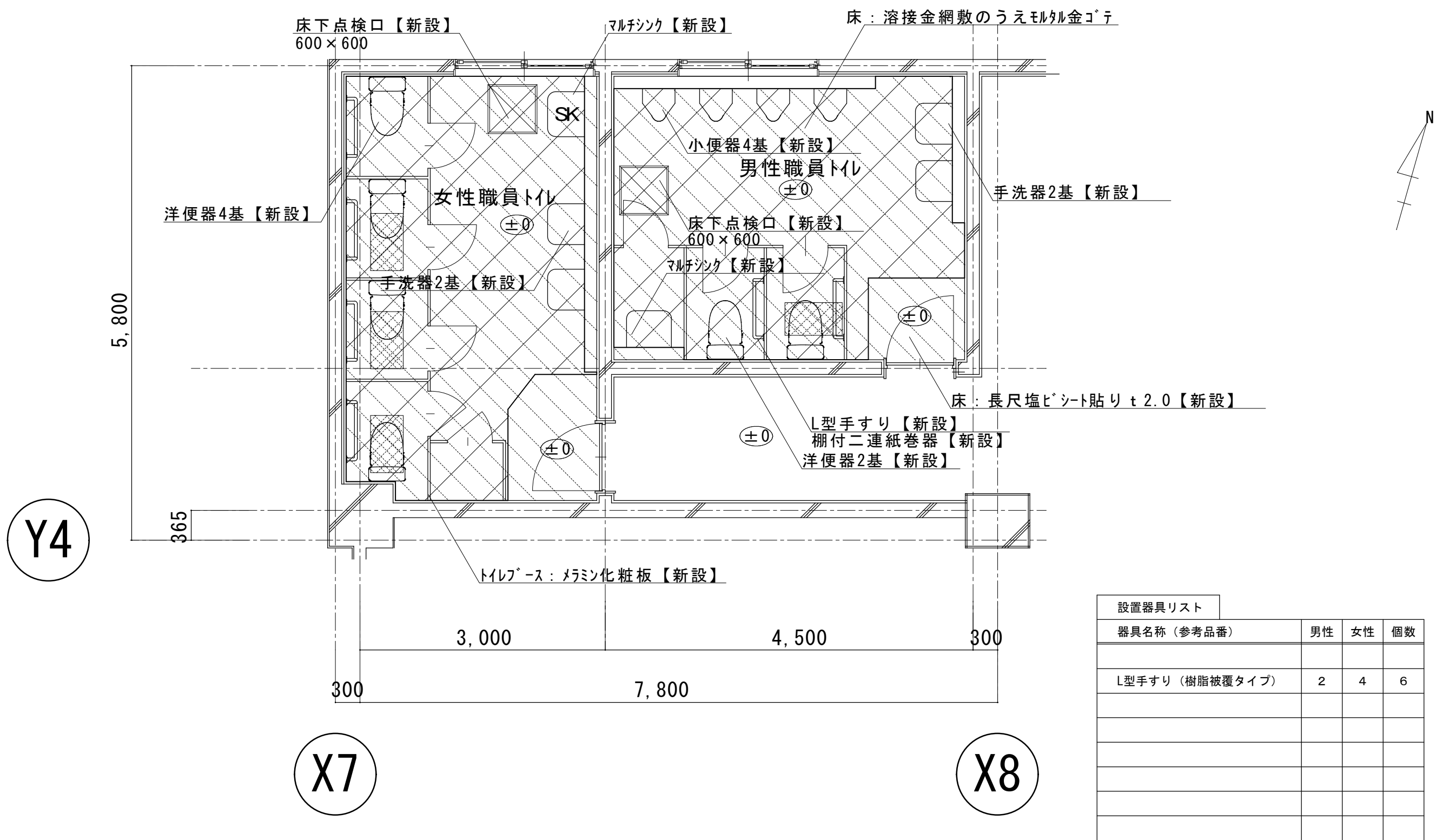


磁器質タイル貼り撤去範囲を示す



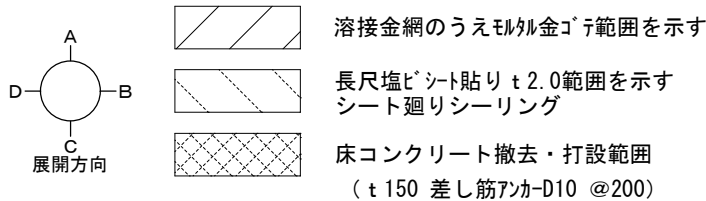
床コンクリート撤去・打設範囲
（t 150 差し筋7mm-D10 @200）

備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】1階職員トイレ平面図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-19

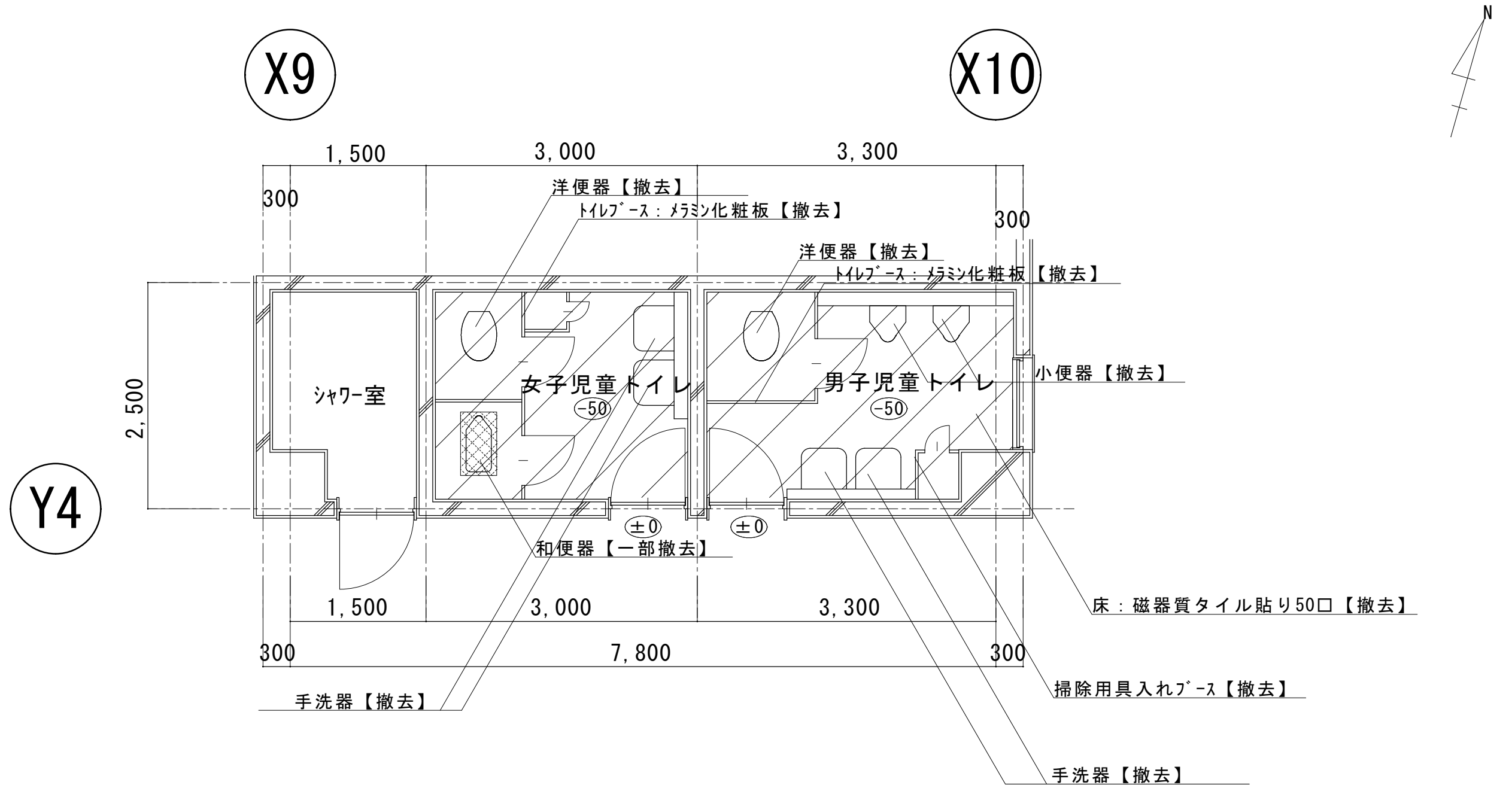


設置器具リスト			
器具名称（参考品番）	男性	女性	個数
L型手すり（樹脂被覆タイプ）	2	4	6

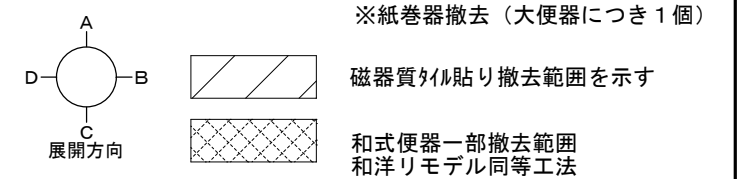
改修後 1 階職員トイレ平面図



備考		工 事 名	令和 6 年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】 1 階職員トイレ平面図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-20



改修前南校舎 2 階東側児童トイレ平面図



備考		工 事 名	令和 6 年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎 2 階東側児童トイレ平面図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-21



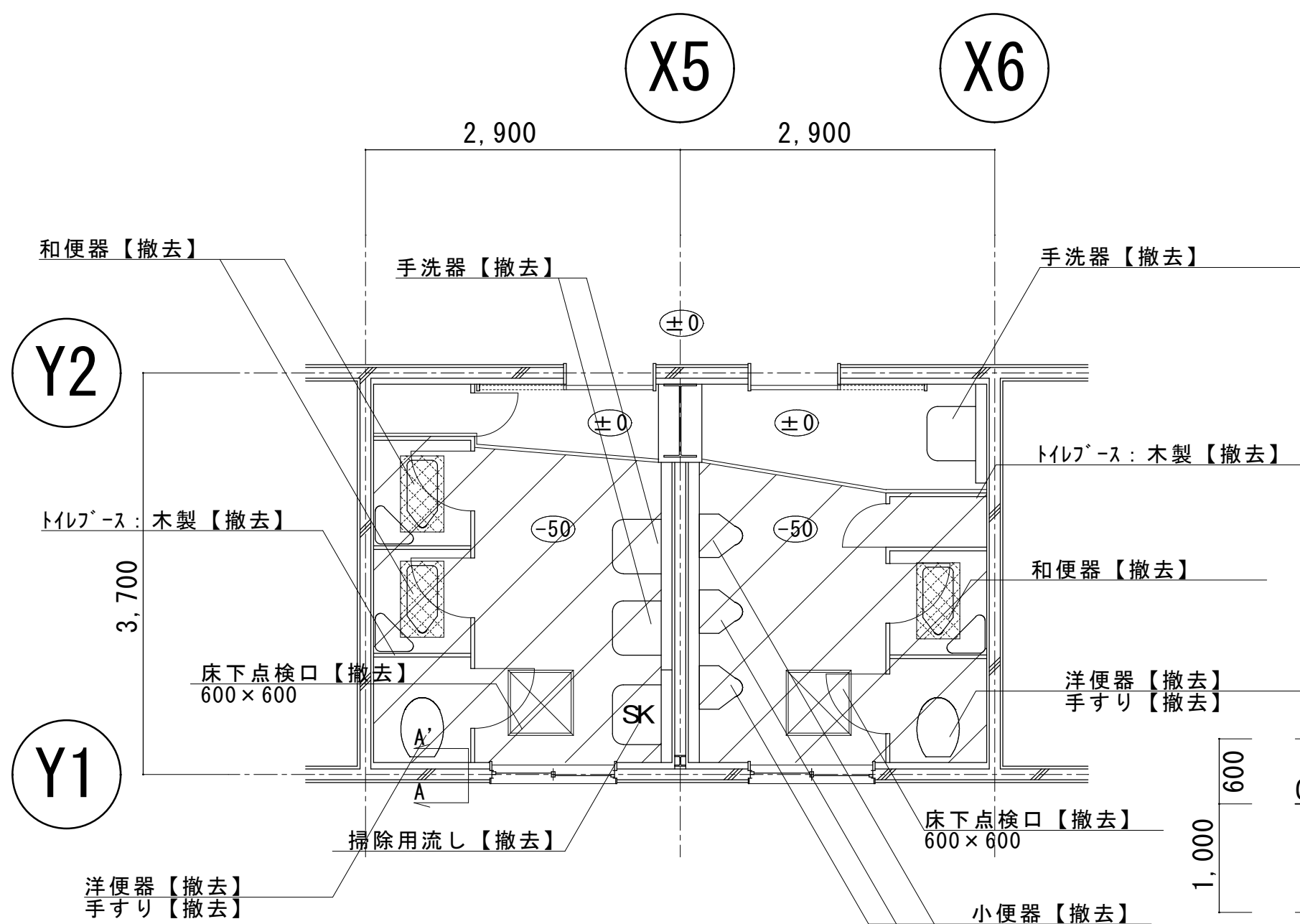
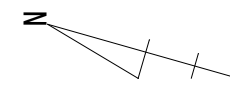
展開方向

ワイヤメッシュのうえに丸金ゴテ範囲を示す

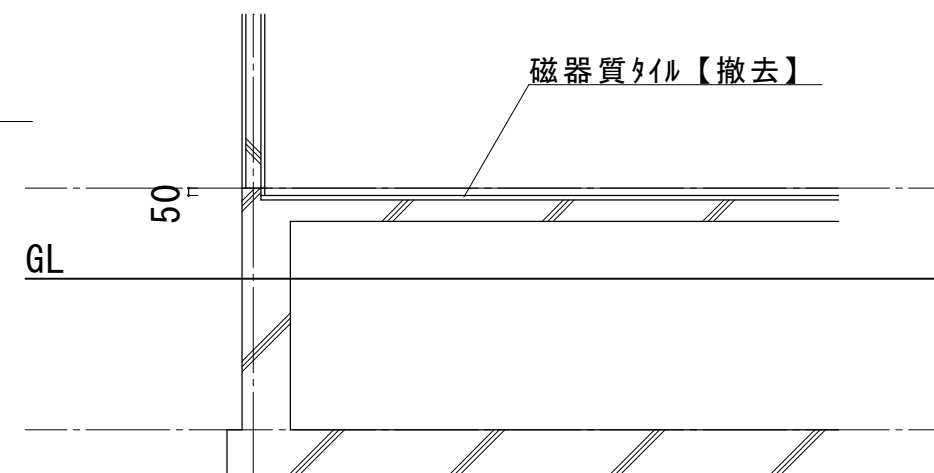
長尺塩ビシート貼り t 2.0 範囲を示す
シート廻りシーリング

和式便器一部撤去範囲
和洋リモデル同等工法

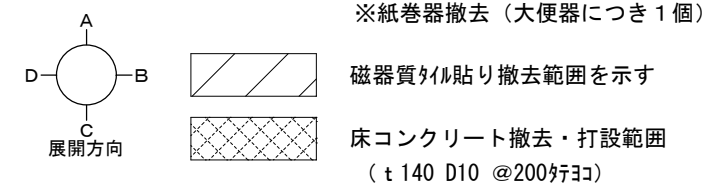
備 考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎 2階東側児童トイレ平面図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角 田 市 産 業 建 設 部 都 市 計 画 課	S = 1 : 50	2025.6	A-22



改修前屋内運動場トイレ平面図



Y1 A-A' 通り断面詳細図

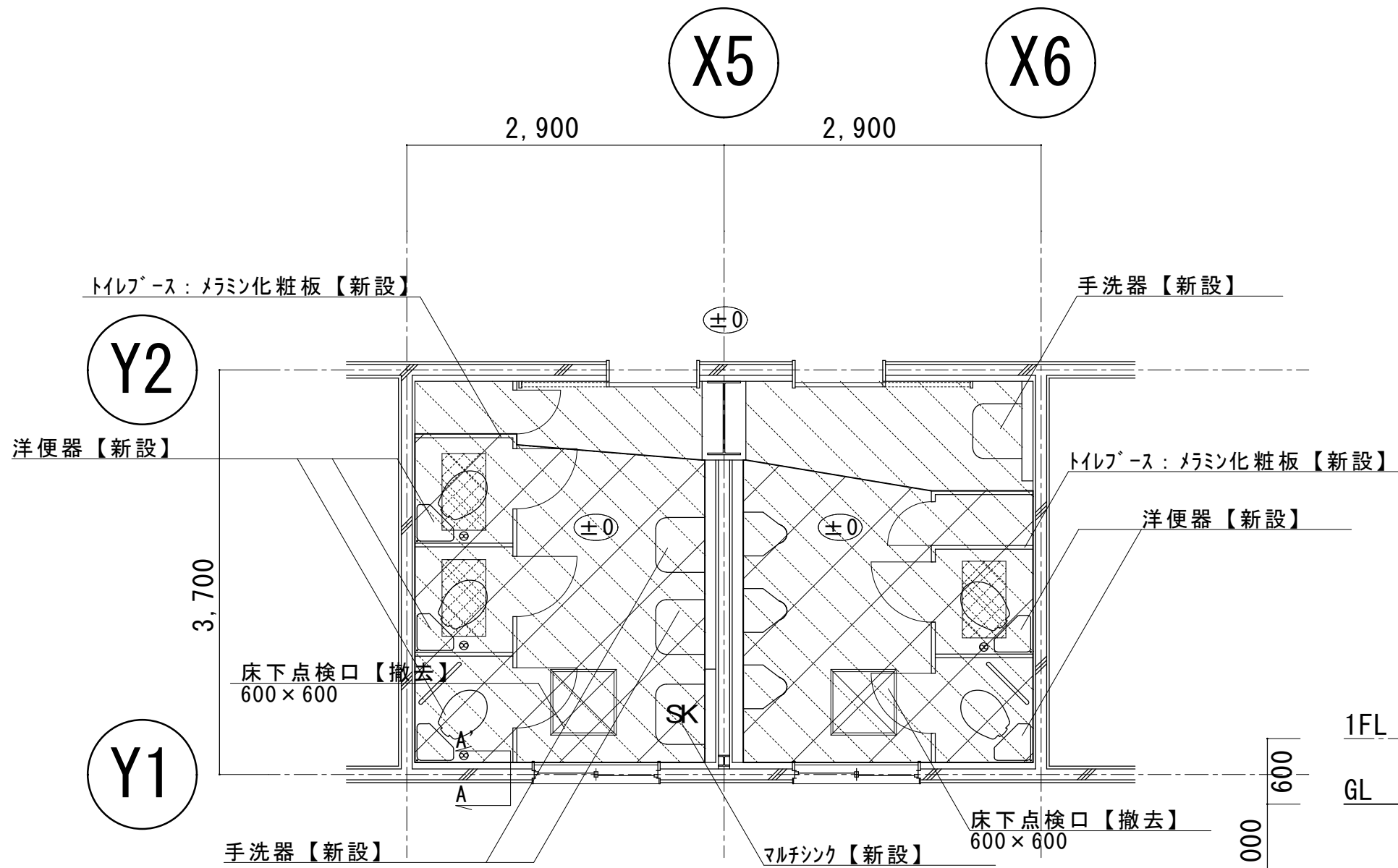
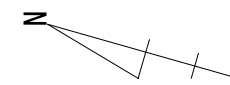


※紙巻器撤去（大便器につき1個）

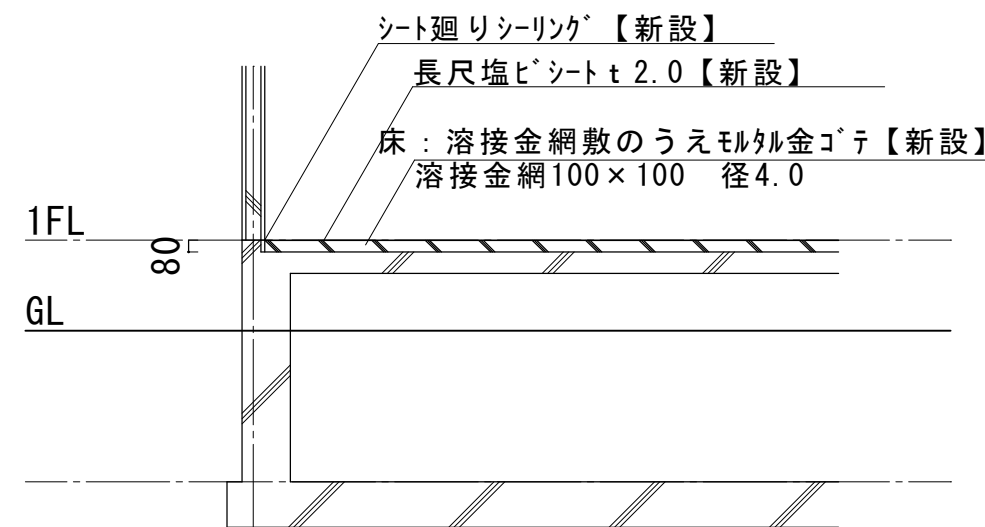
磁器質タイル貼り撤去範囲を示す

床コンクリート撤去・打設範囲
(t 140 D10 @200ﾀﾞｲﾔｸ)

備考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】屋内運動場トイレ平面図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-23

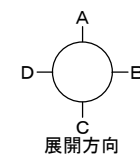


改修後屋内運動場トイレ平面図



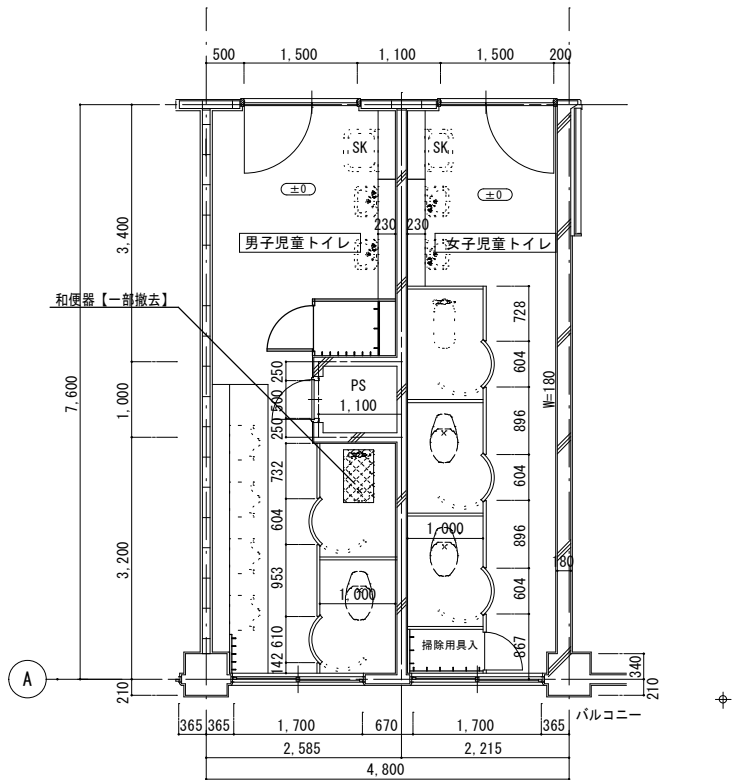
Y1 A-A' 通り断面詳細図

設置器具リスト			
器具名称 (参考品番)	男性	女性	個数
床固定式手すり (T112CW1)	1	1	2

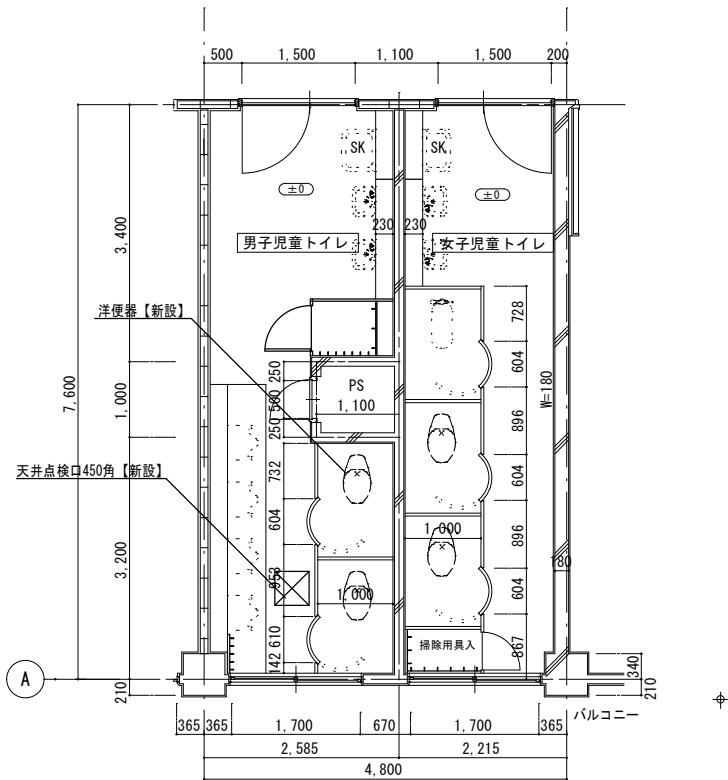


- ワイヤーメッシュのうえ珪藻土金ゴテ範囲を示す
- 長尺塩ビシート貼り t 2.5 範囲を示す
シート廻りシーリング
- 床コンクリート撤去・打設範囲
(t 140 差し筋アンカ-D10 @200)

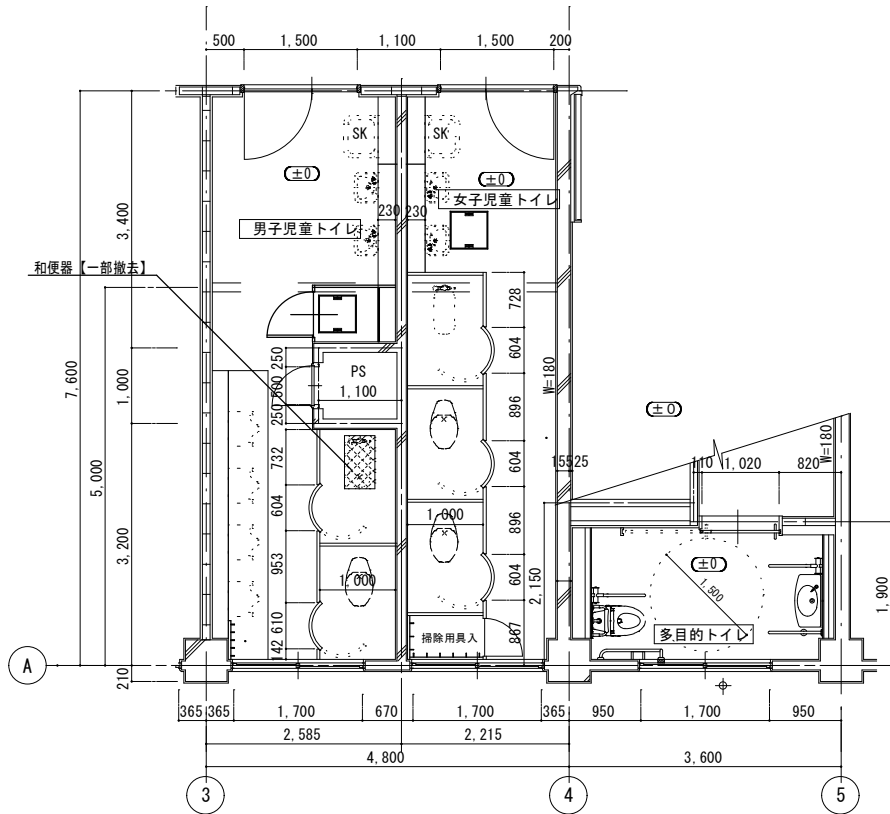
備考	工事名	令和6年度(線) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修後】屋内運動場トイレ平面図	縮尺	作成年月	図面番号
	工事場所	角田市 角田 字 牛館 地内	発注者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-24



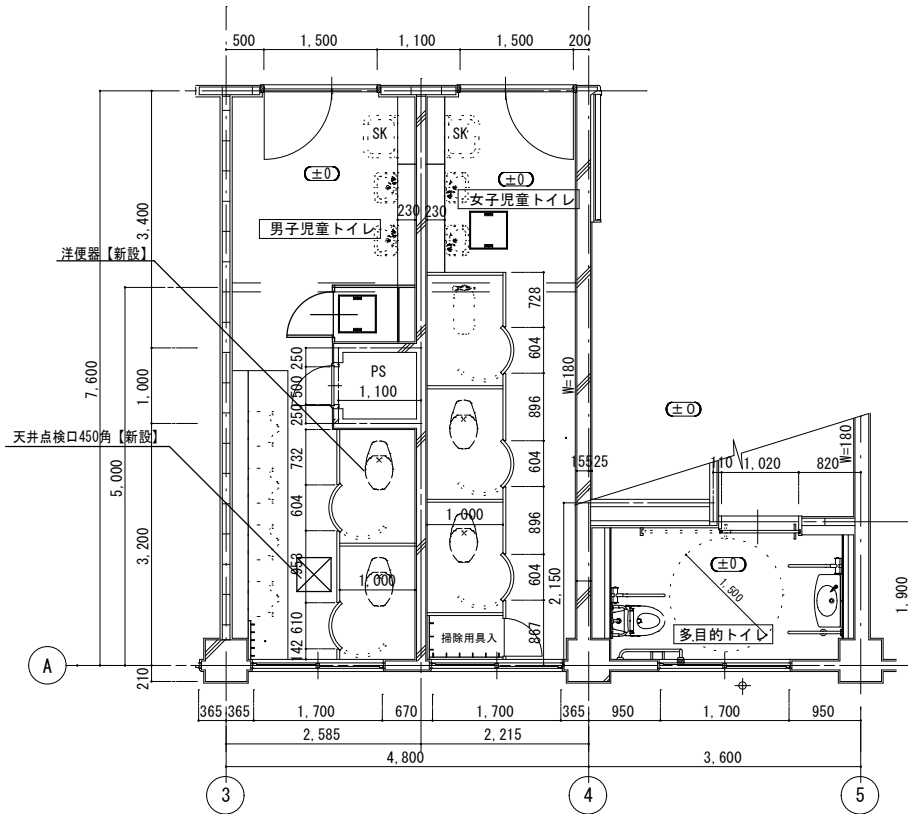
改修前 2、3階平面図 1：100



改修後 2、3階平面図 1：100



改修前 1階平面図 1：100



改修後 1階平面図 1：100

衛生器具表

器 具 名	記 号 (参考：TOTO品番)	男性			数 量
		1F	2F	3F	
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	1	1	1	3



和式便器一部撤去範囲
和洋リモデル同等工法
(一部シート撤去、新設)

※紙巻器撤去、再利用(大便器につき1個)

設置器具リスト

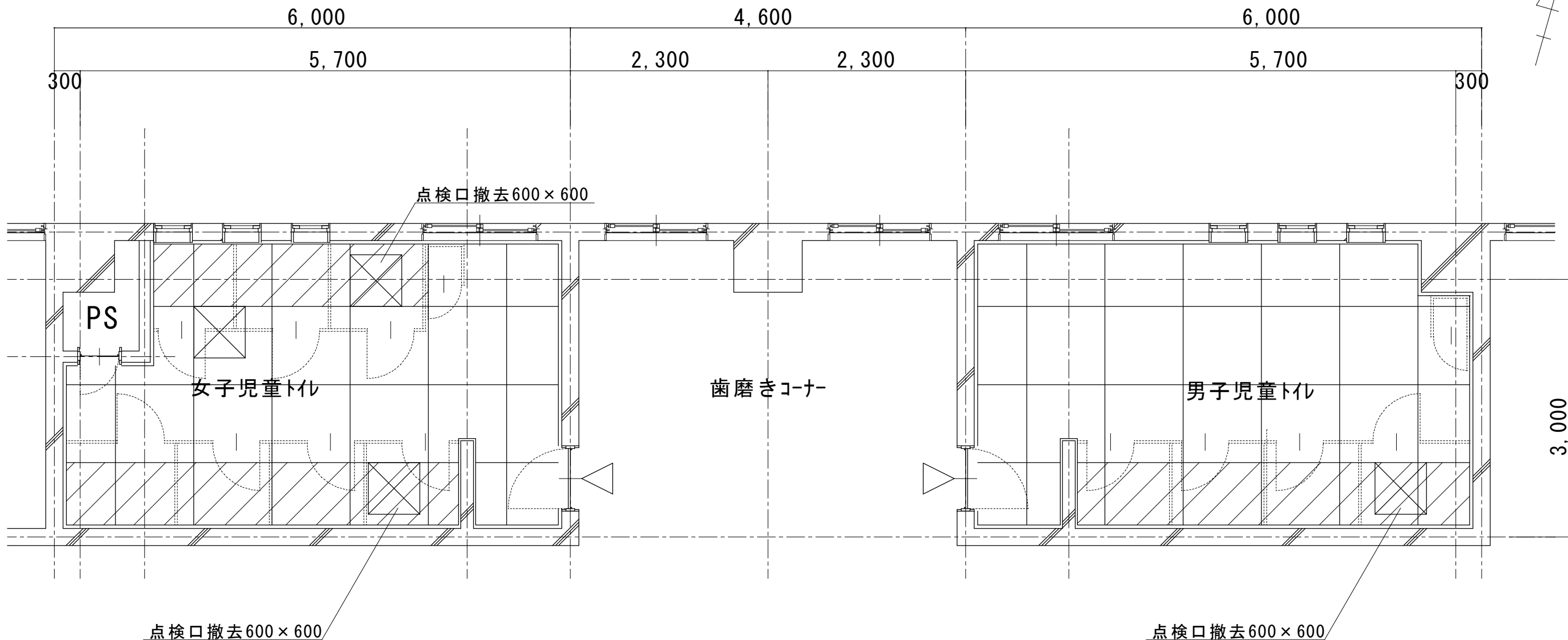
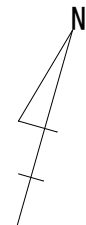
器具名称(参考品番)	男性			個数
	1F	2F	3F	
棚付き二連紙巻器(再利用)	1	1	1	3
L型手すり(樹脂被覆タイプ)	1	1	1	3

※		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	北校舎トイレ平面図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 100	2025.6	A-25

X2

X3

X4



改修前南校舎1階児童トイレ天井伏図

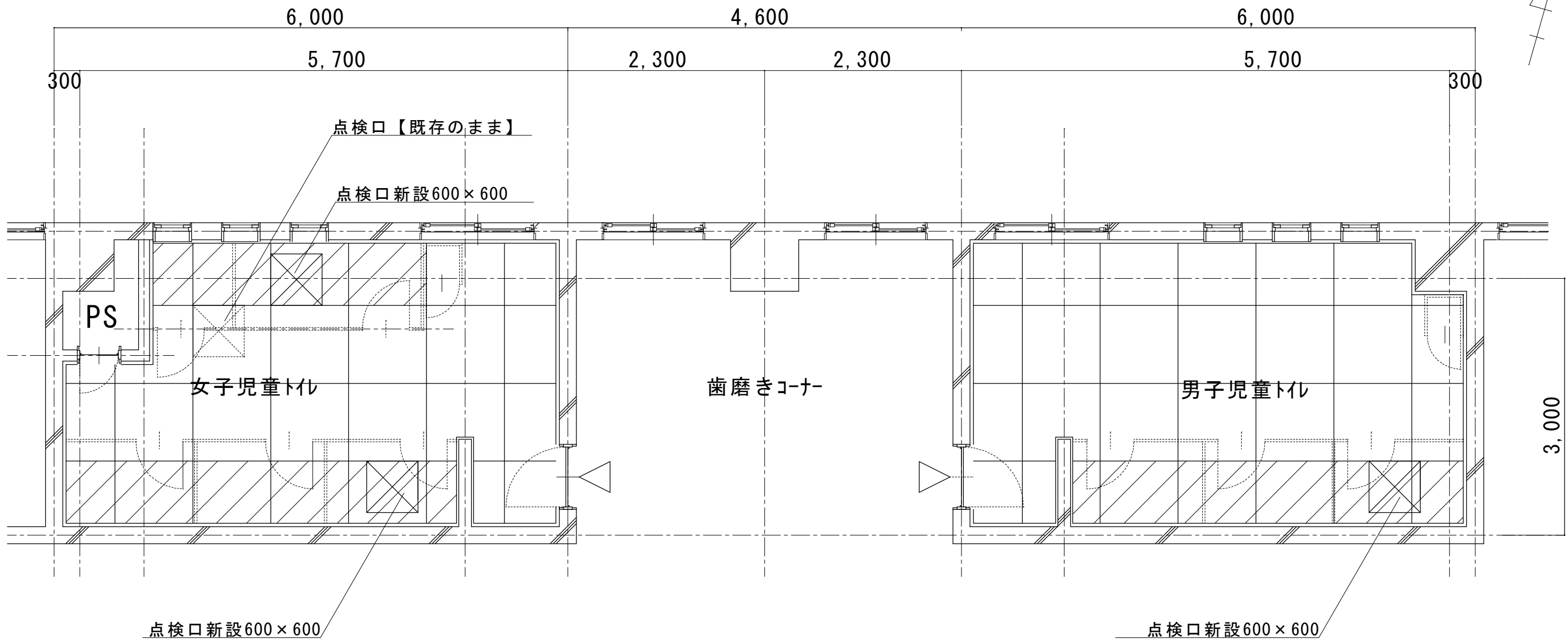
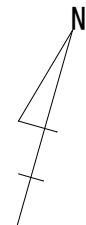
天井：t5ケイ酸カルシウム板撤去範囲を示す

備考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎1階児童トイレ天井伏図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-26

X2

X3

X4



改修後南校舎 1 階児童トイレ天井伏図

天井：t5ケイ酸カルシウム板新設範囲を示す
EP塗A種

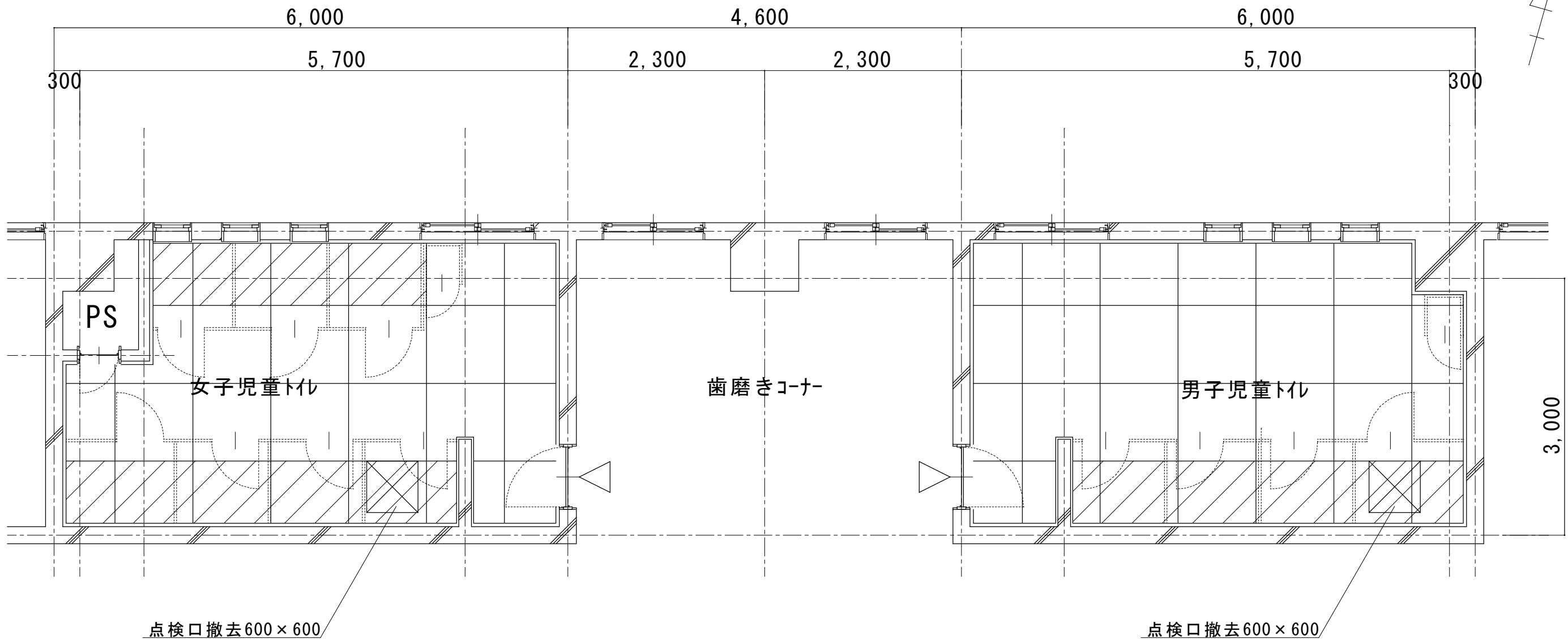
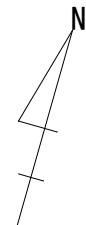
※点検口位置は現地確認のうえ決定する。

備考		工 事 名	令和 6 年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎 1 階児童トイレ天井伏図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-27

X2

X3

X4



改修前南校舎2階児童トイレ天井伏図

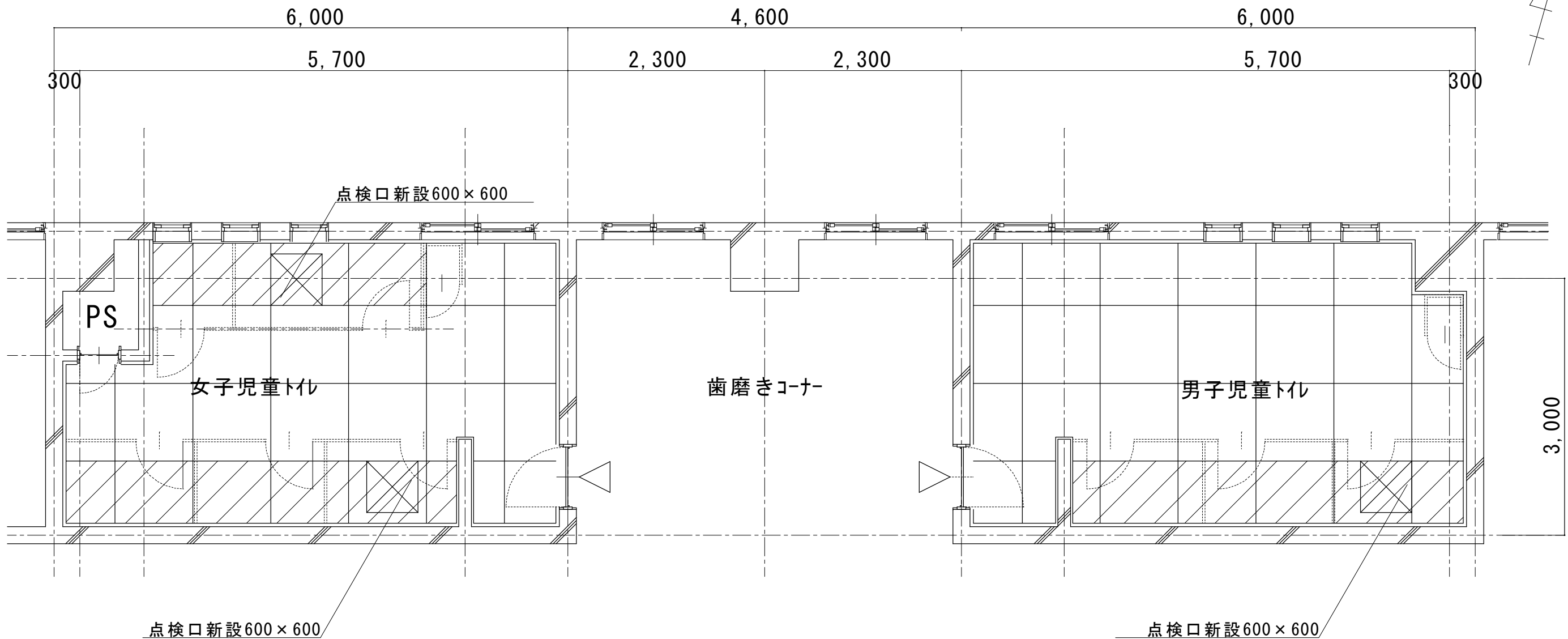
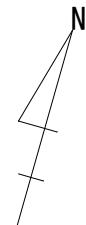
 天井：t5ケイ酸カルシウム板撤去範囲を示す

備考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎2階児童トイレ天井伏図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-28

X2

X3

X4



改修後南校舎 2 階児童トイレ天井伏図

天井：t5ケイ酸カルシウム板新設範囲を示す
EP塗A種

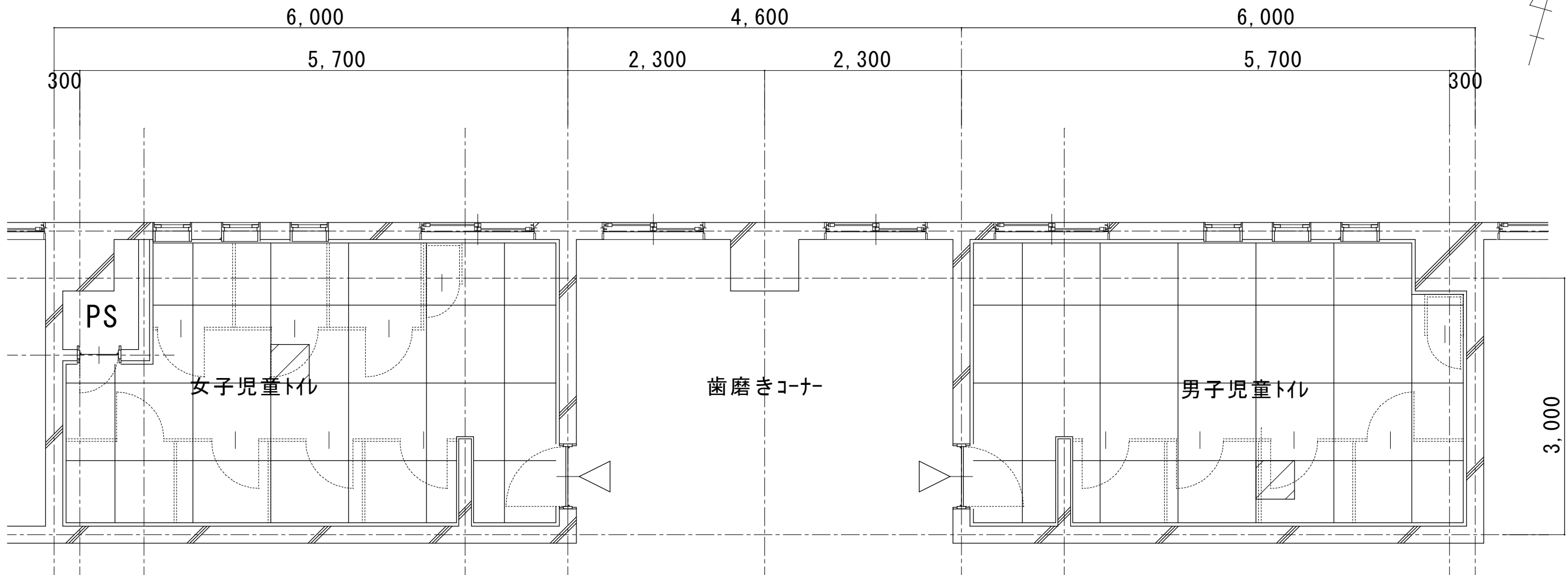
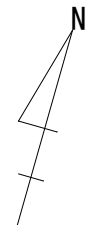
※点検口位置は現地確認のうえ決定する。

備考		工 事 名	令和 6 年度（緑） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎 2 階児童トイレ天井伏図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-29

X2

X3

X4



改修前南校舎 3 階児童トイレ天井伏図

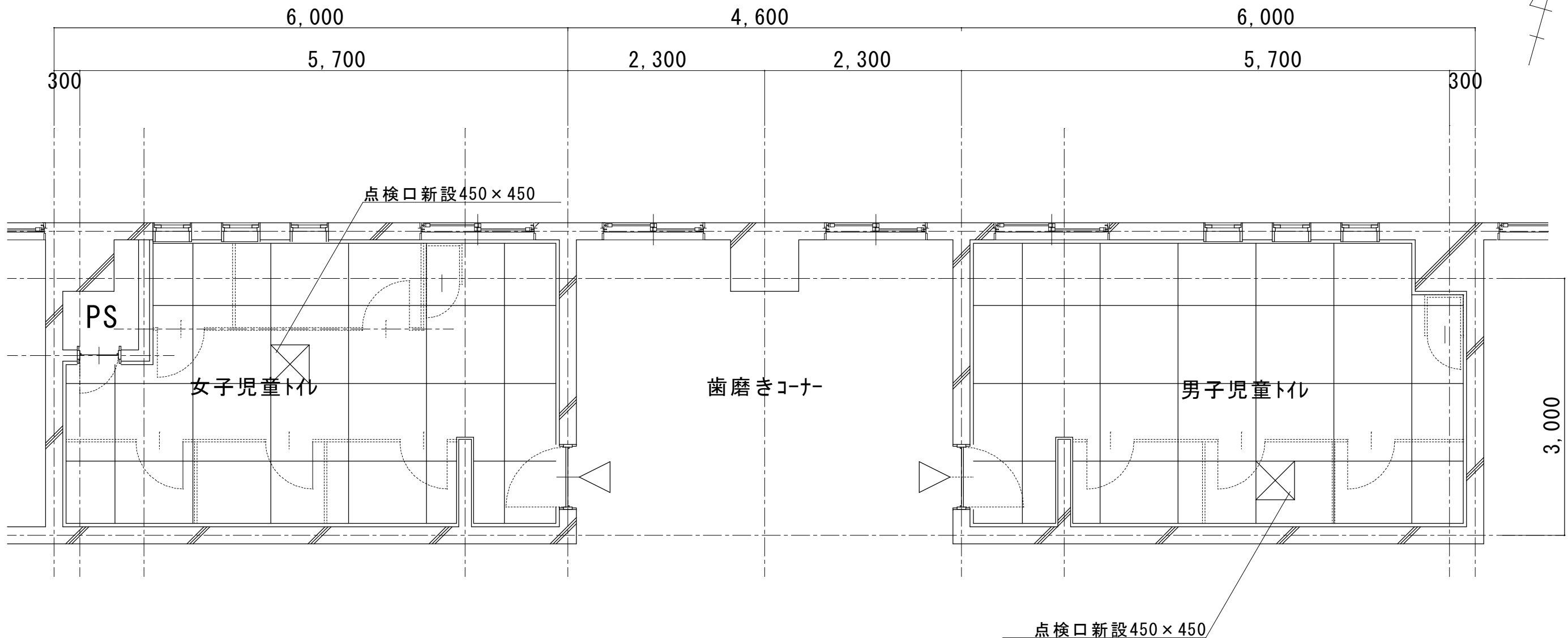
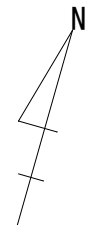
天井：t5ケイ酸カルシウム板撤去範囲を示す

備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎 3 階児童トイレ天井伏図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-30

X2

X3

X4

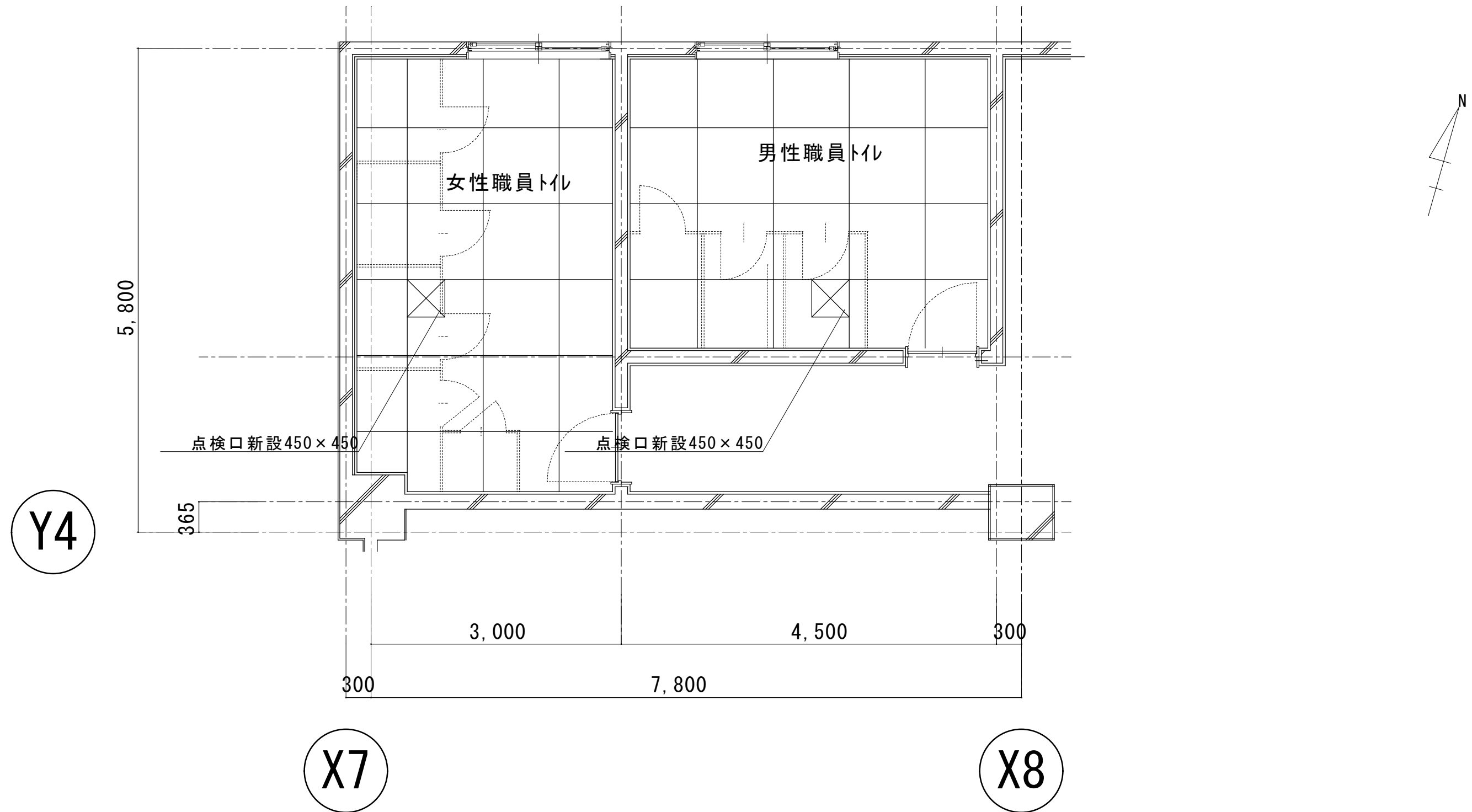


改修後南校舎 3 階児童トイレ天井伏図

天井：t5ケイ酸カルシウム板新設範囲を示す

※点検口位置は現地確認のうえ決定する。

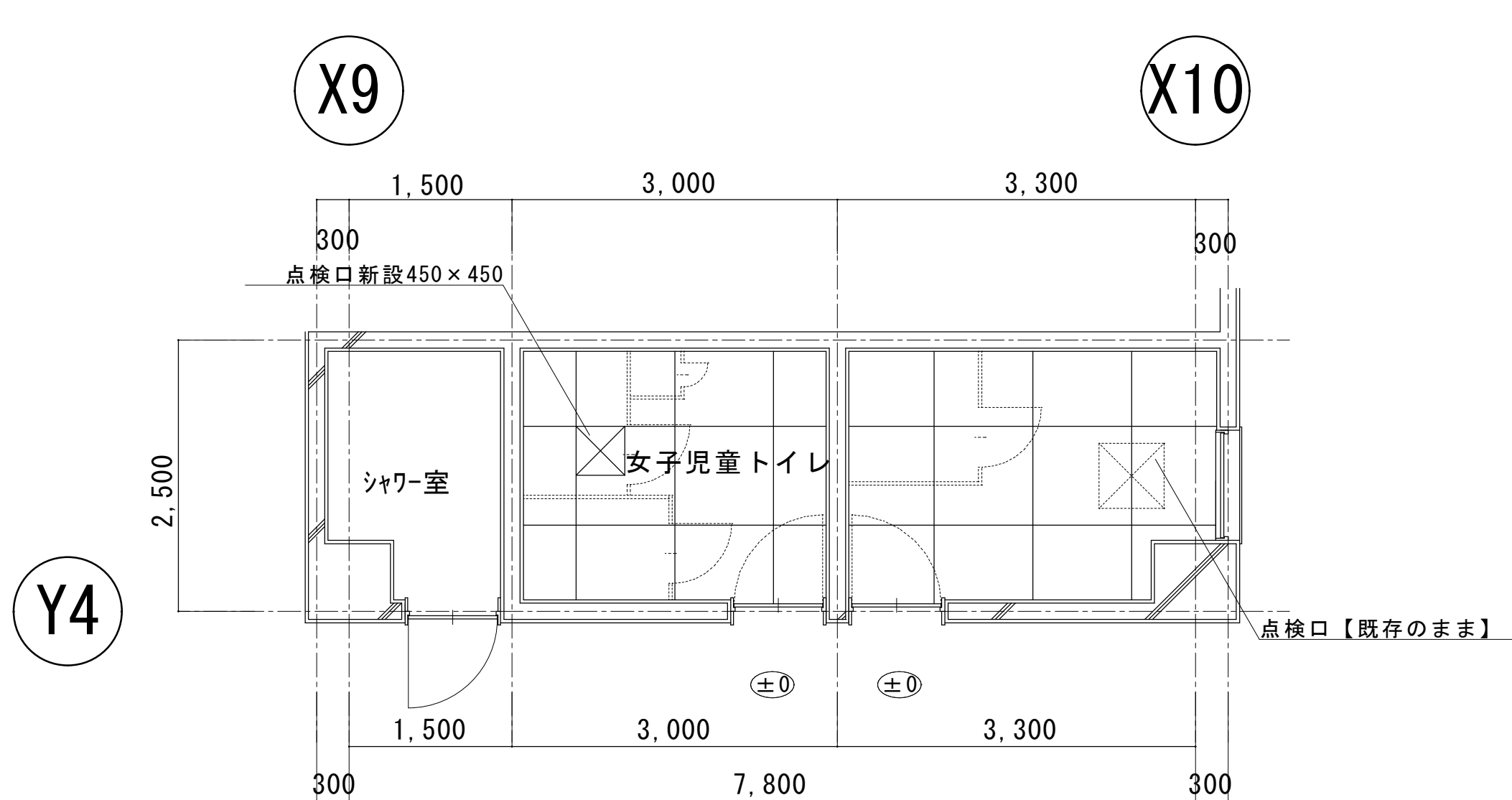
備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎 3 階児童トイレ天井伏図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-31



改修後 1 階職員トイレ天井伏図

※点検口位置は現地確認のうえ決定する。

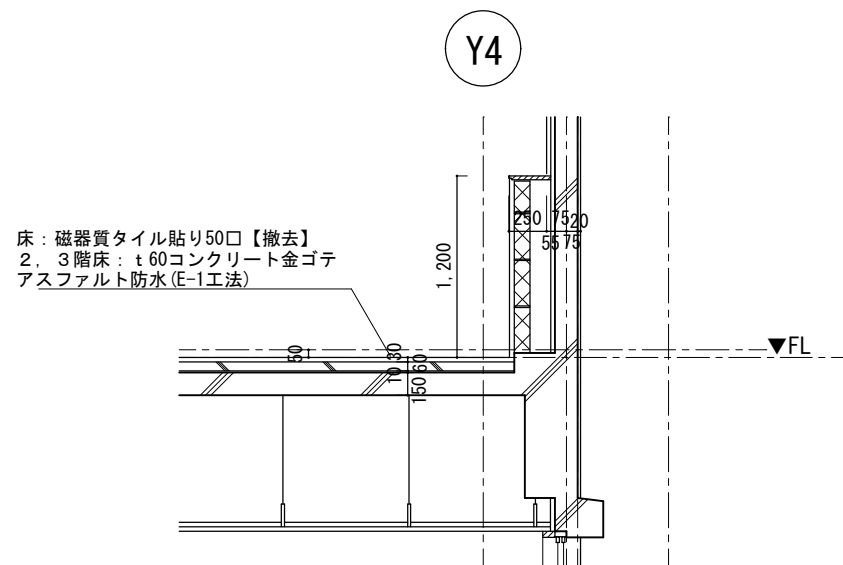
備考		工 事 名	令和 6 年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】 1 階職員トイレ天井伏図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-32



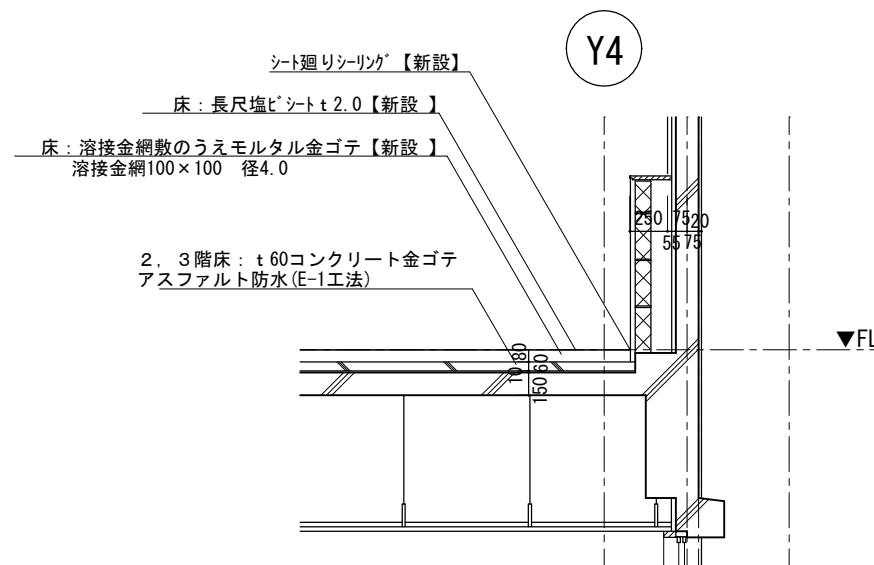
改修後南校舎 2 階東側児童トイレ天井伏図

※点検口位置は現地確認のうえ決定する。

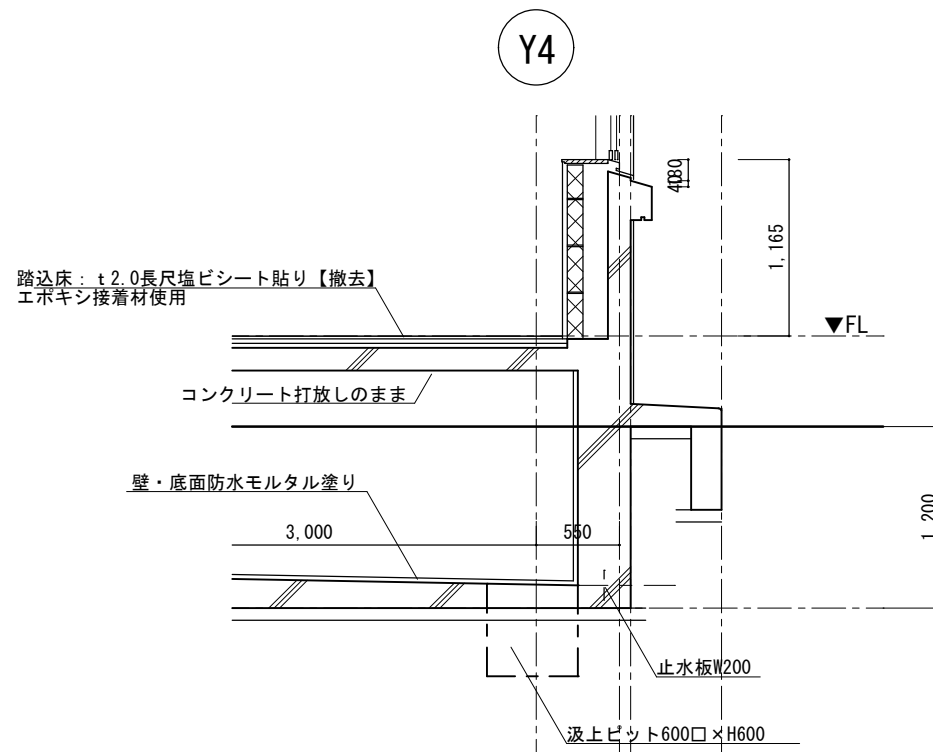
備考		工 事 名	令和 6 年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】 南校舎 2 階東側児童トイレ天井伏図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-33



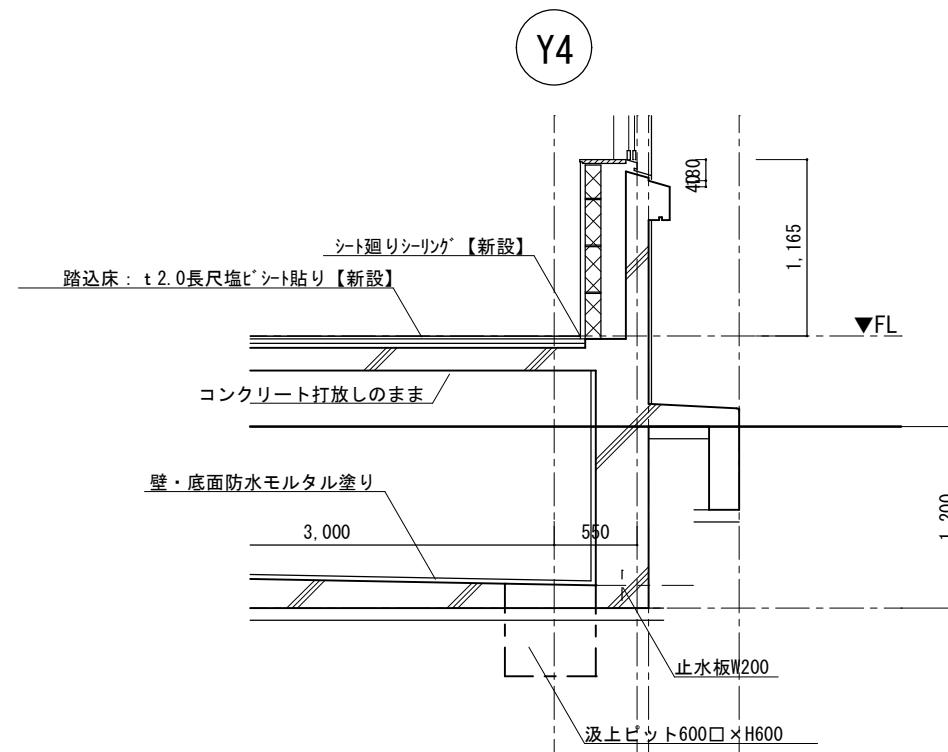
改修前トイレ既存タイル部断面詳細図
※南校舎2,3階トイレ部分参考



改修後トイレ既存タイル部断面詳細図
※南校舎2,3階トイレ部分参考

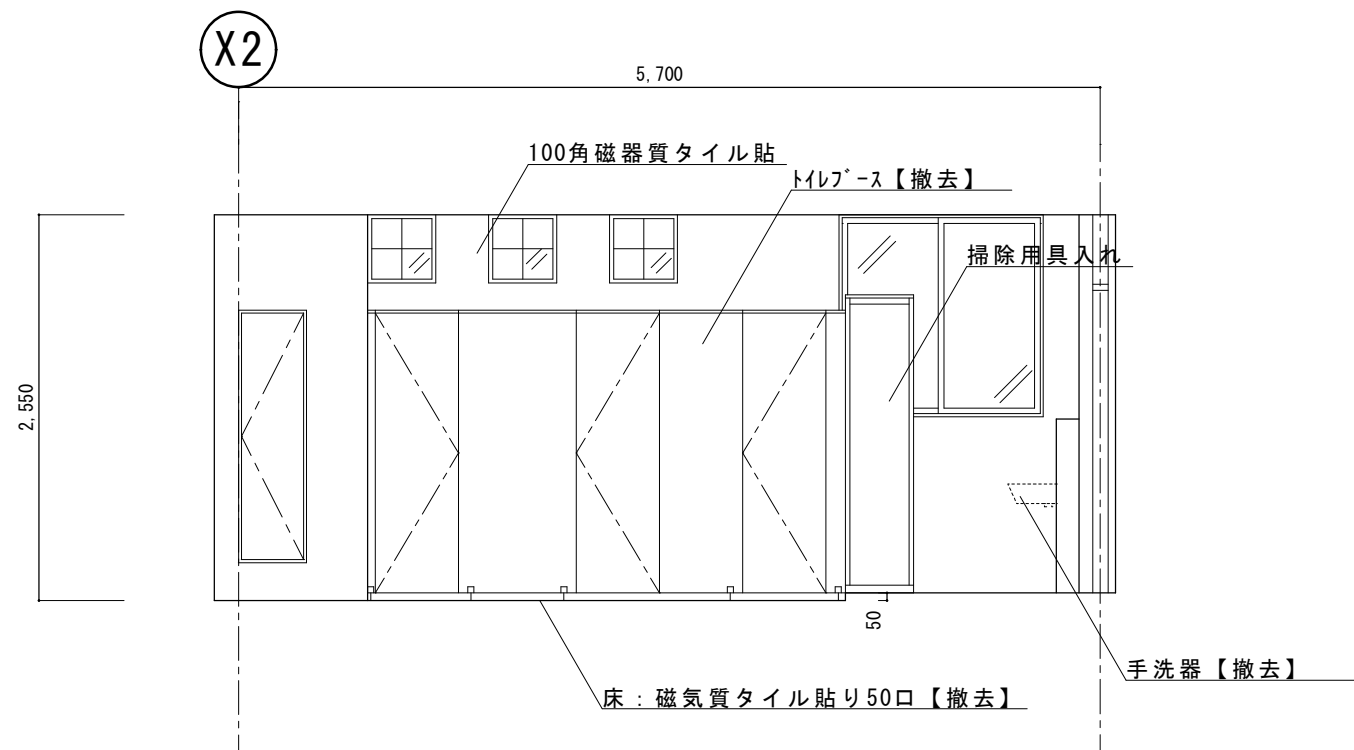


改修前トイレ既存踏込床部断面詳細図
※南校舎1階トイレ部分参考

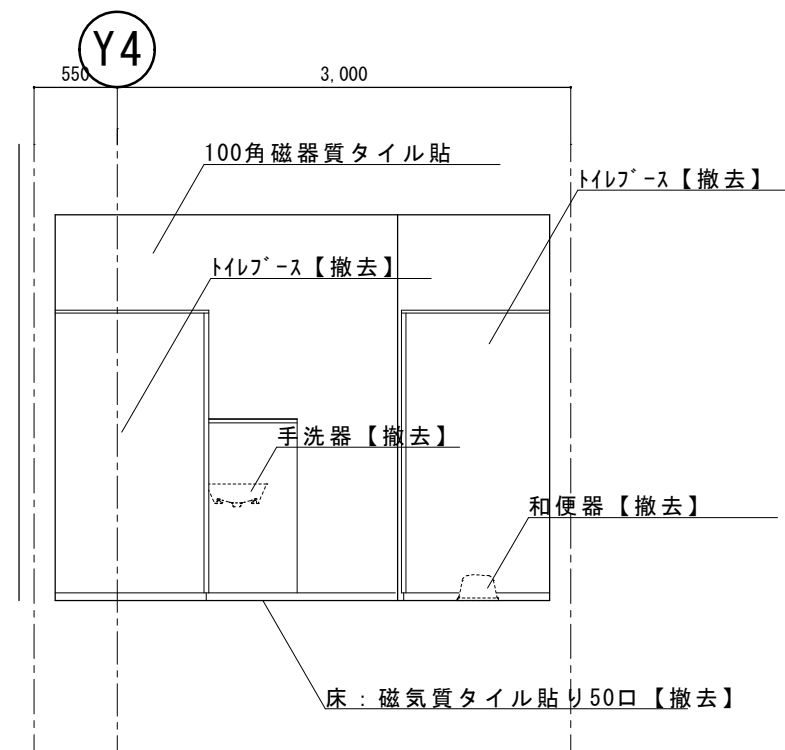


改修後トイレ既存踏込床部断面詳細図
※南校舎1階トイレ部分参考

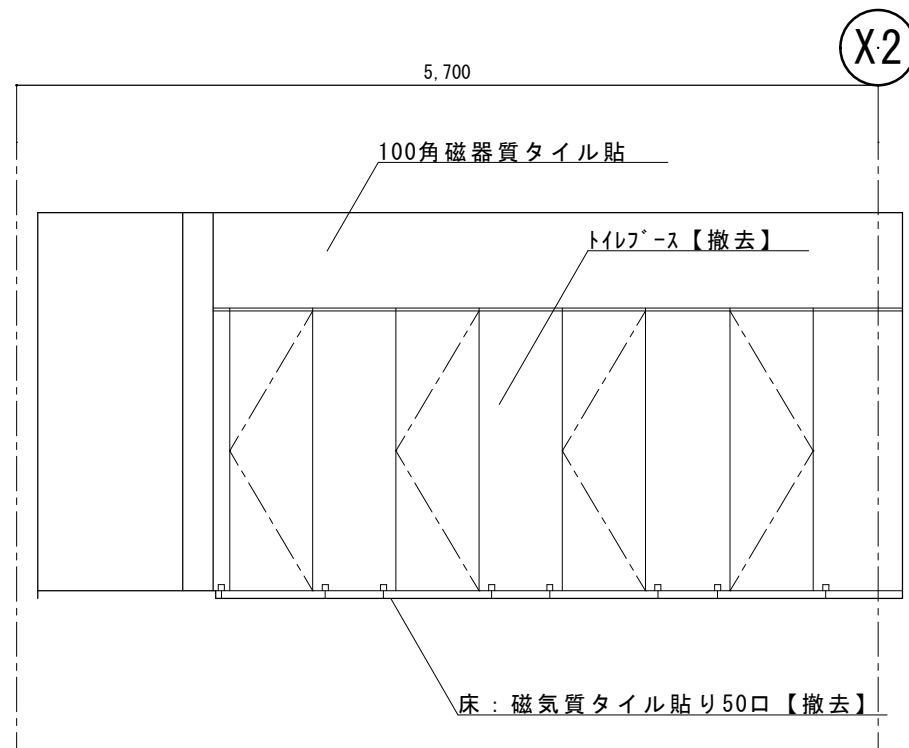
備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前・後】トイレ床断面詳細図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角 田 市 産 業 建 設 部 都 市 計 画 課	S = 1 : 50	2025.6	A-34



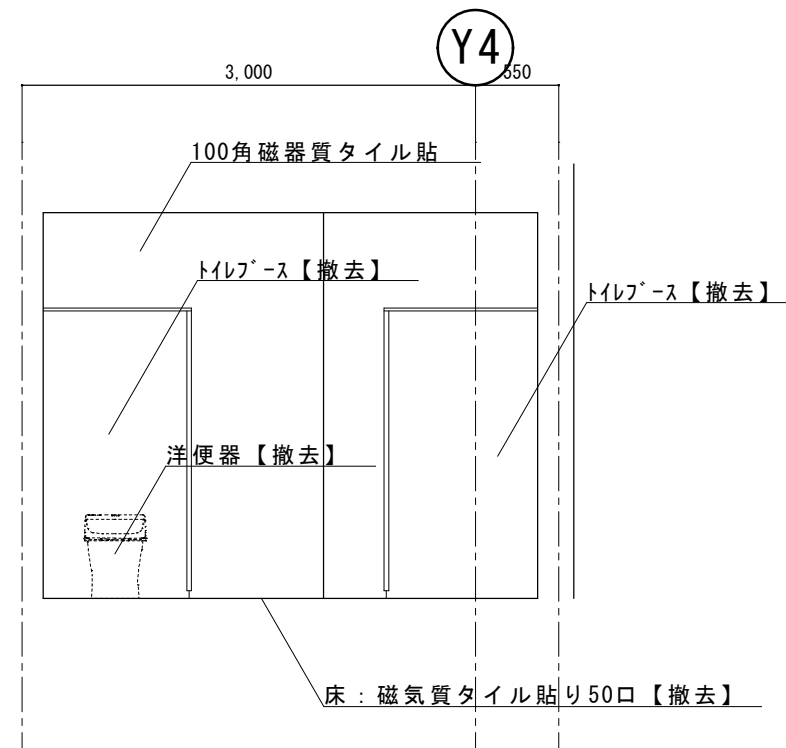
【改修前】A展開図



【改修前】B展開図

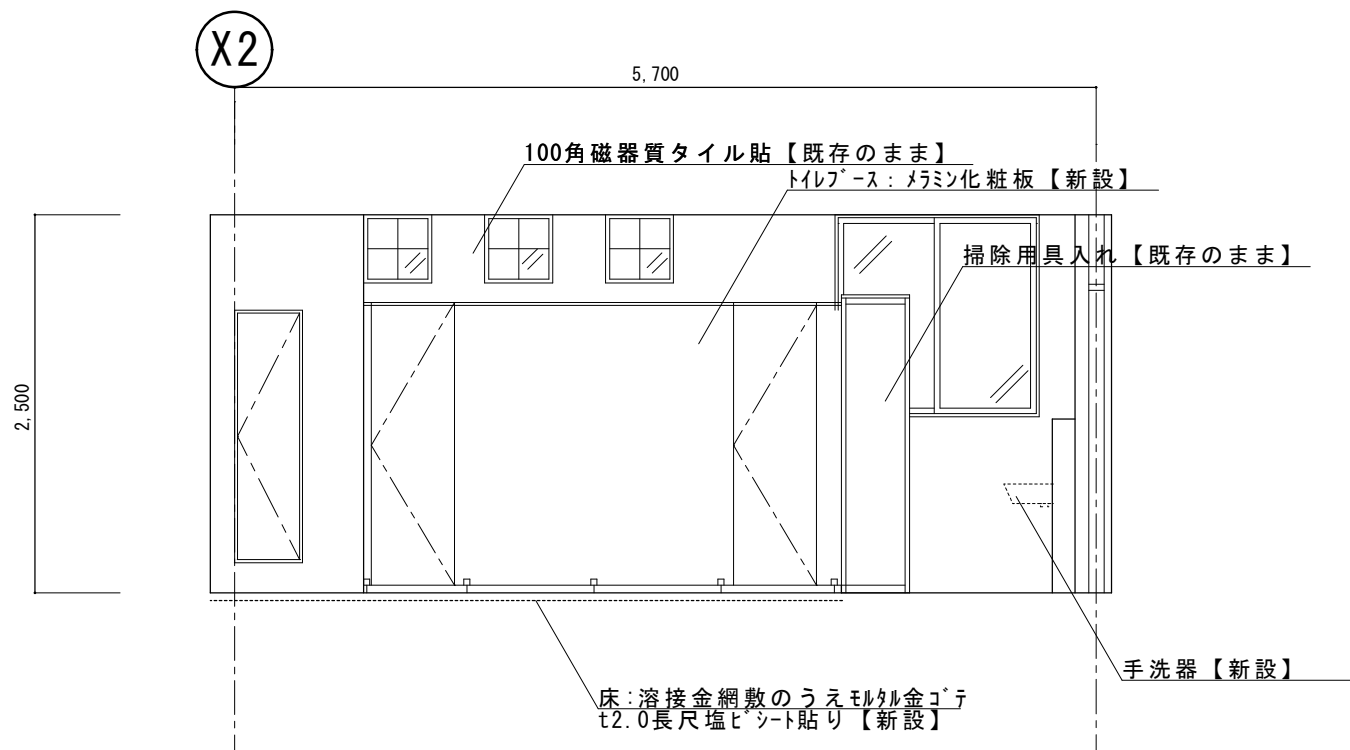


【改修前】C展開図

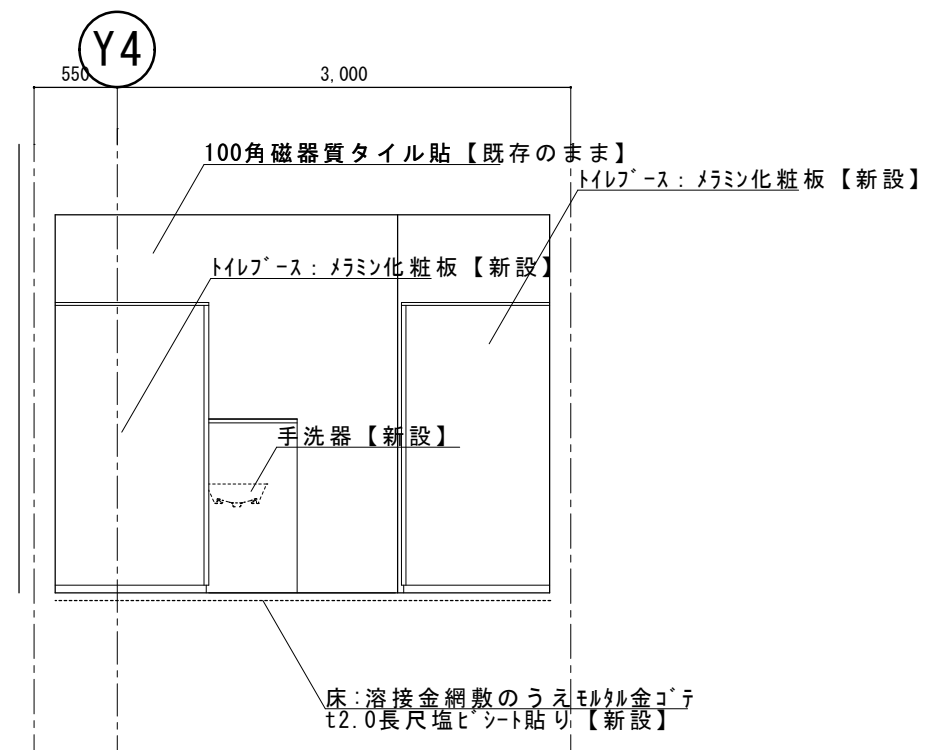


【改修前】D展開図

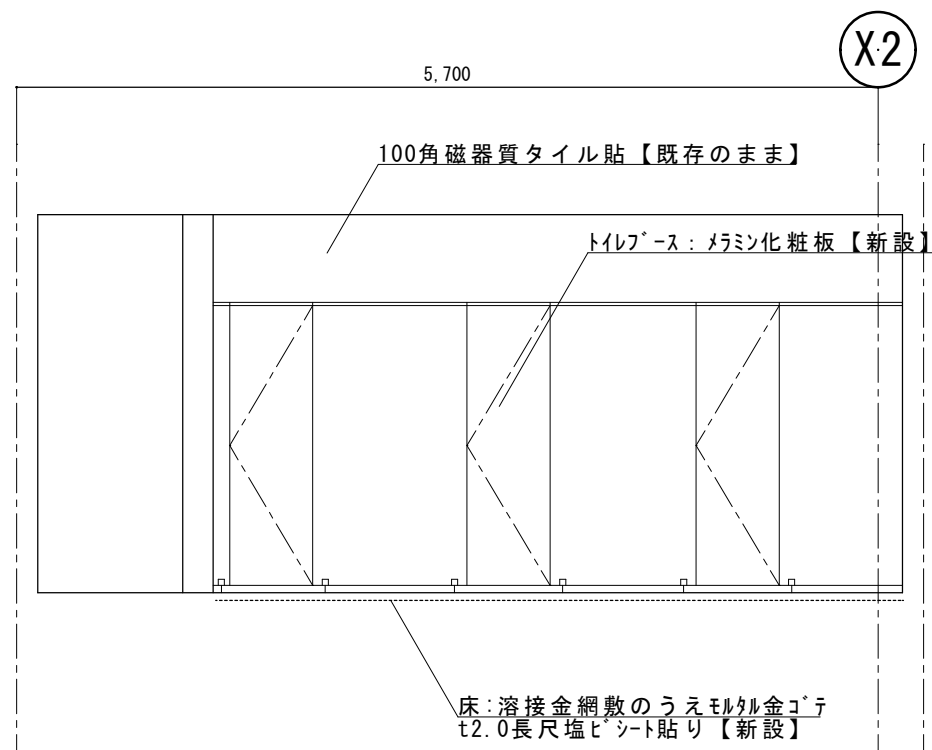
備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎1、2階共通女子児童トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-35



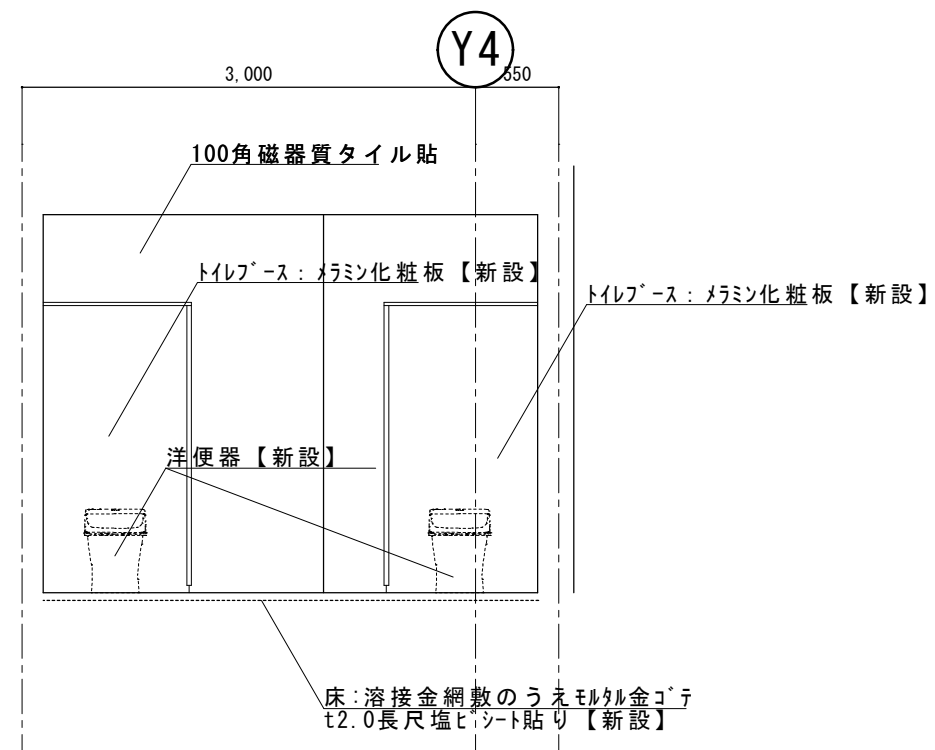
【改修後】A展開図



【改修後】B展開図

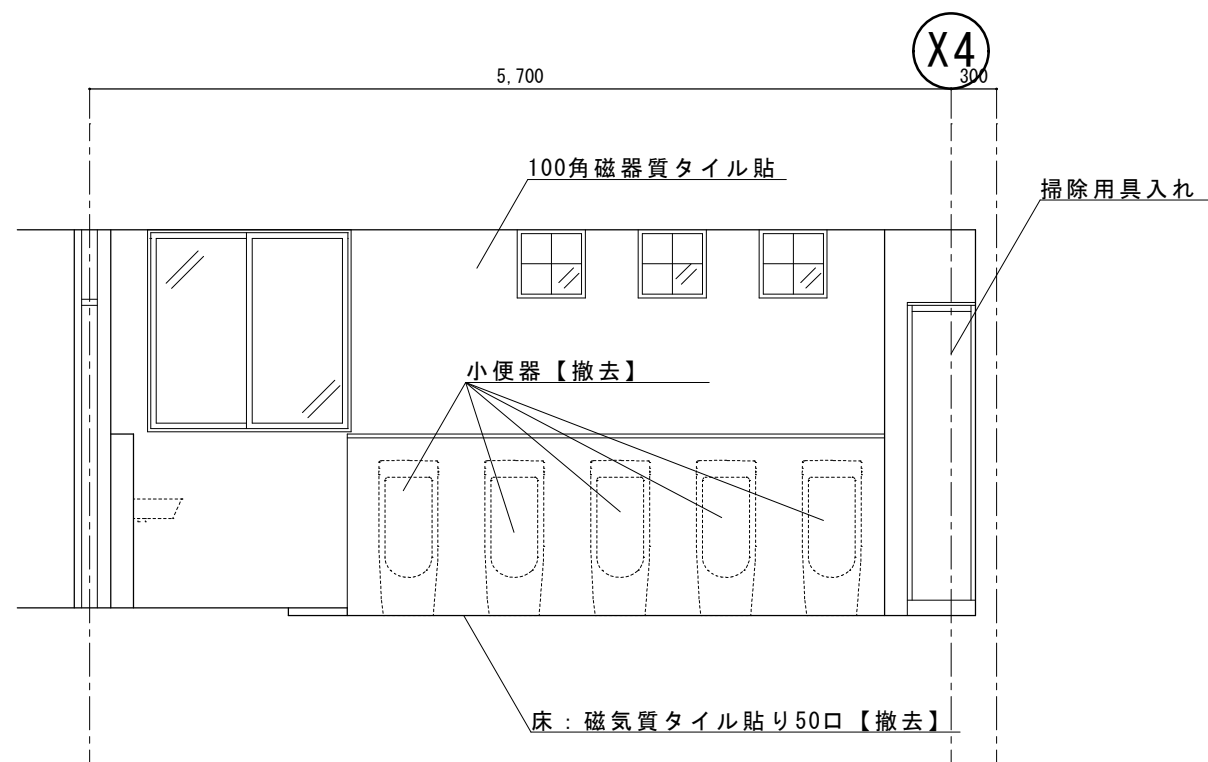


【改修後】C展開図

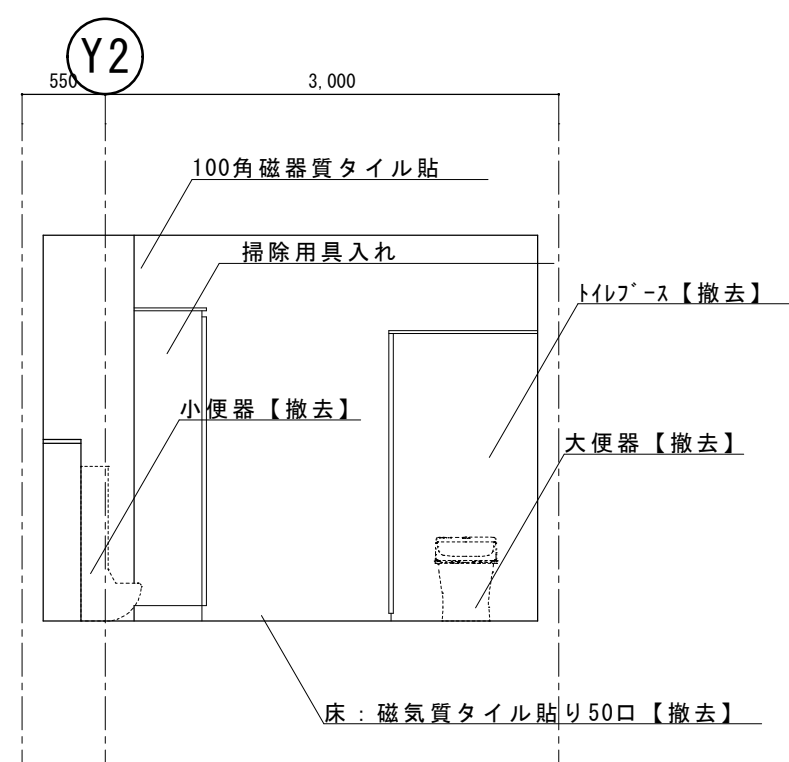


【改修後】D展開図

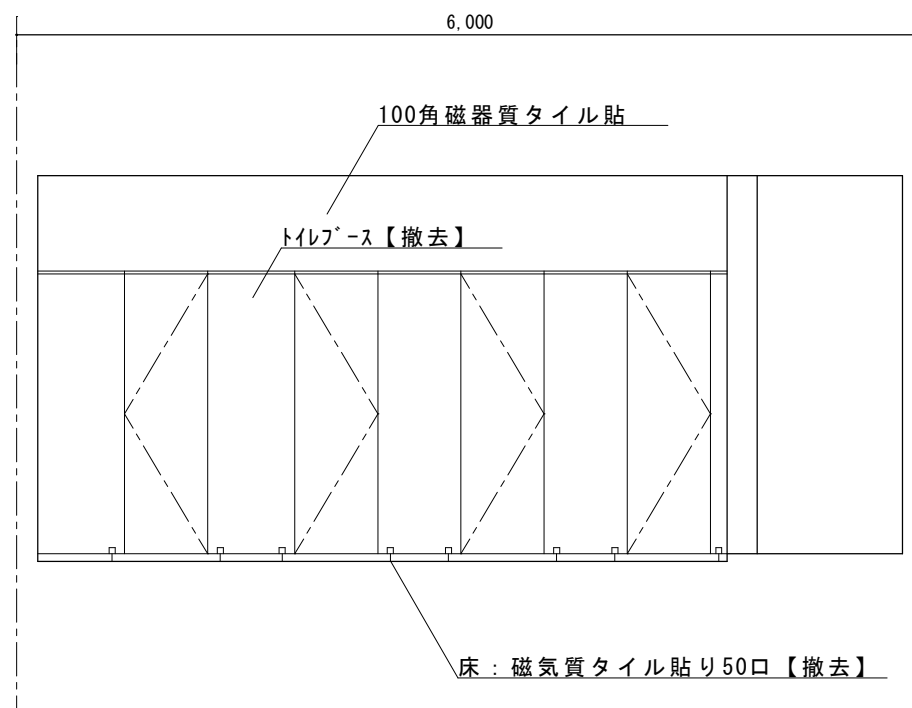
備考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎1、2階共通女子児童トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-36



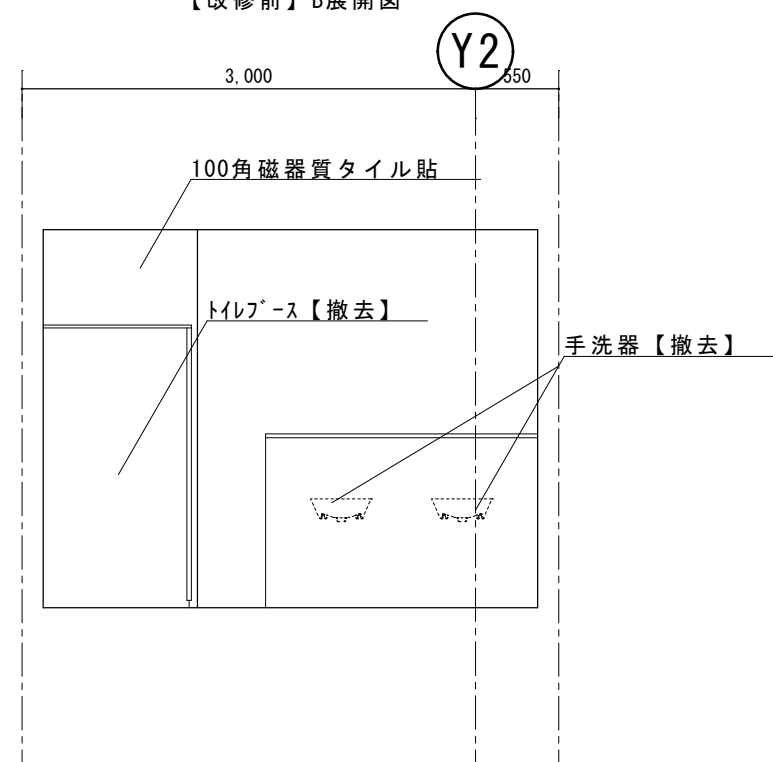
【改修前】A展開図



【改修前】B展開図

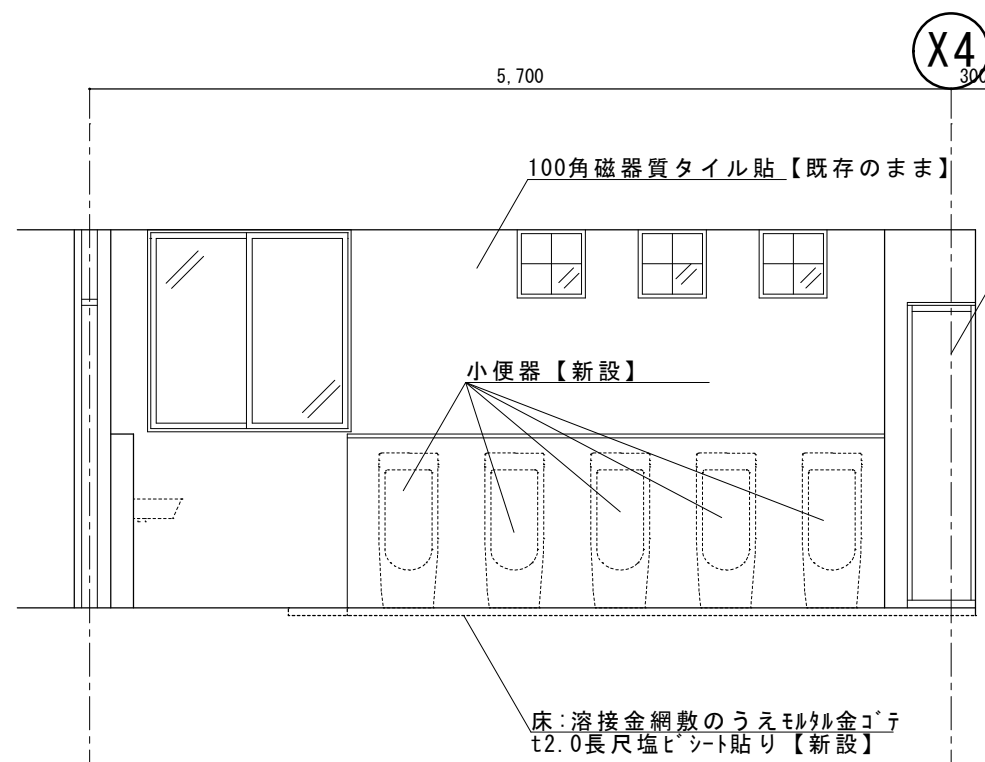


【改修前】C展開図

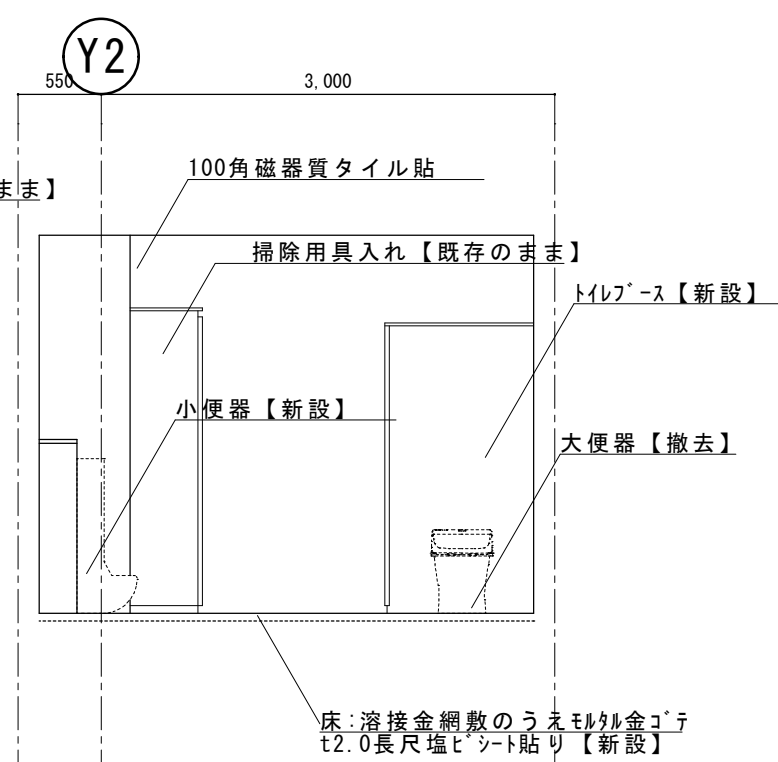


【改修前】D展開図

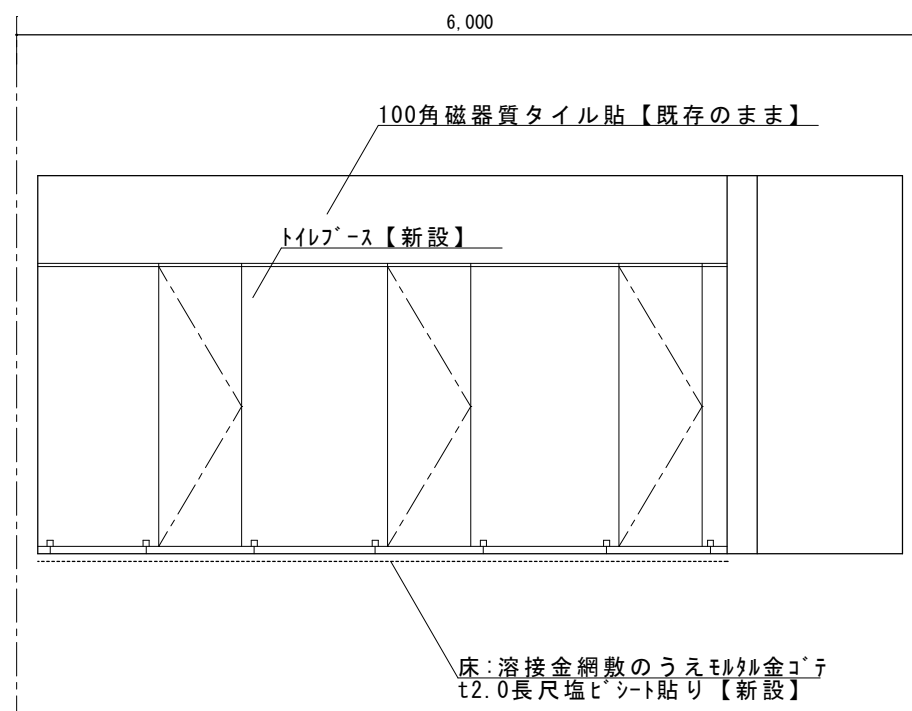
備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎1、2階共通男子児童トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-37



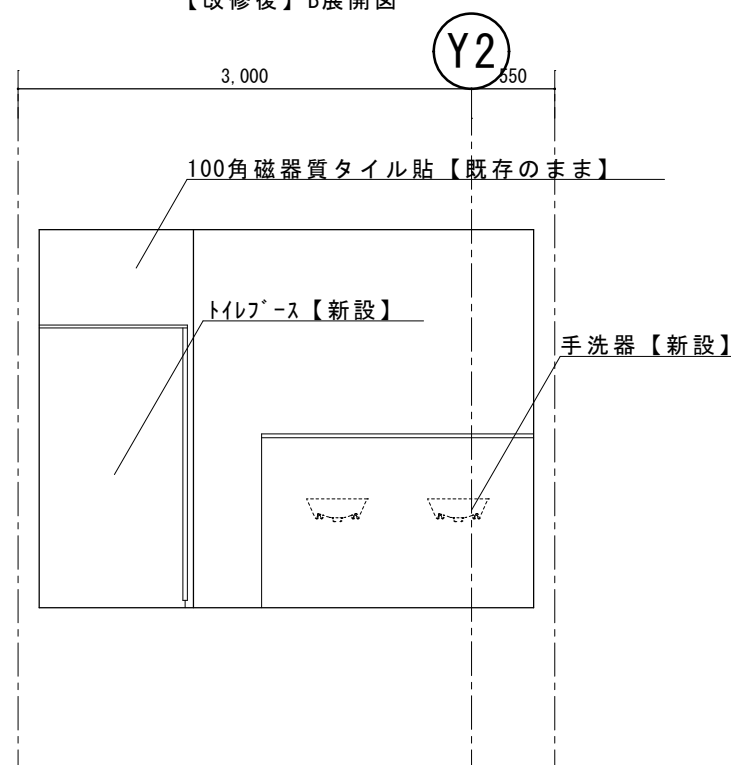
【改修後】A展開図



【改修後】B展開図

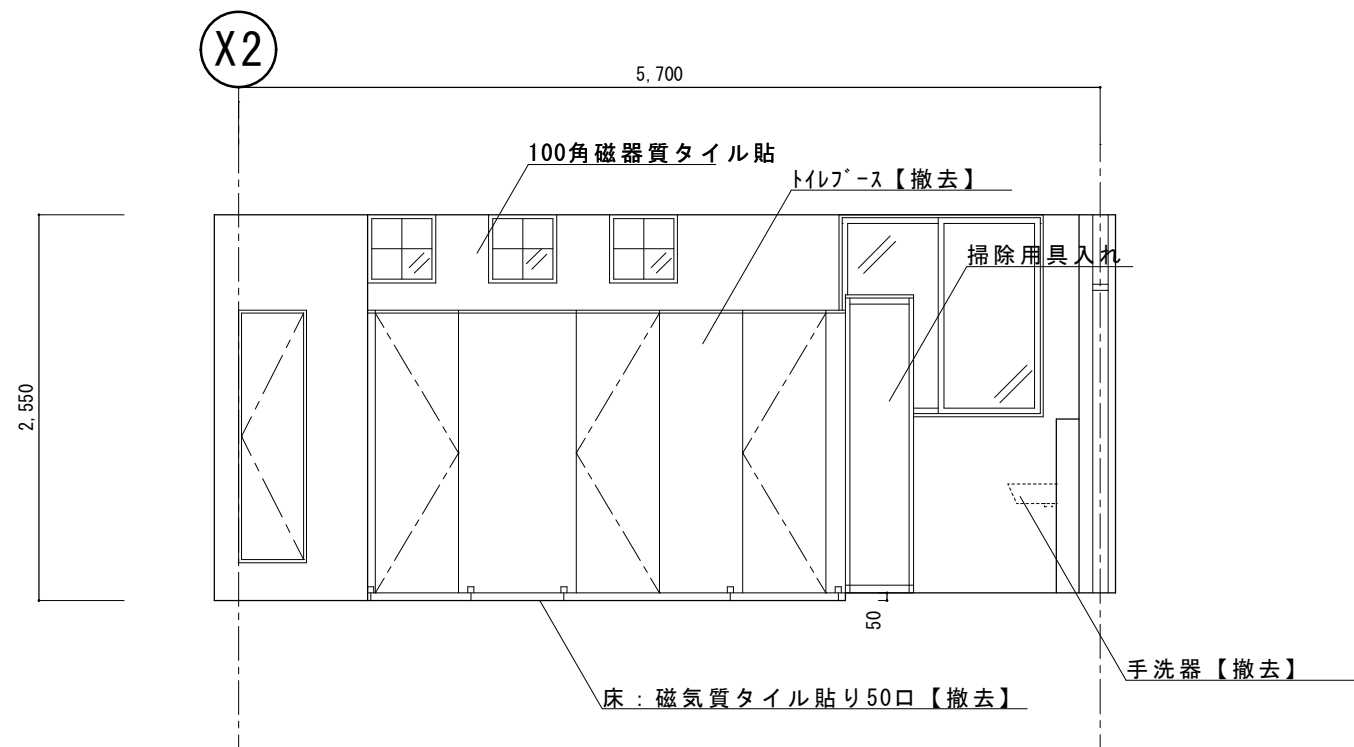


【改修後】C展開図

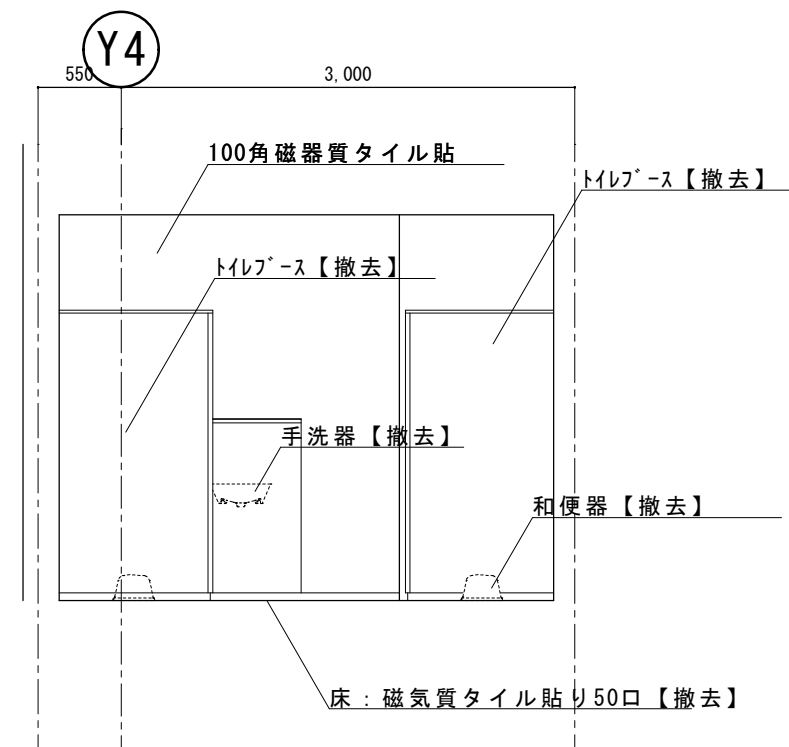


【改修後】D展開図

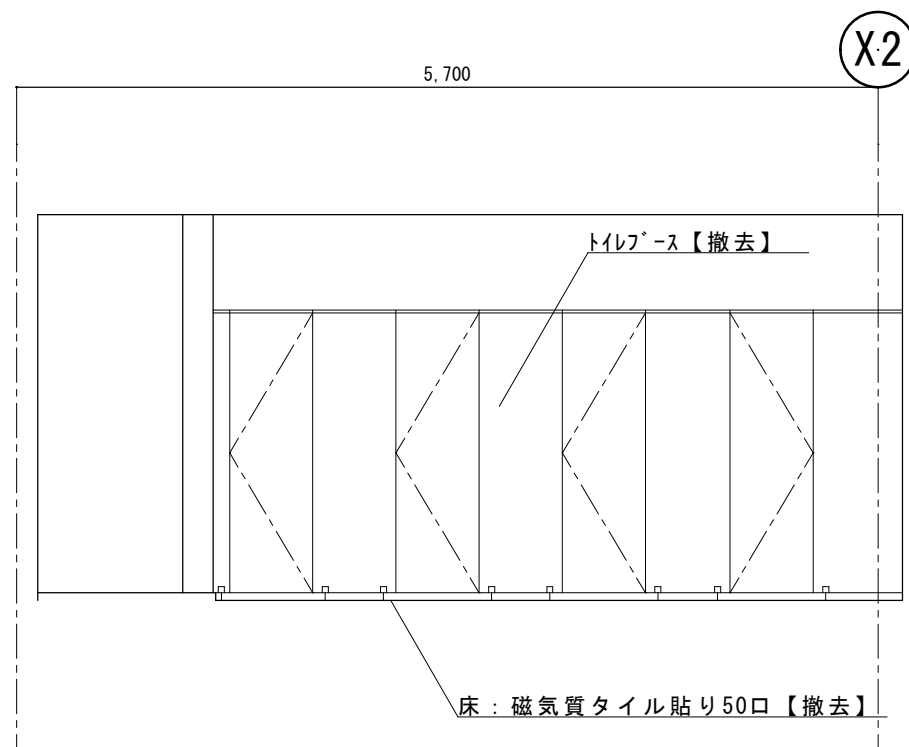
備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎1、2階共通男子児童トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-38



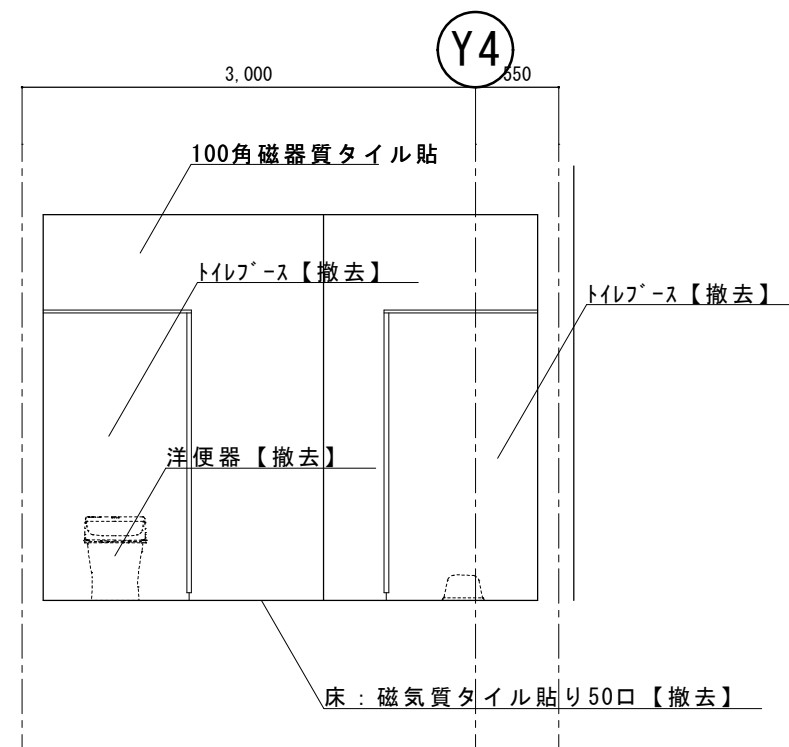
【改修前】A展開図



【改修前】B展開図

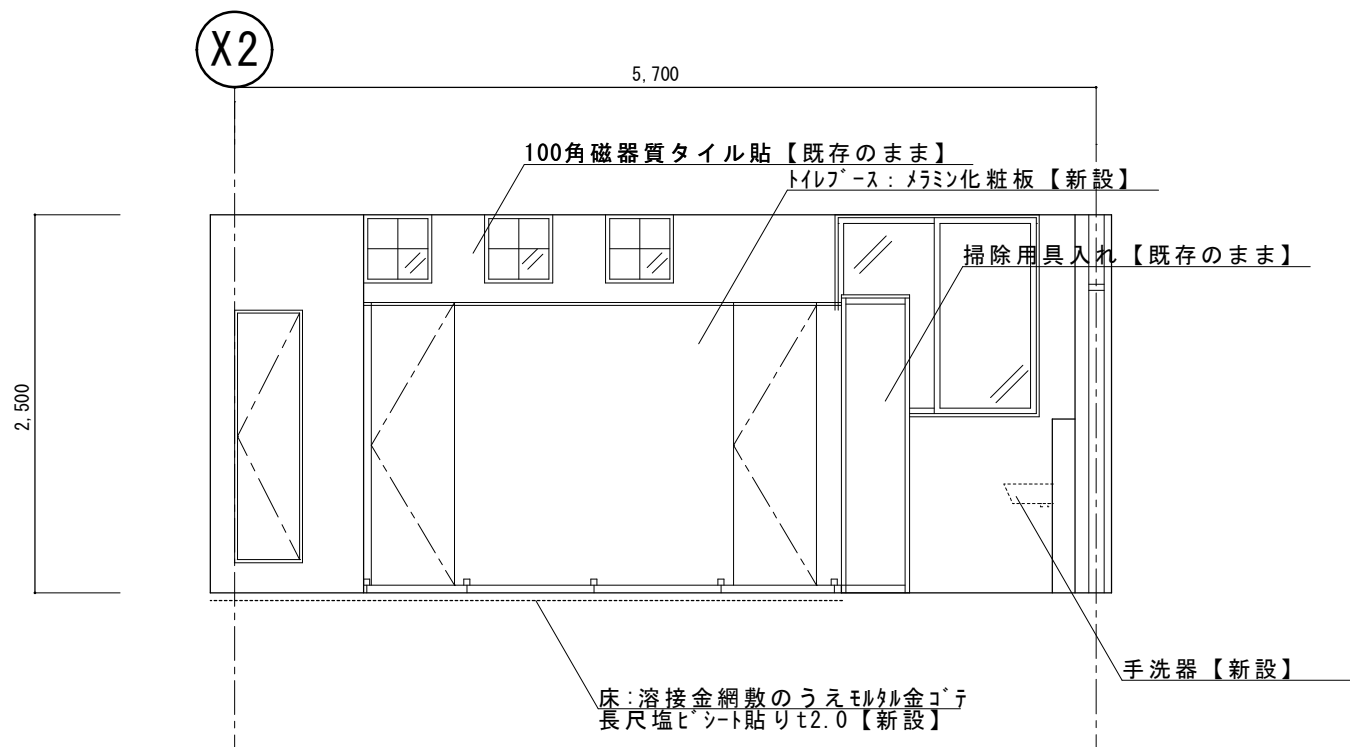


【改修前】C展開図

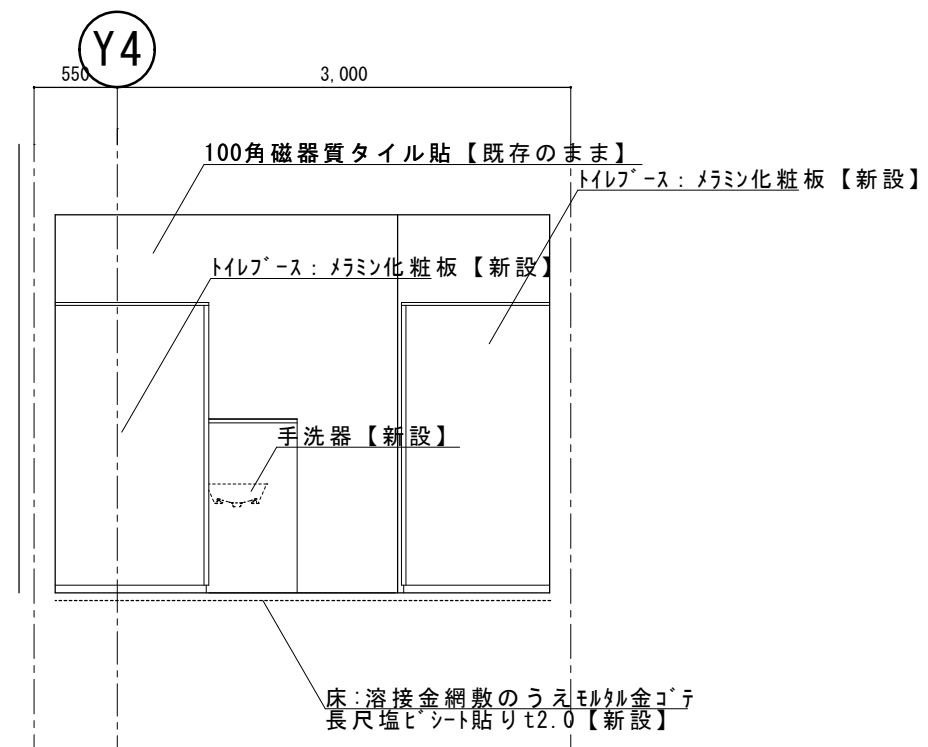


【改修前】D展開図

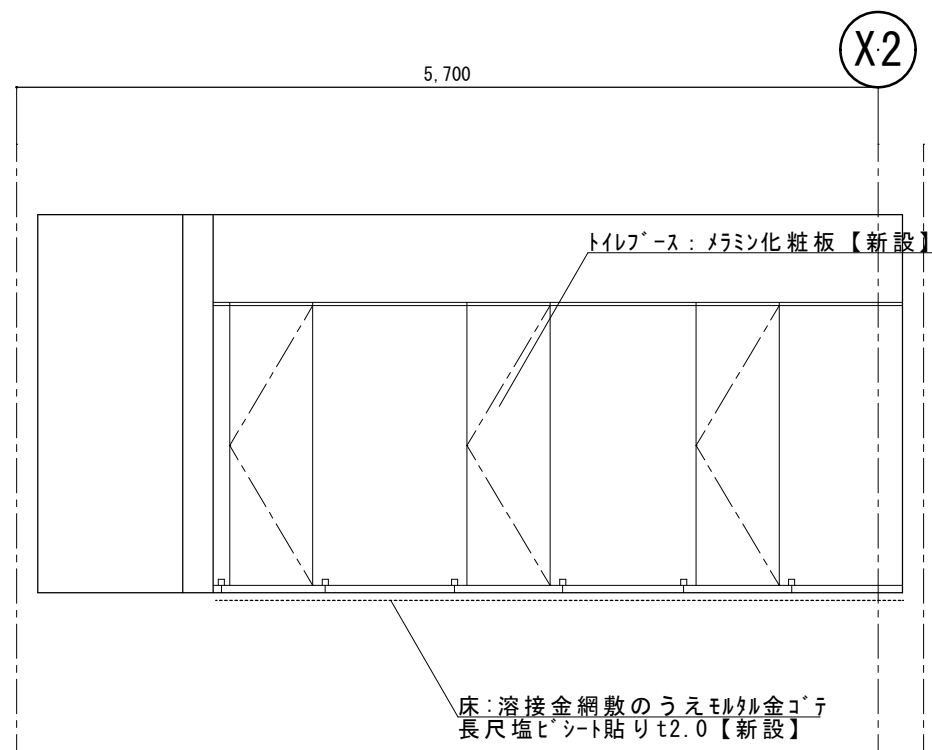
備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎3階女子児童トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-39



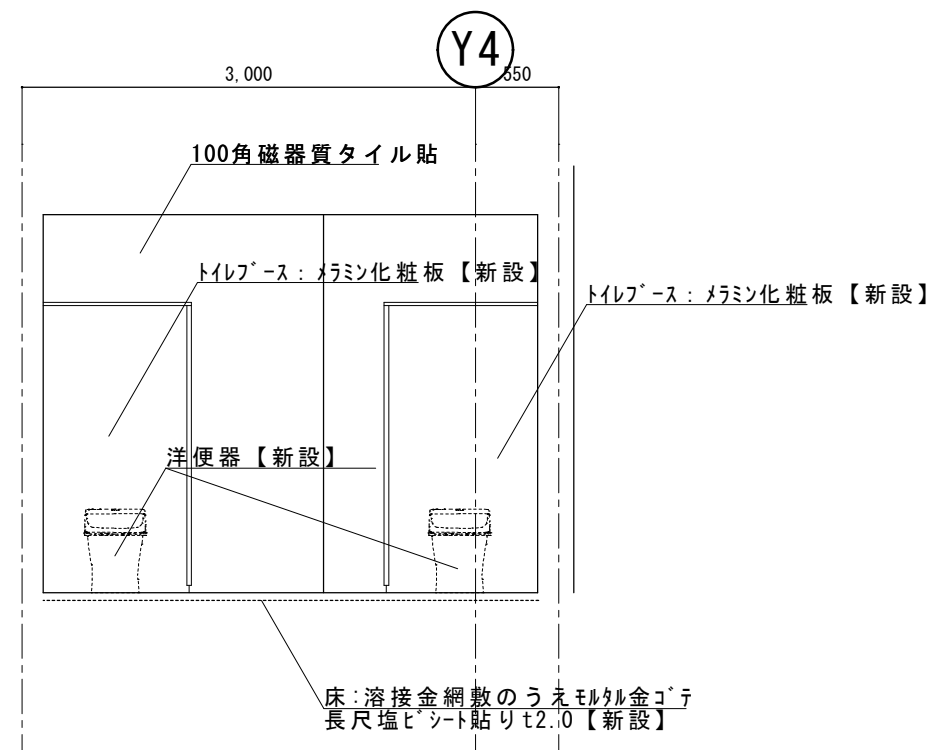
【改修後】A展開図



【改修後】B展開図

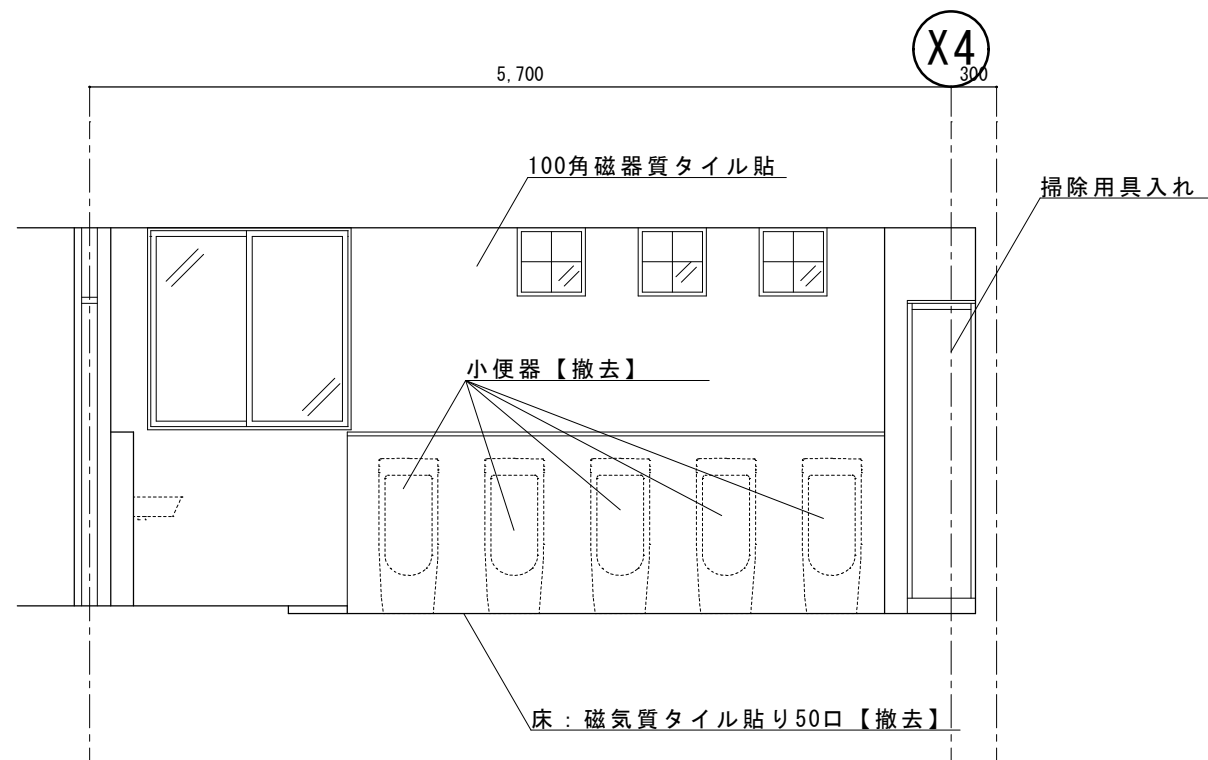


【改修後】C展開図

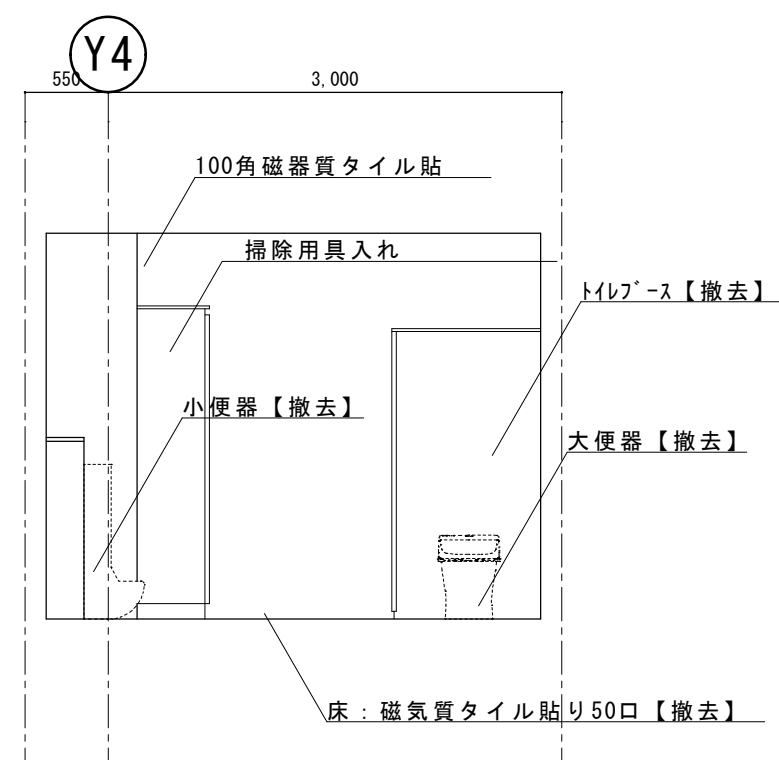


【改修後】D展開図

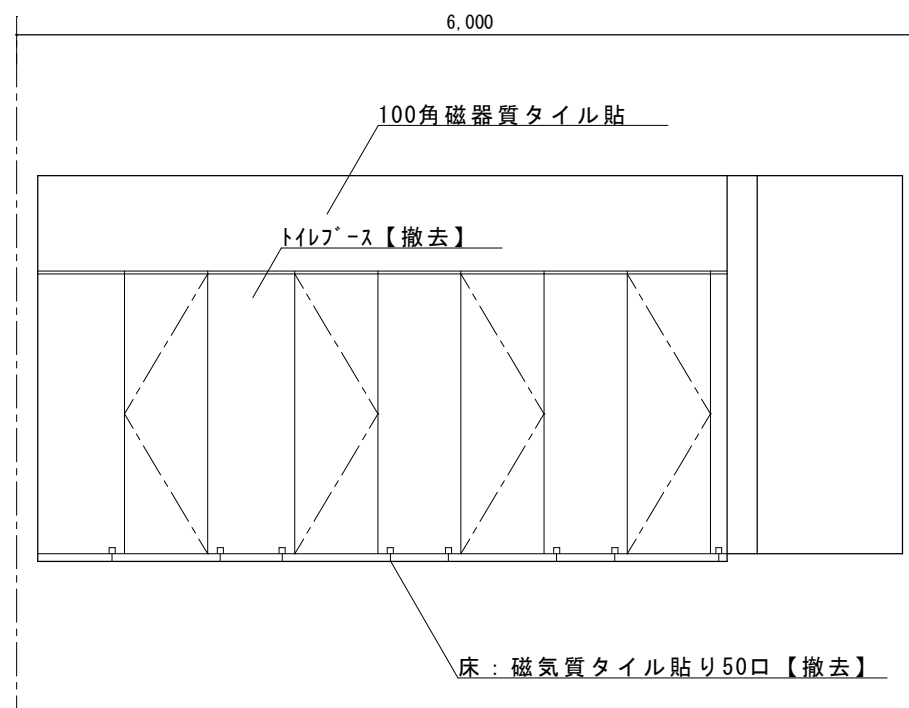
備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎3階女子児童トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-40



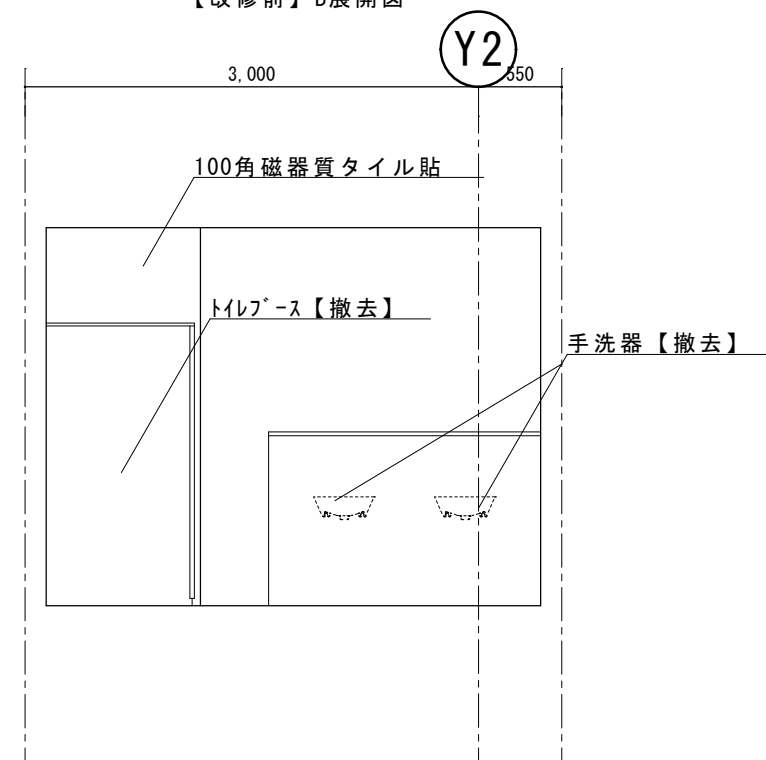
【改修前】A展開図



【改修前】B展開図

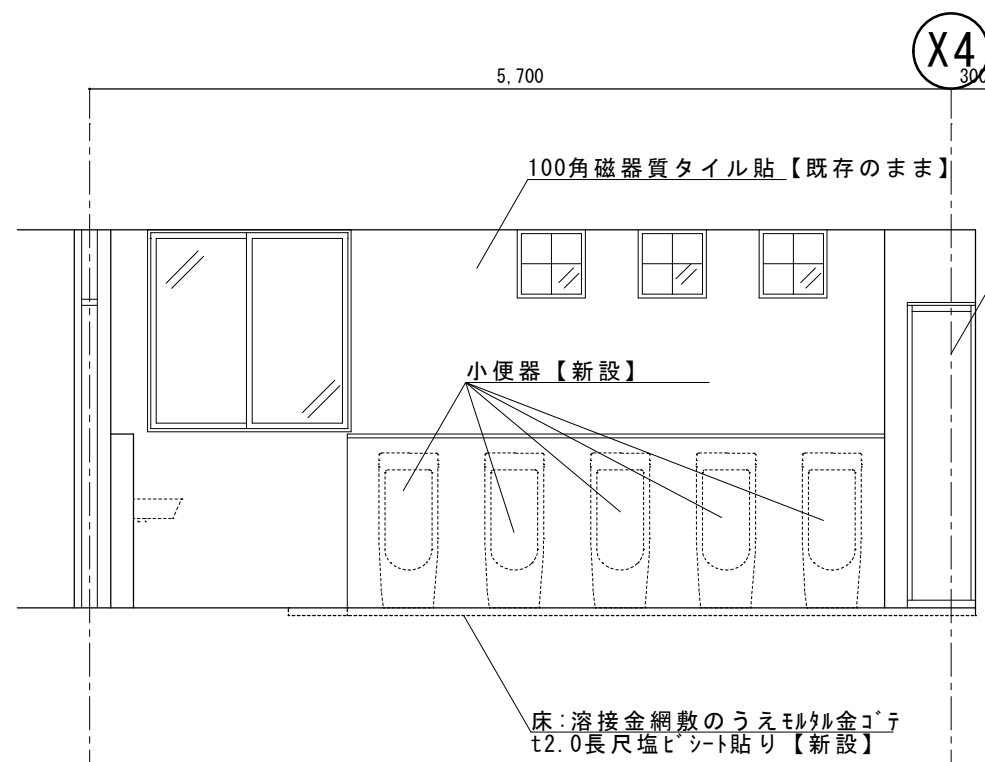


【改修前】C展開図

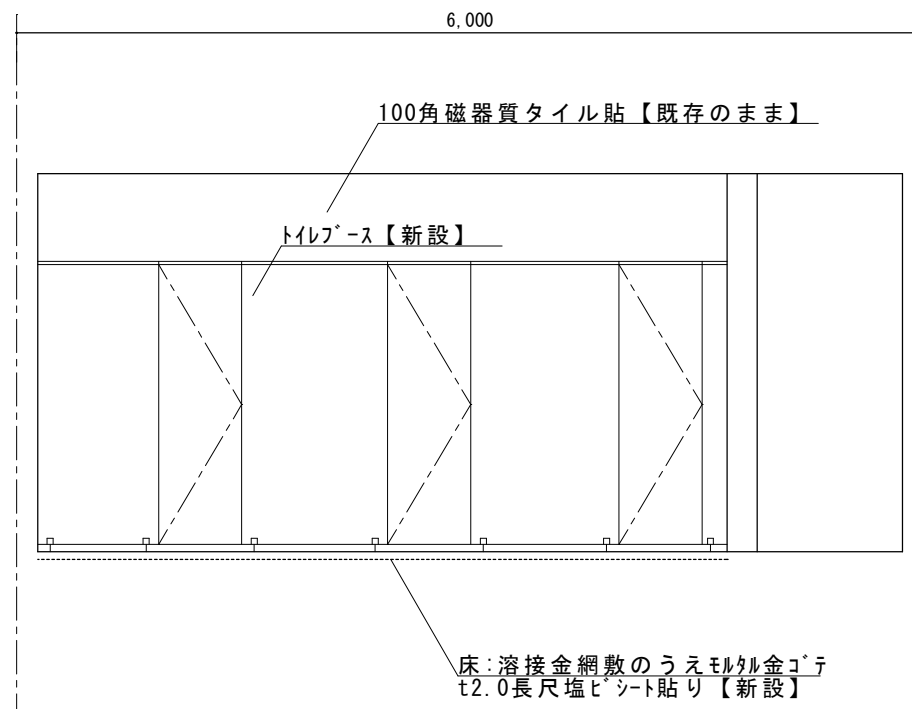


【改修前】D展開図

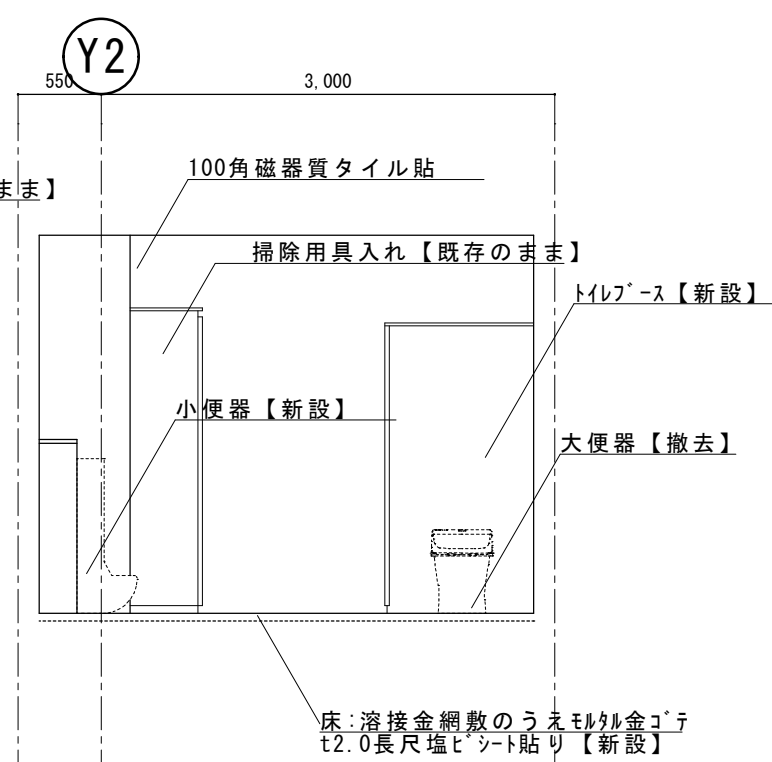
備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎3階男子児童トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-41



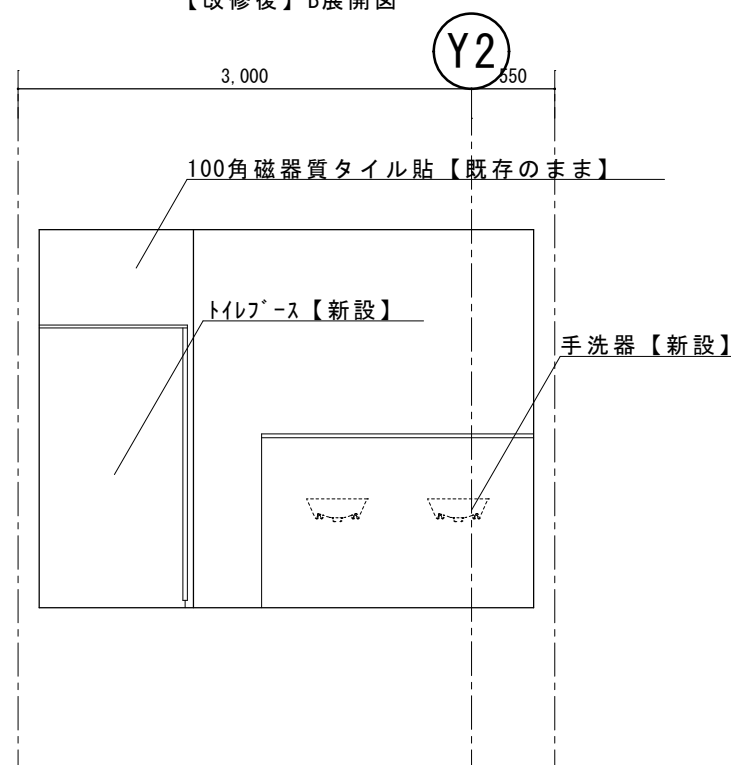
【改修後】A展開図



【改修後】C展開図



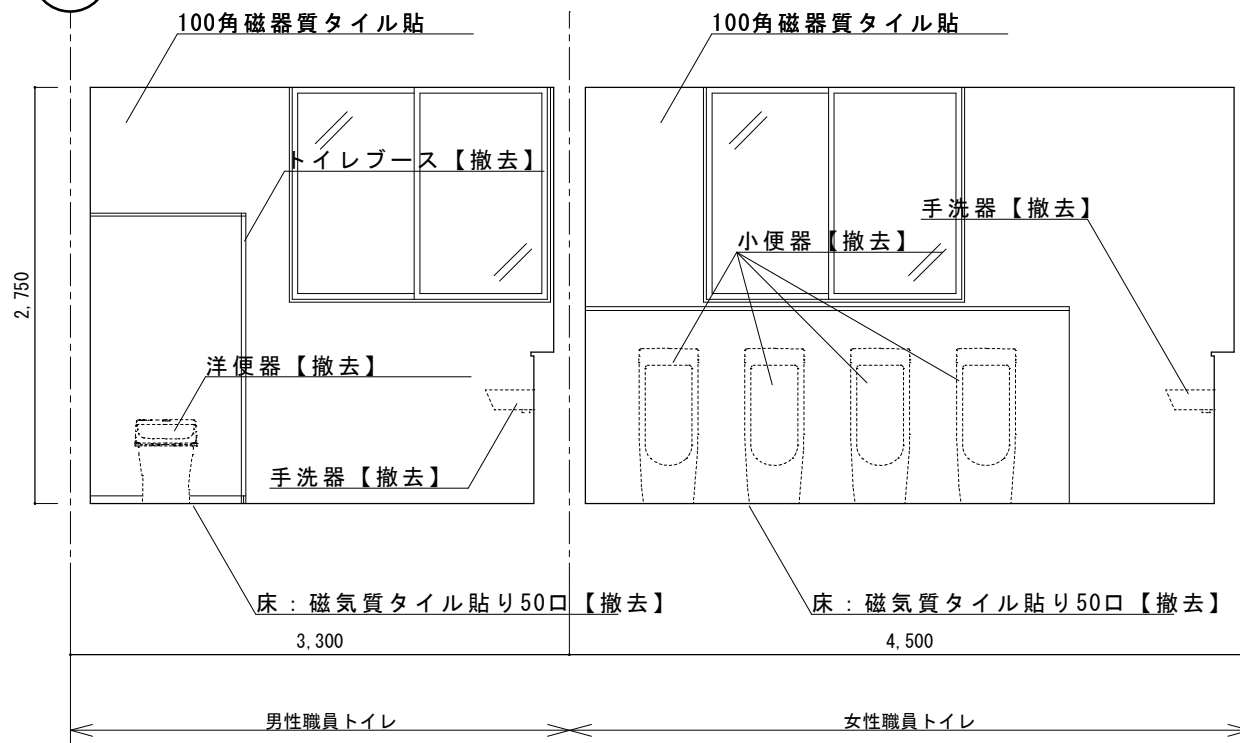
【改修後】B展開図



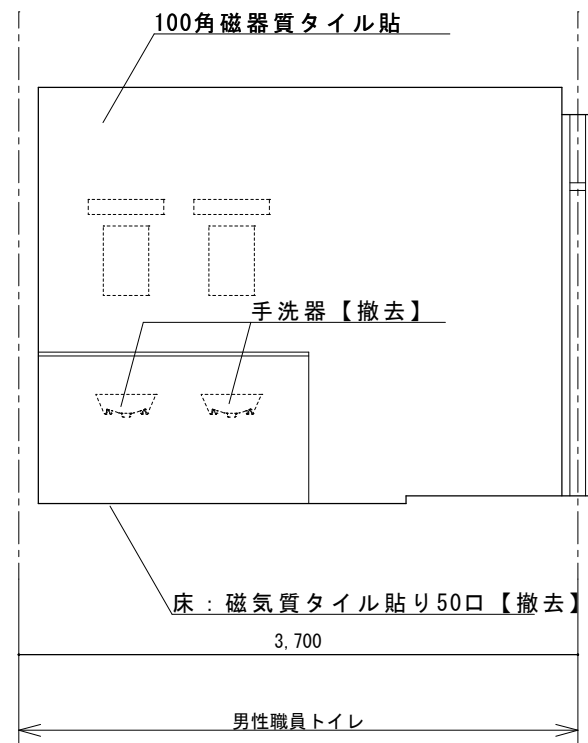
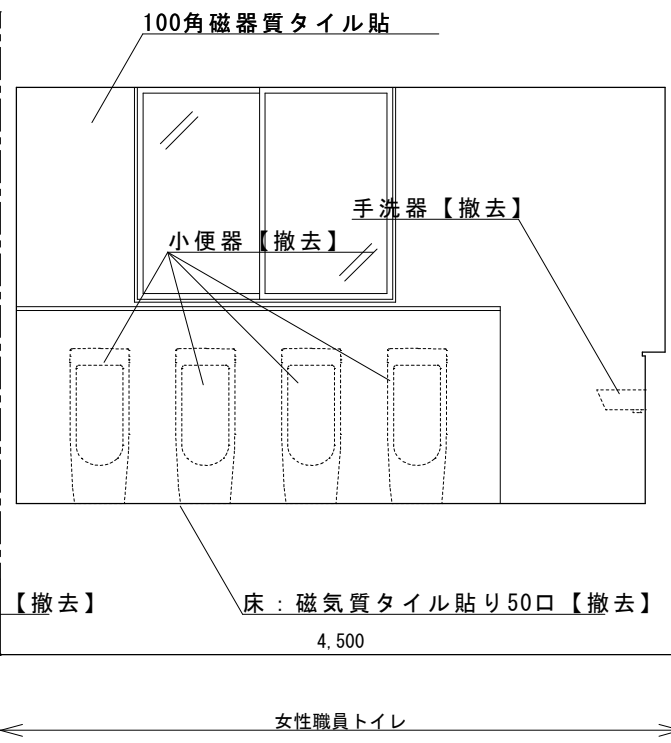
【改修後】D展開図

備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎3階男子児童トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-42

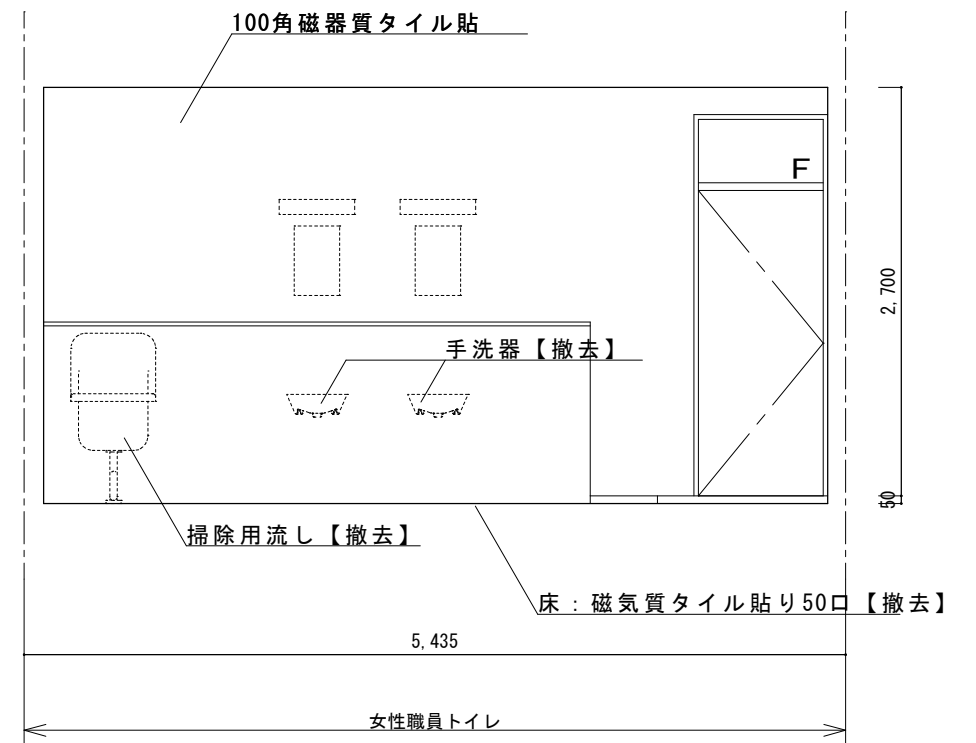
X7



【改修前】A展開図

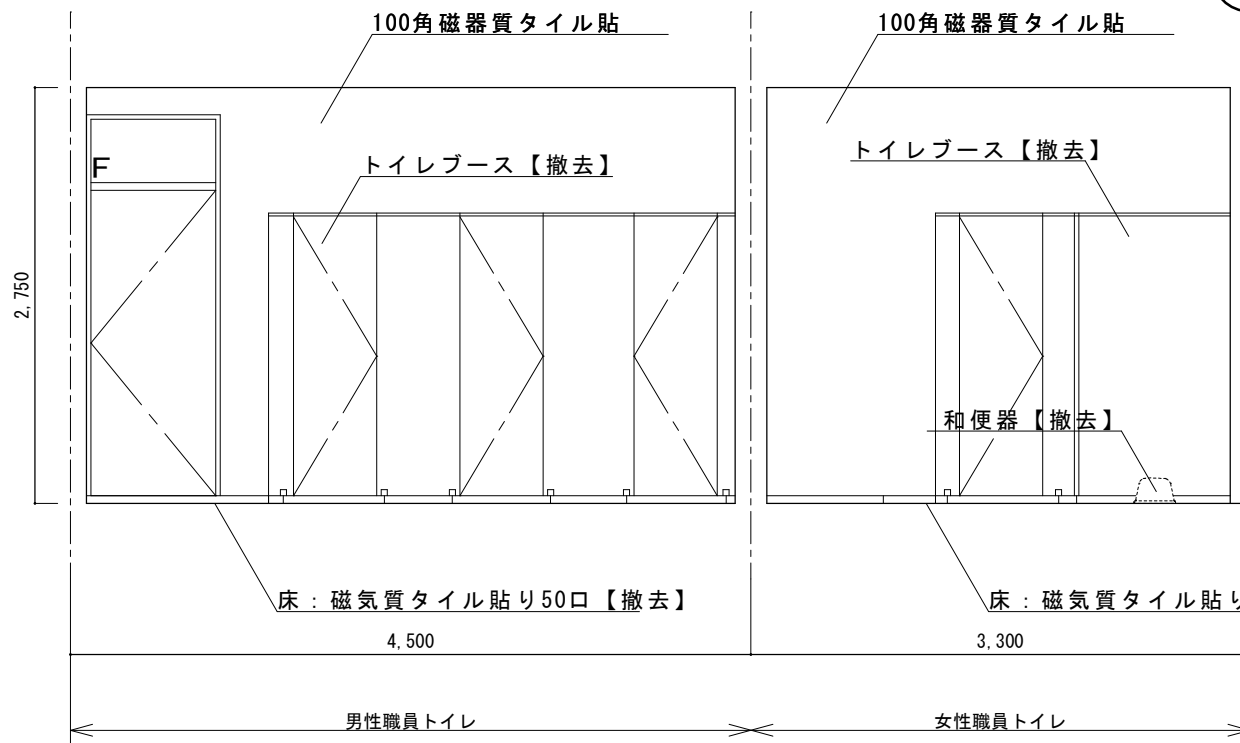


【改修前】B展開図

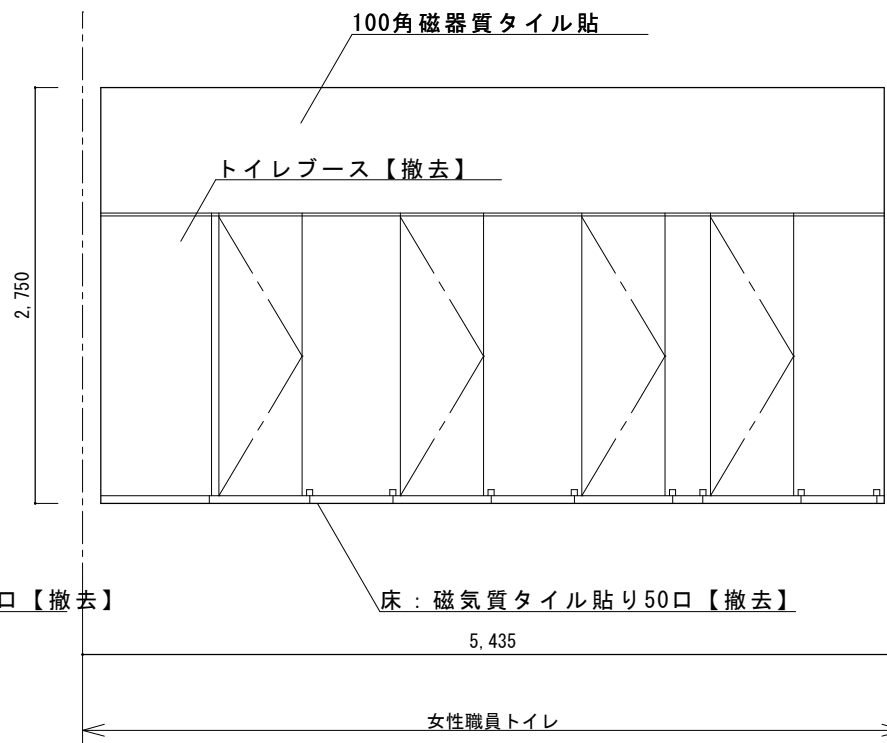
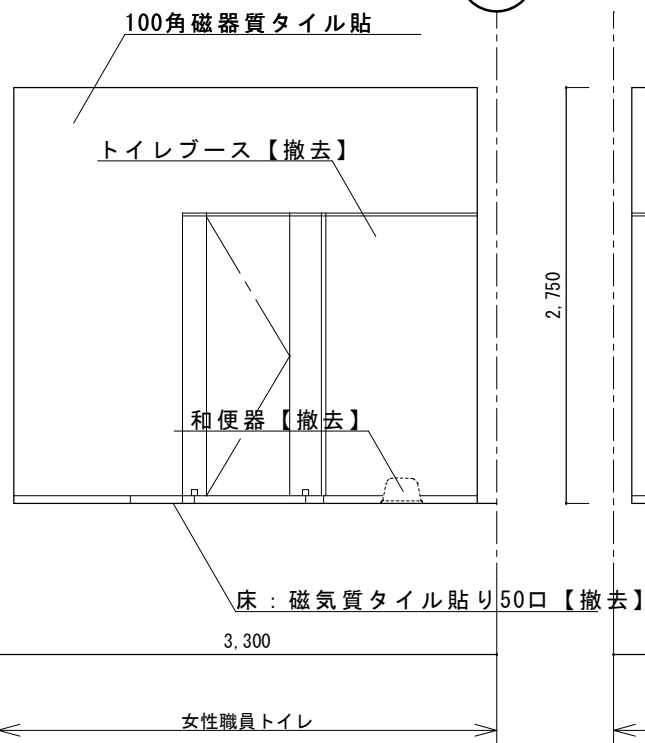


【改修前】B展開図

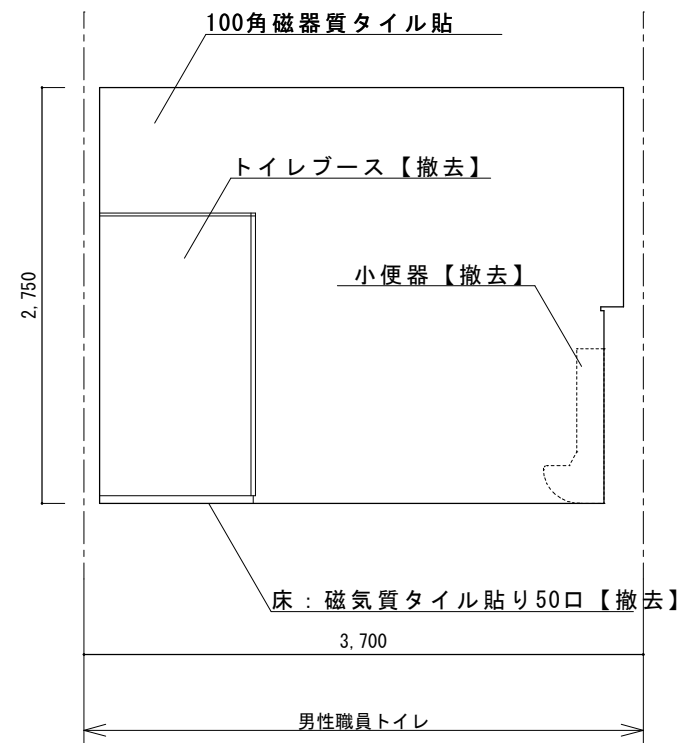
X7



【改修前】C展開図



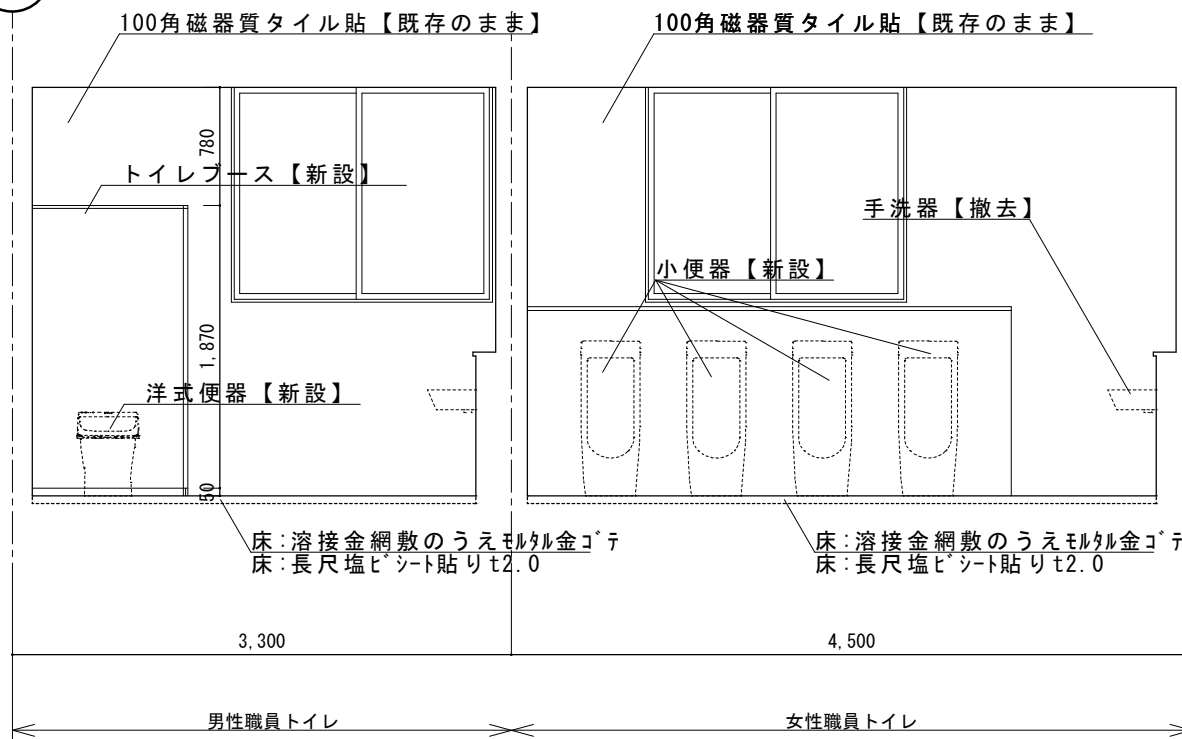
【改修前】D展開図



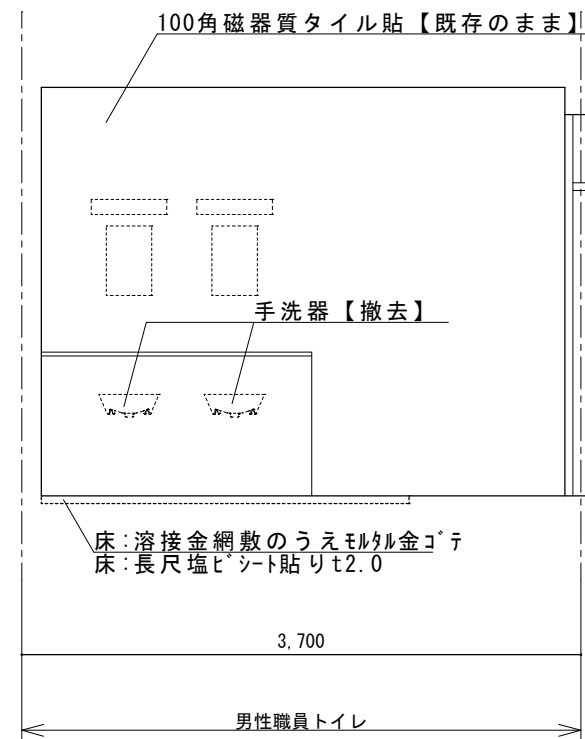
【改修前】D展開図

備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】1階職員トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-43

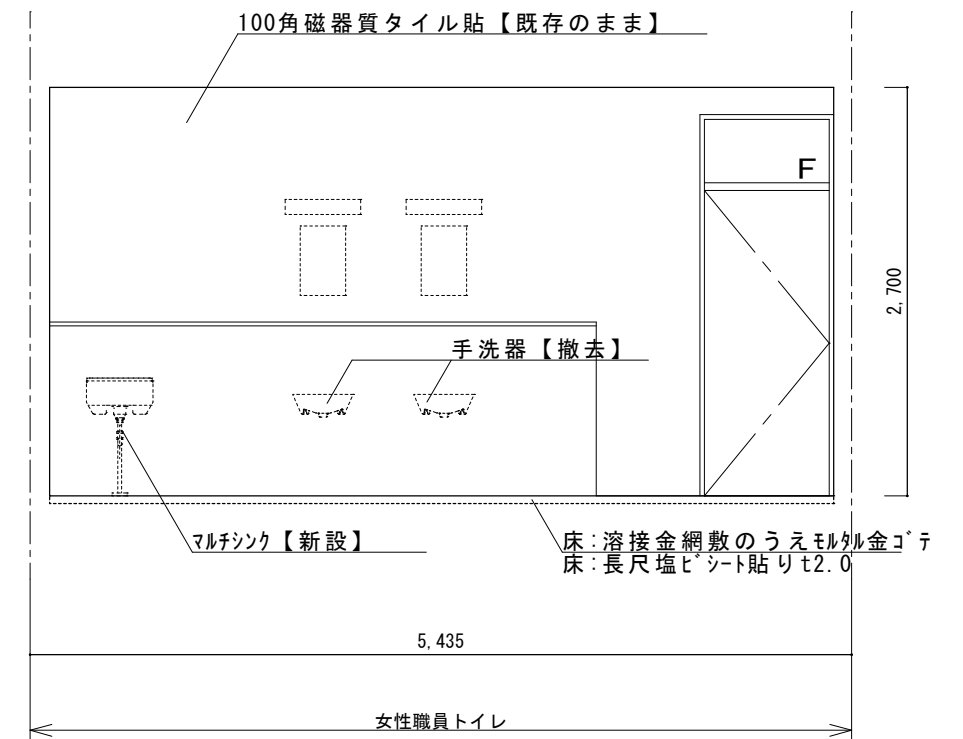
X7



【改修後】A展開図

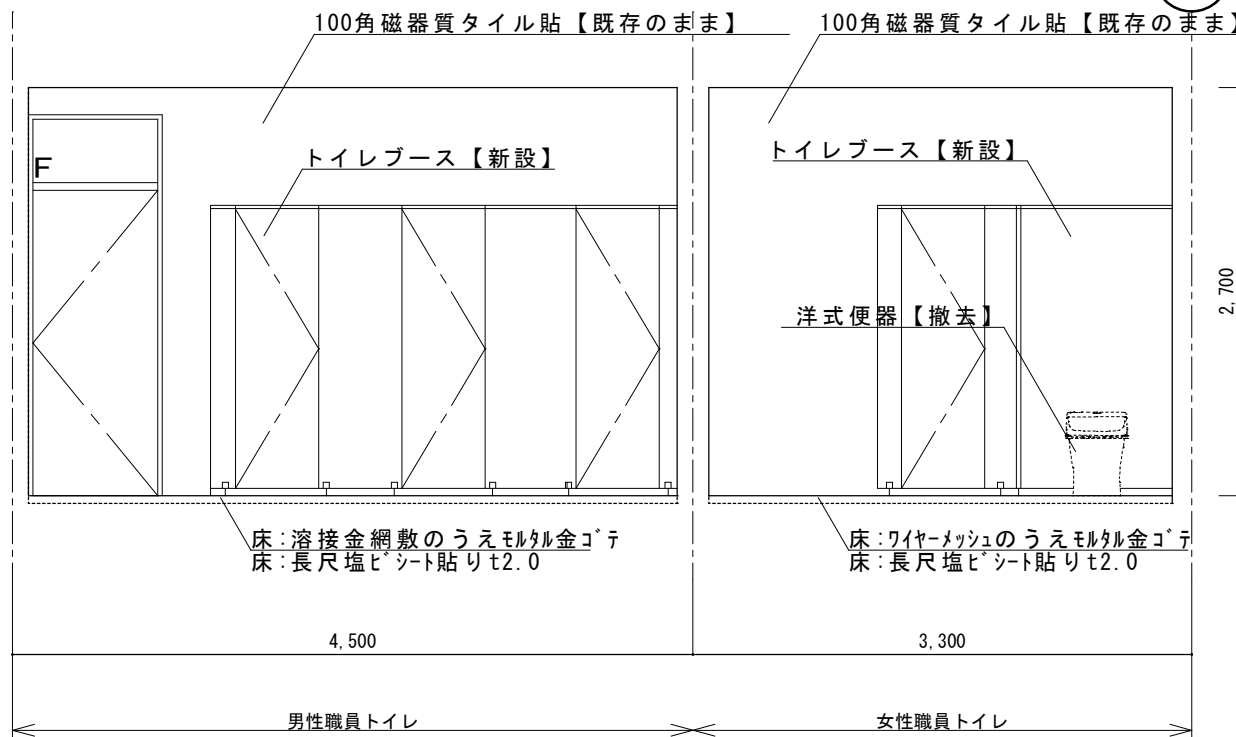


【改修後】B展開図

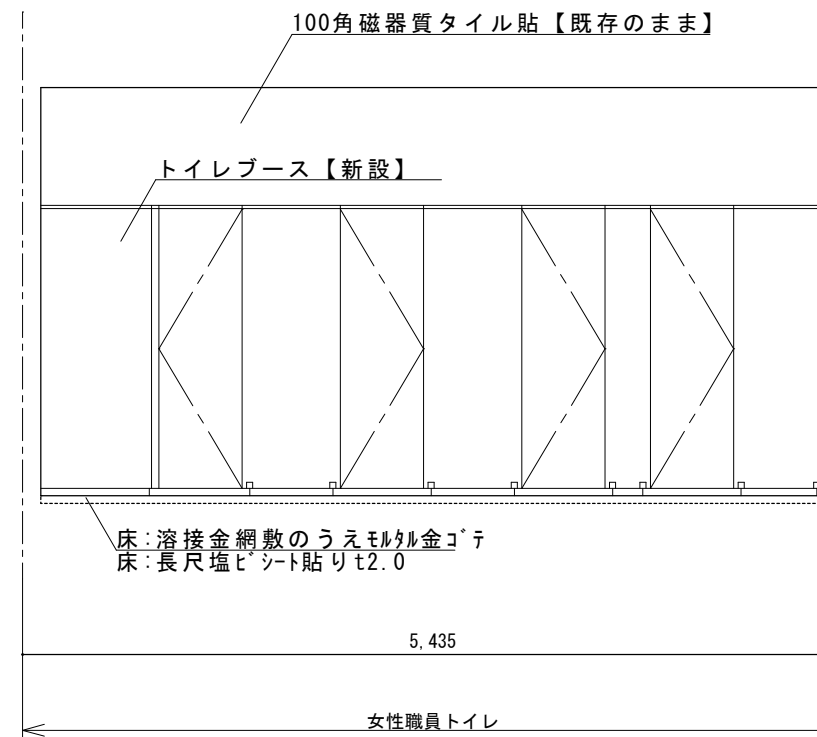


【改修後】B展開図

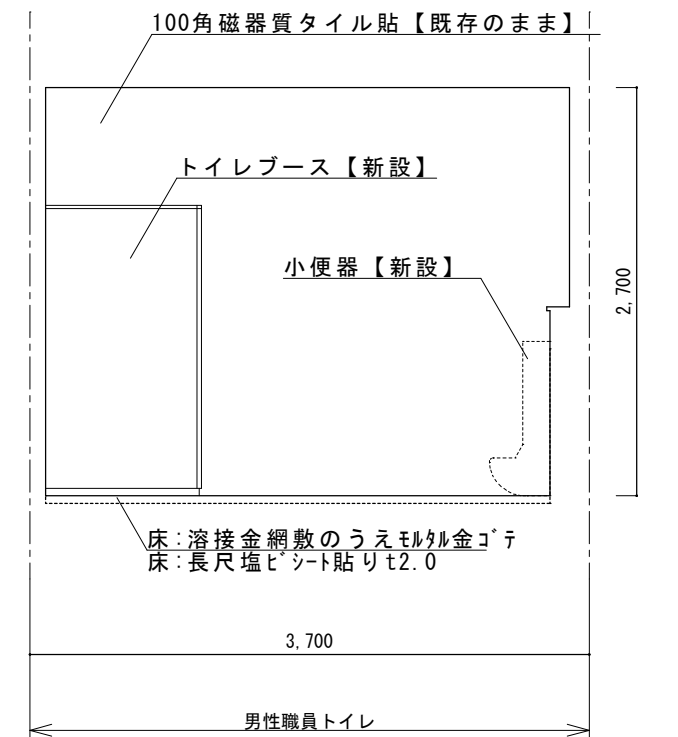
X7



【改修後】C展開図

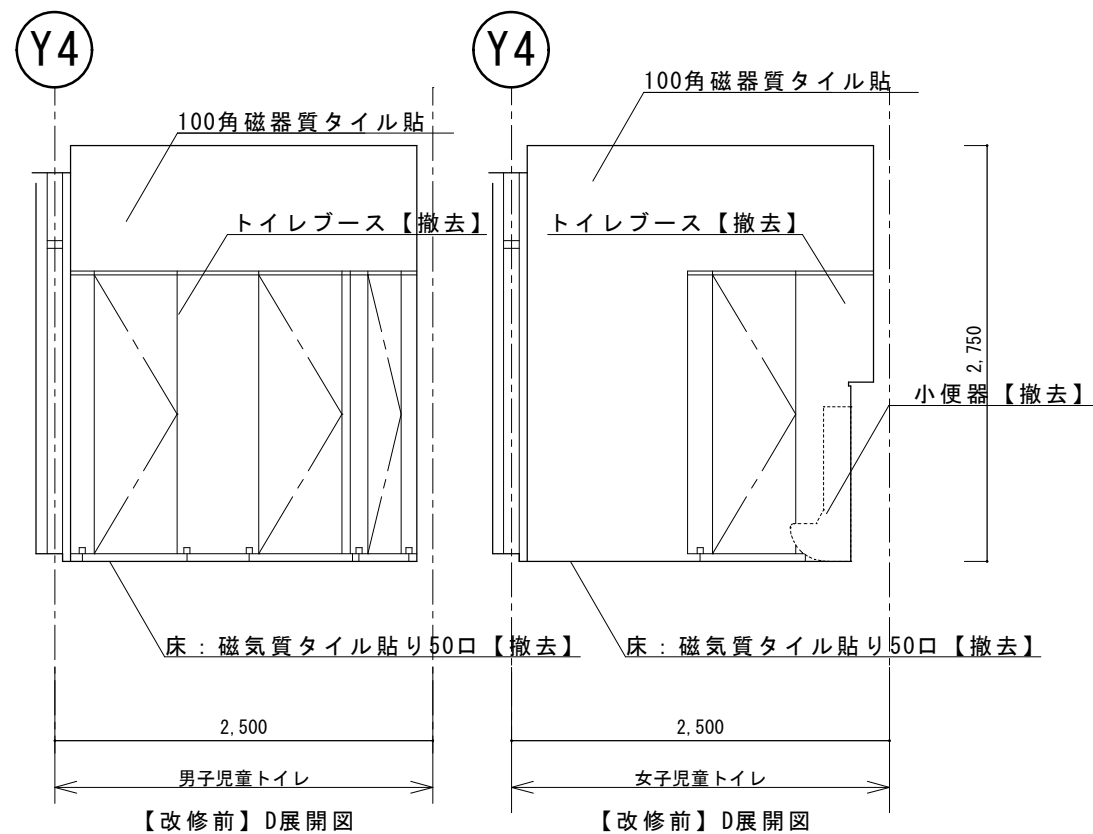
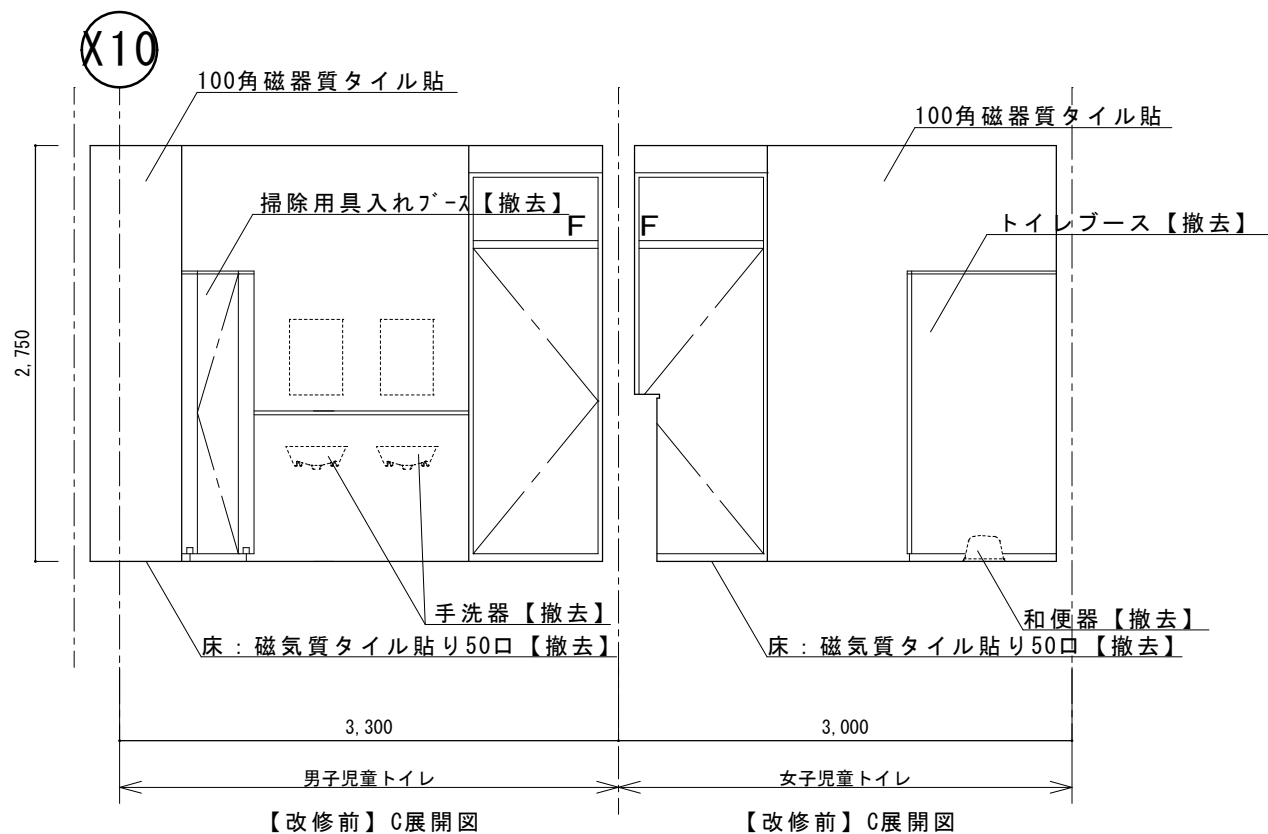
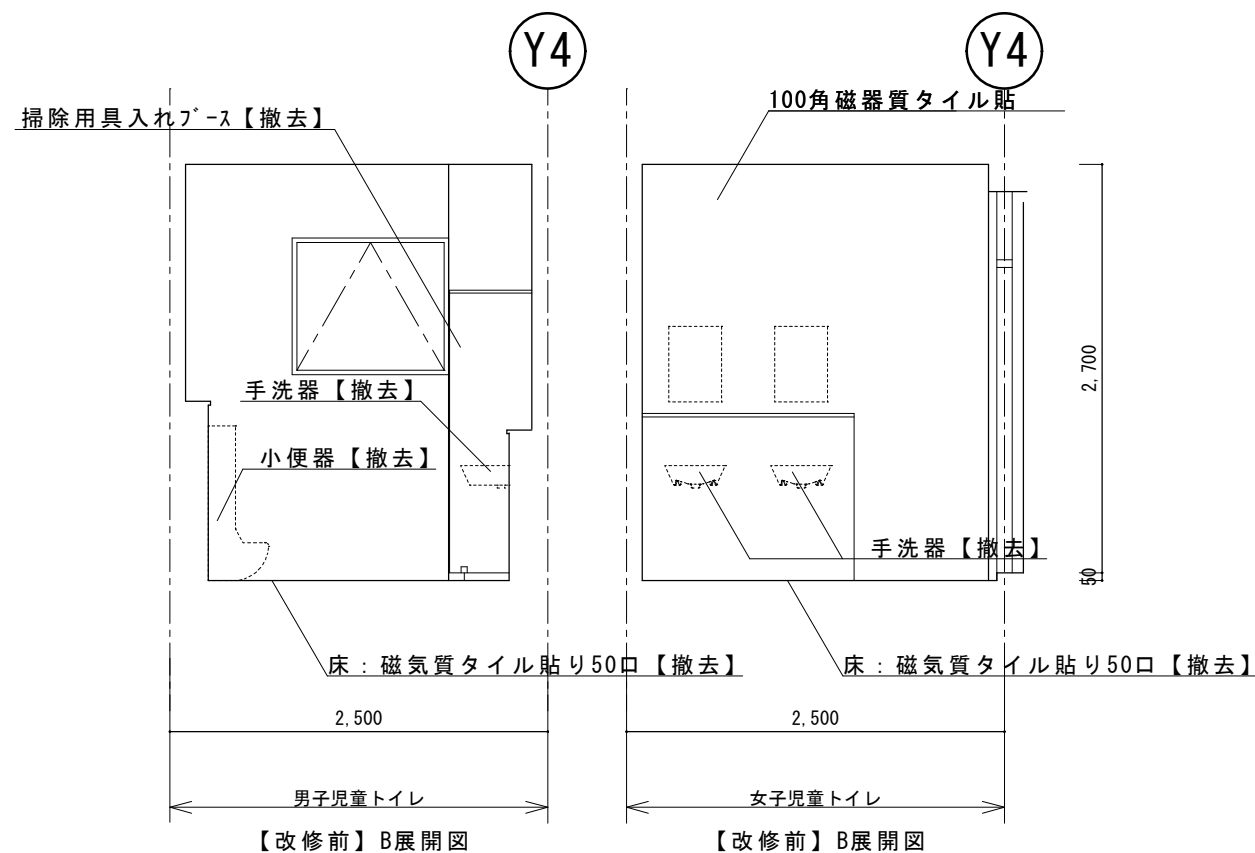
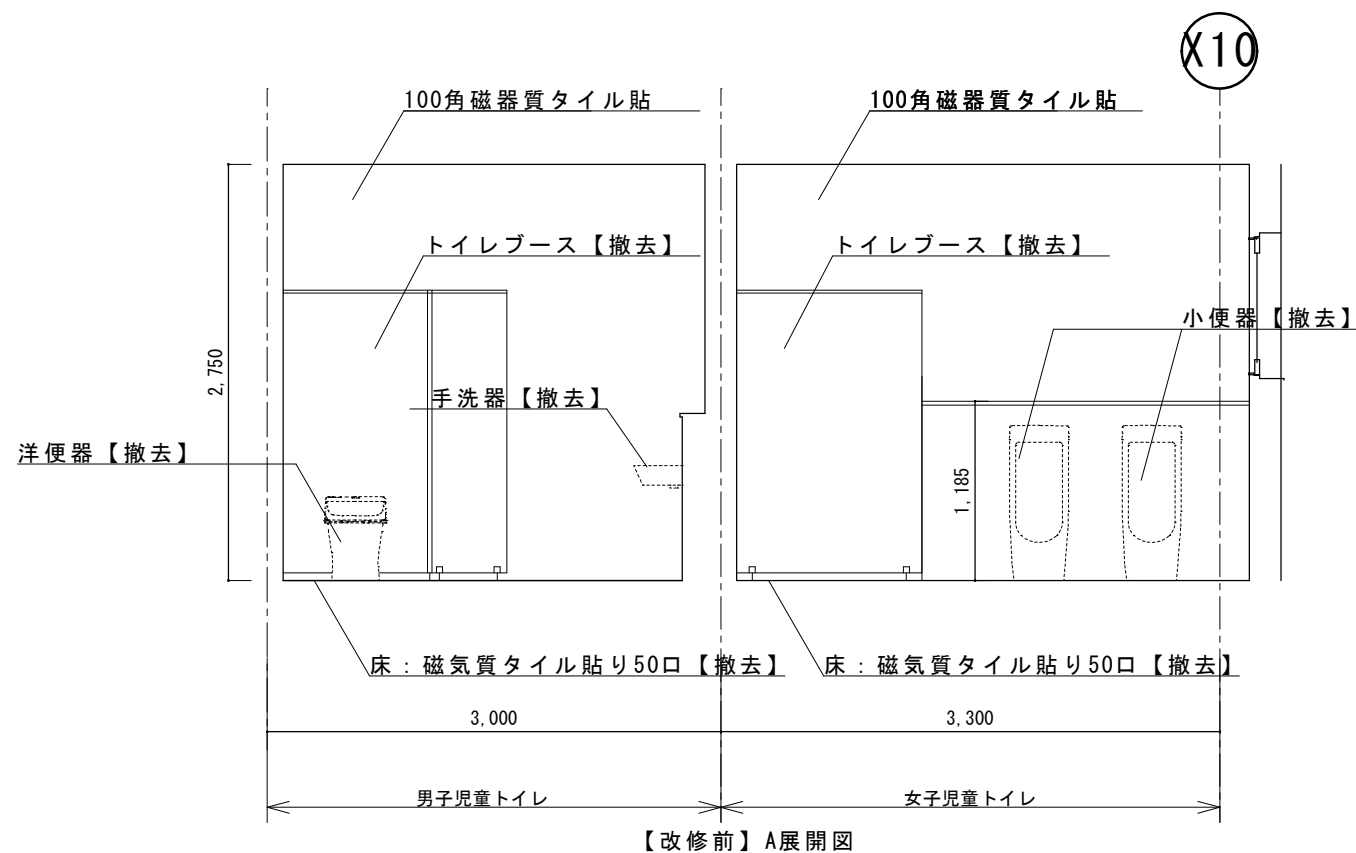


【改修後】D展開図

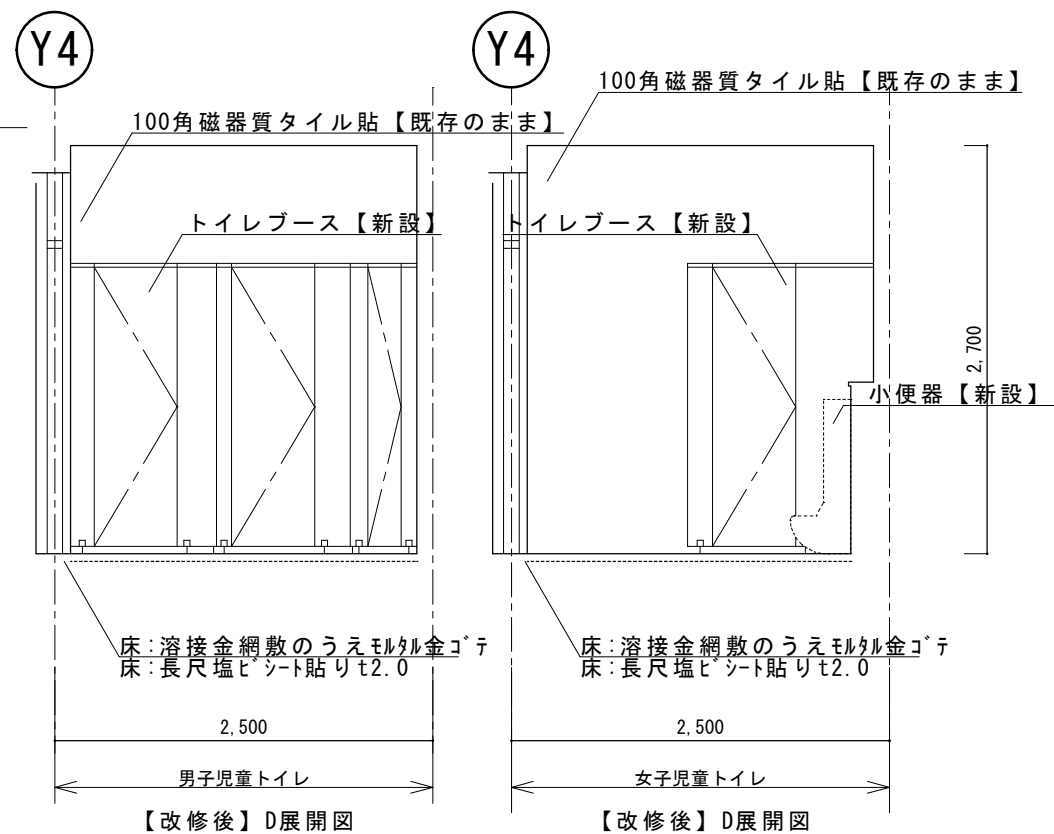
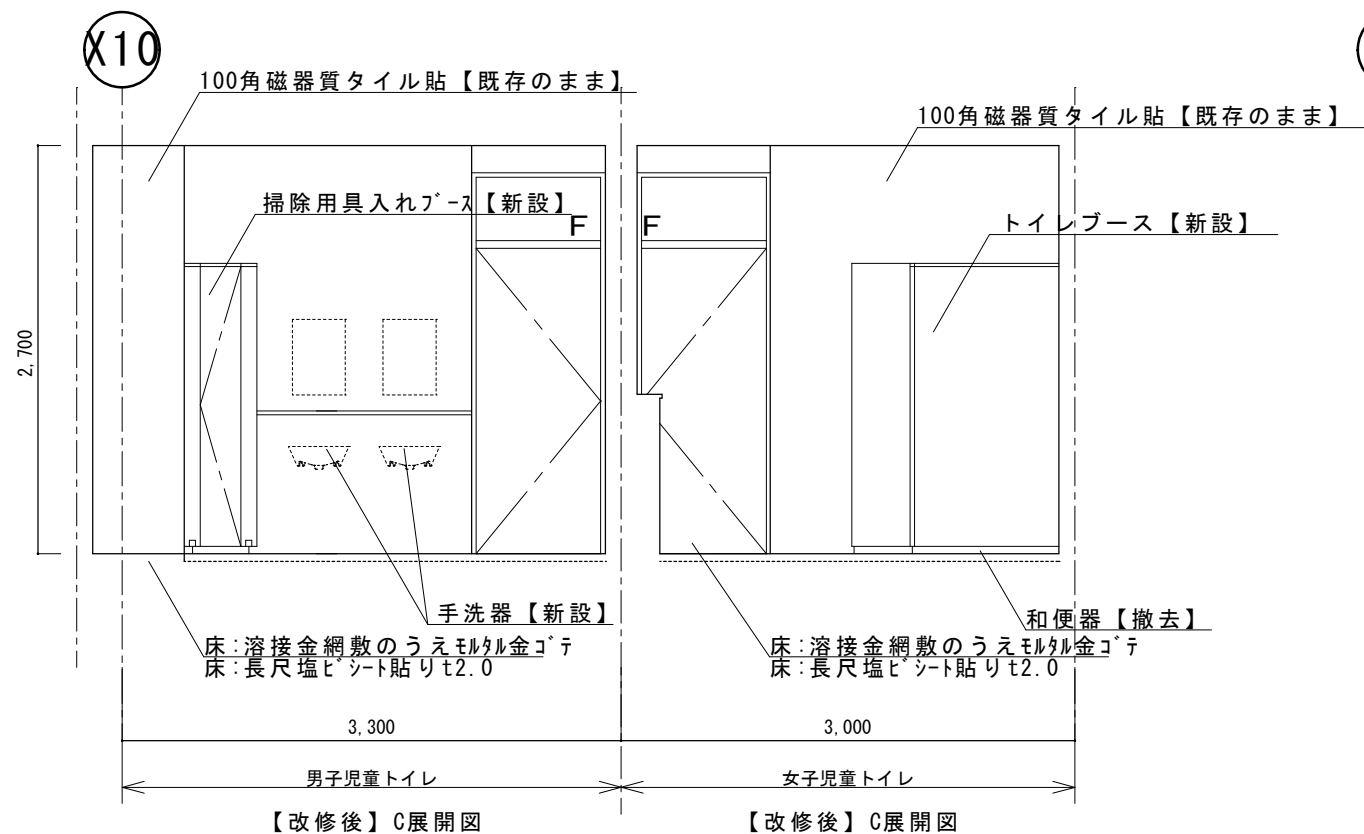
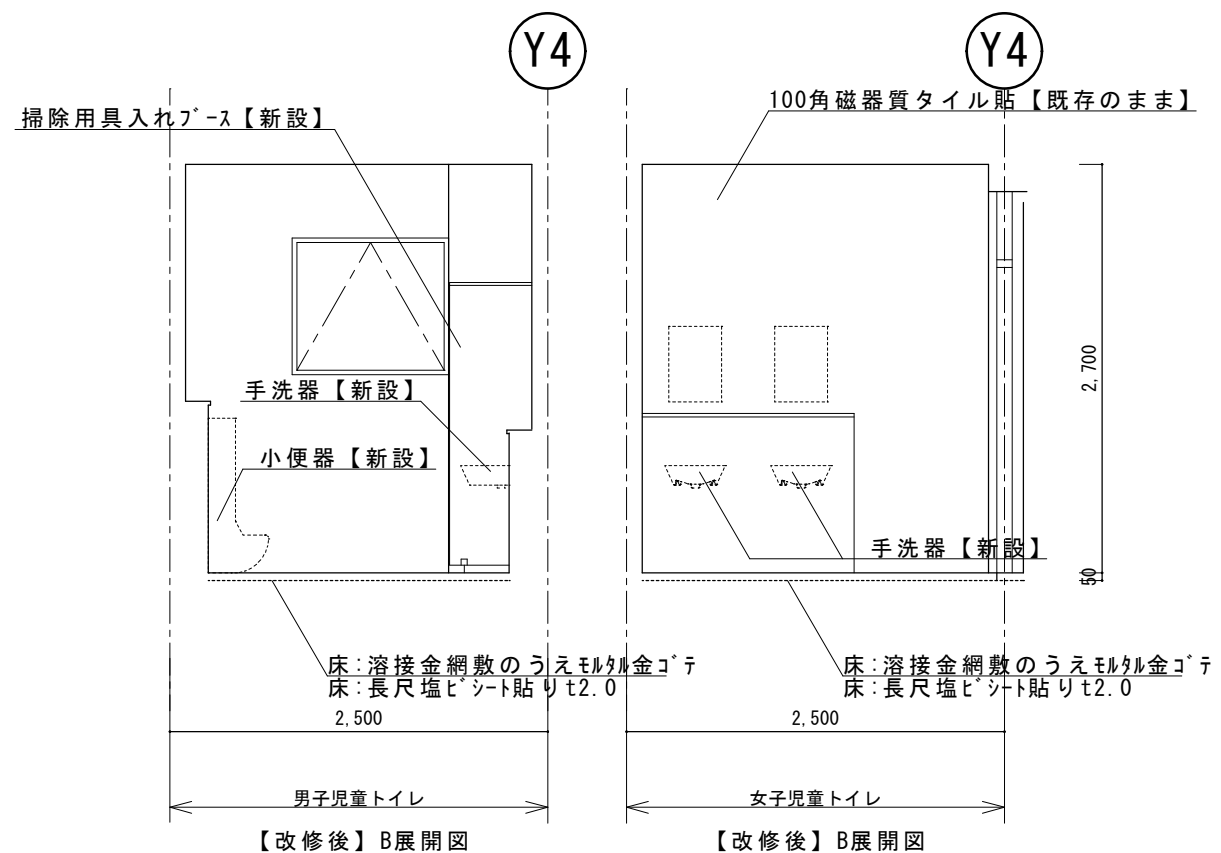
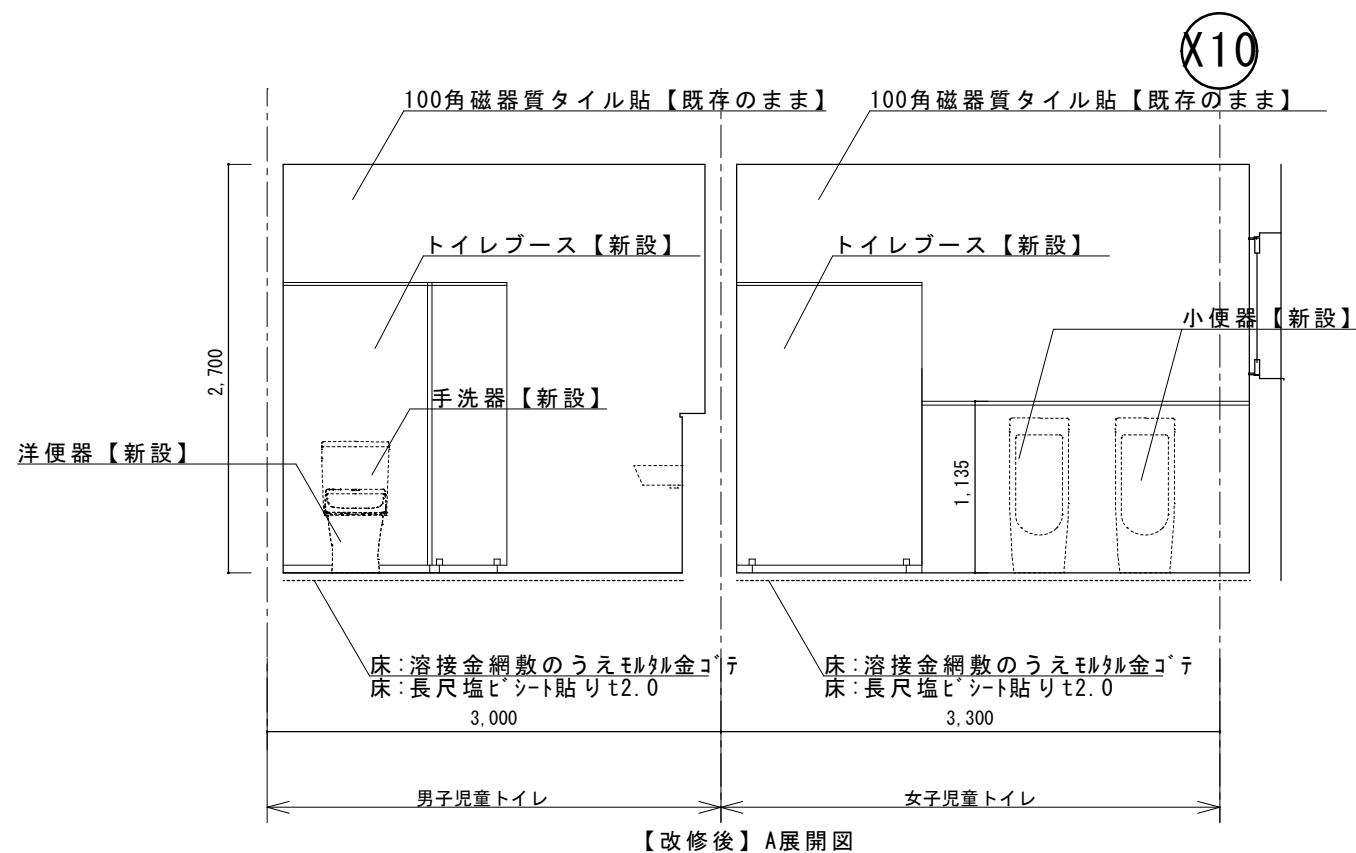


【改修後】D展開図

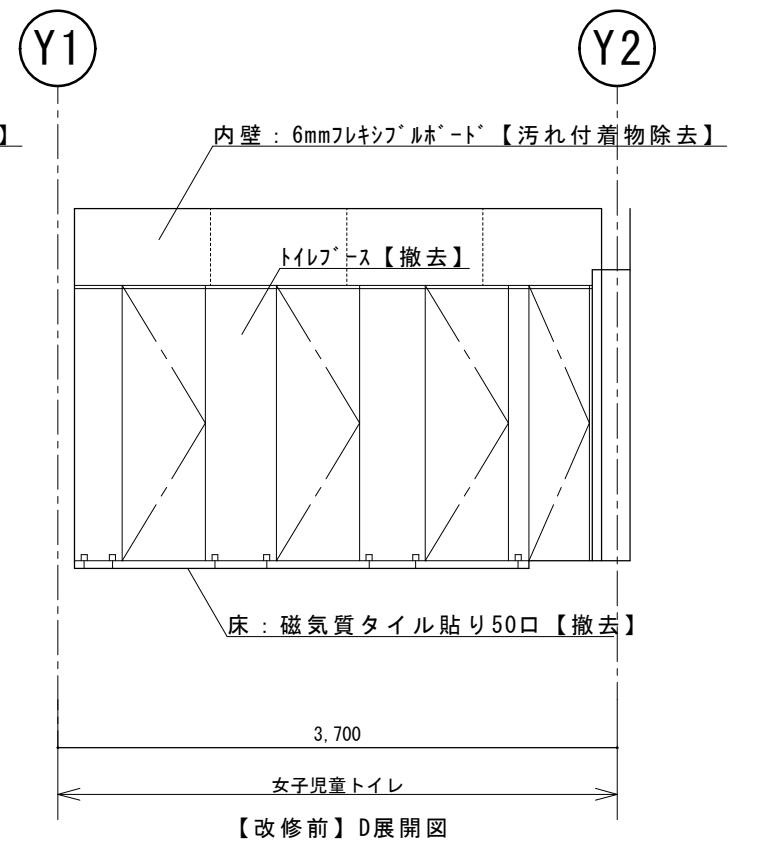
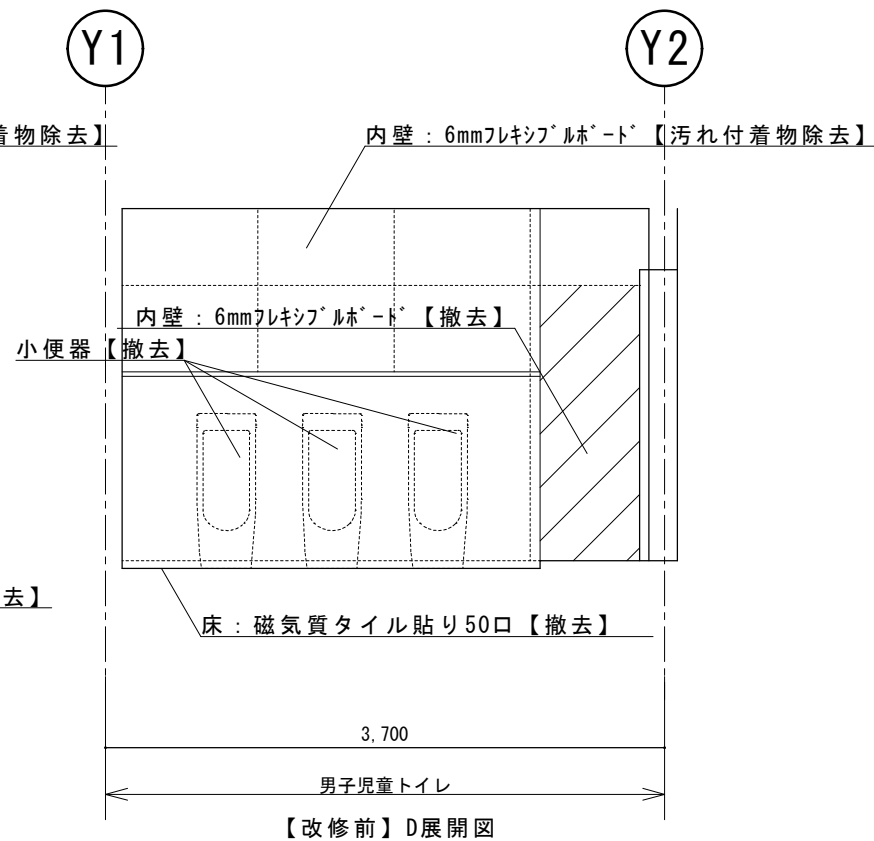
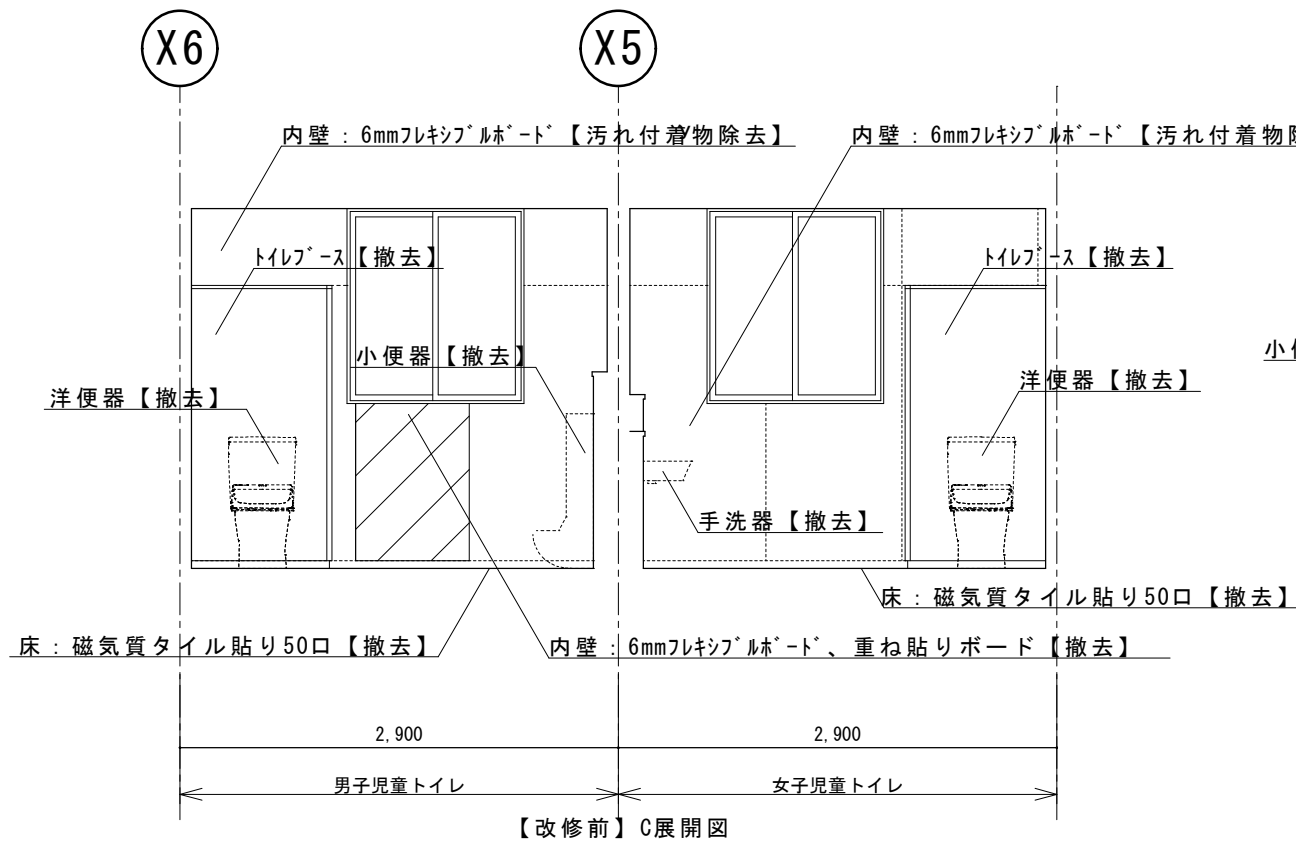
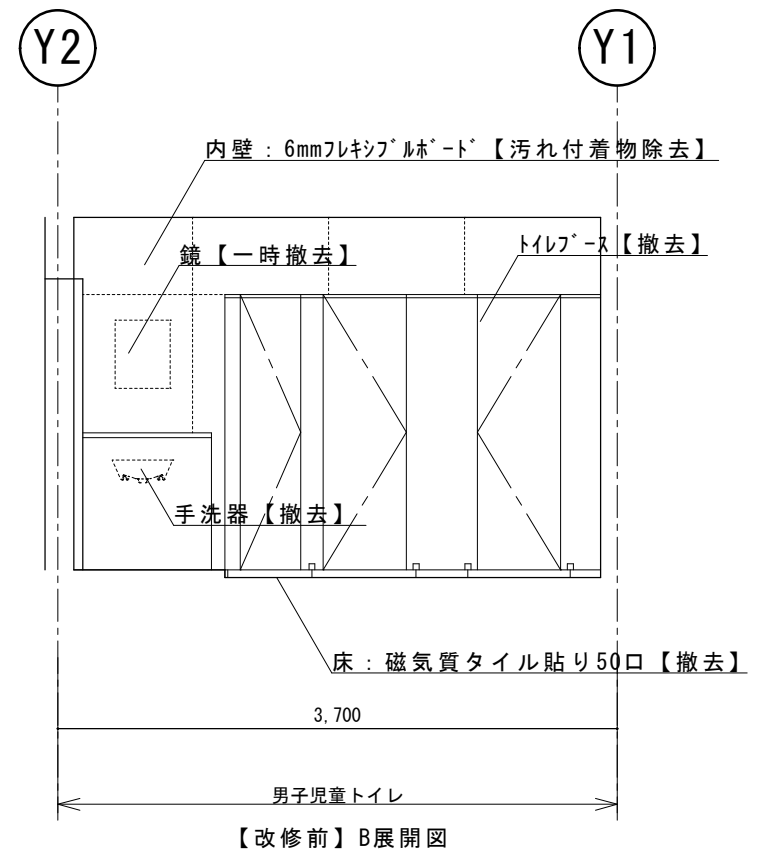
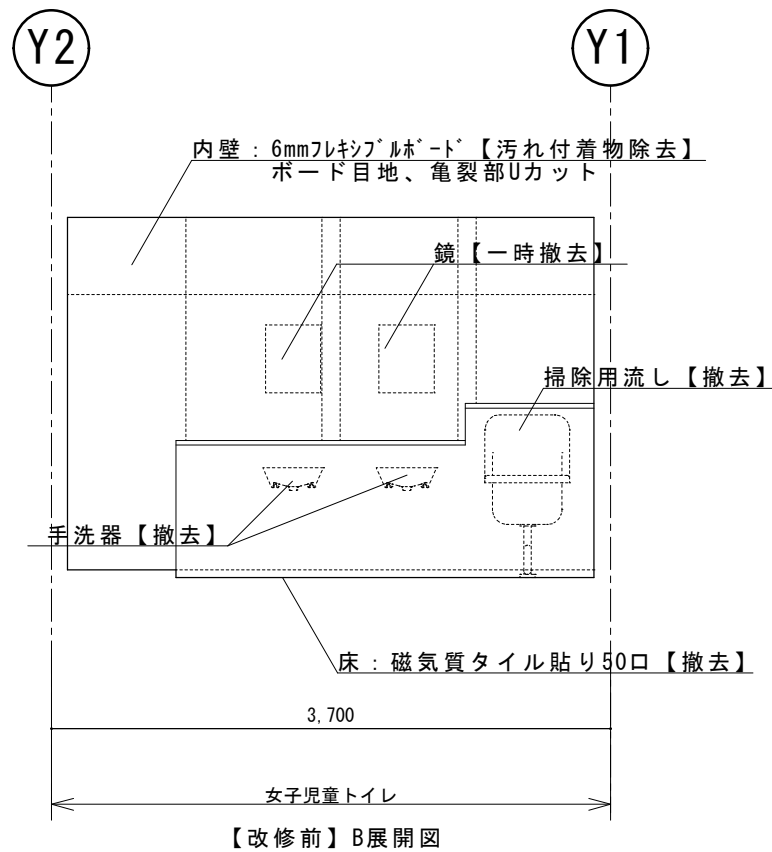
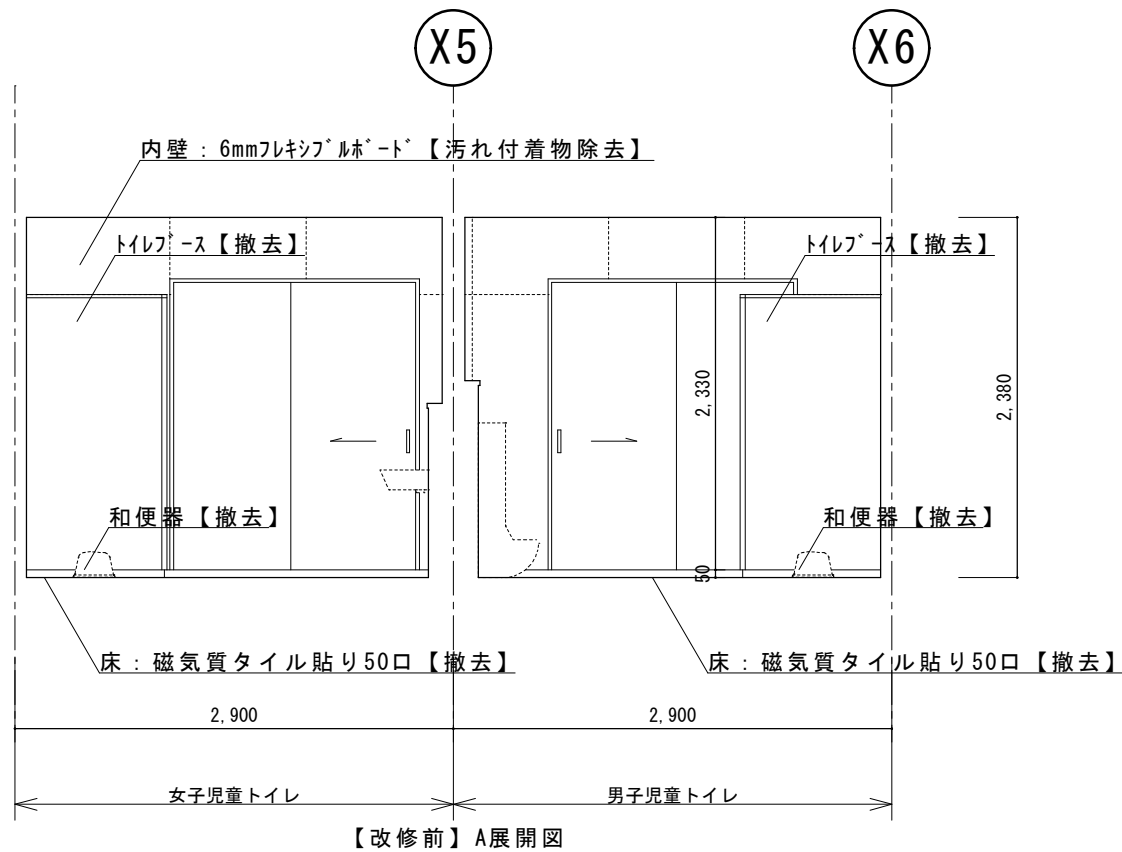
備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】1階職員トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-44



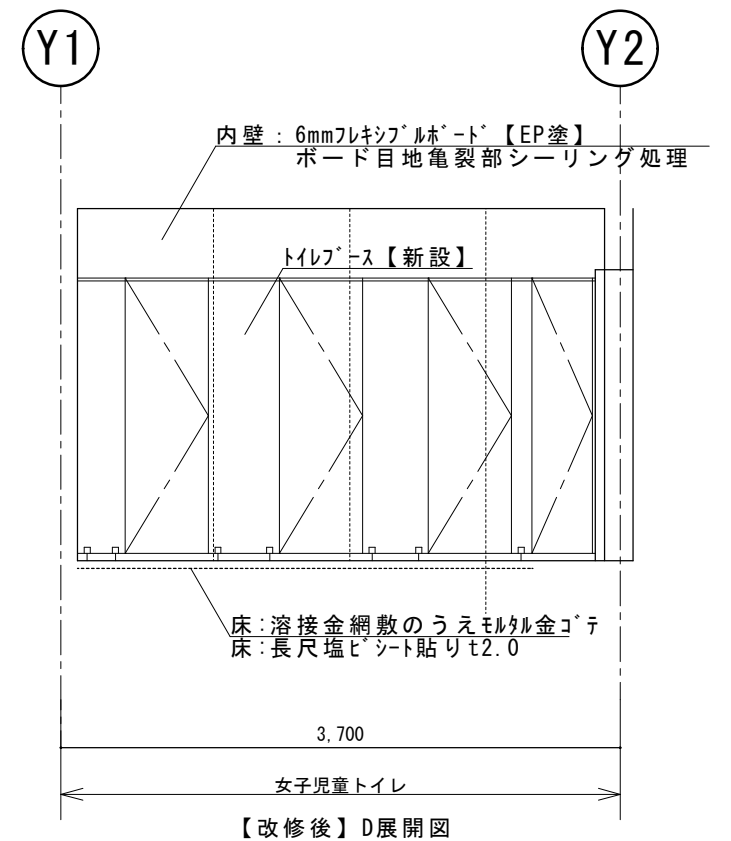
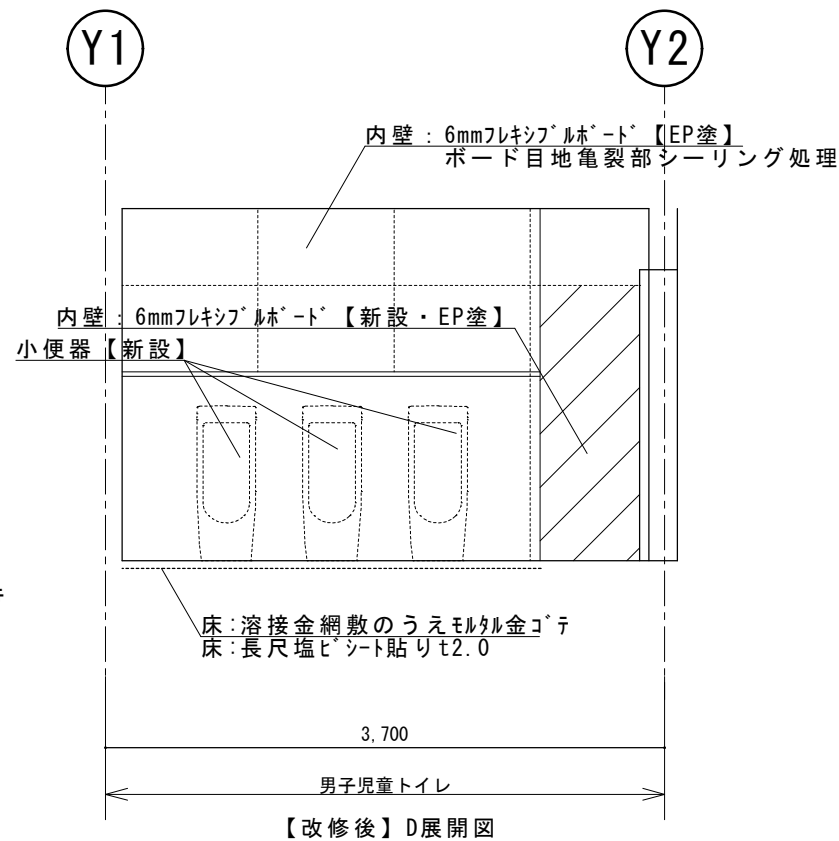
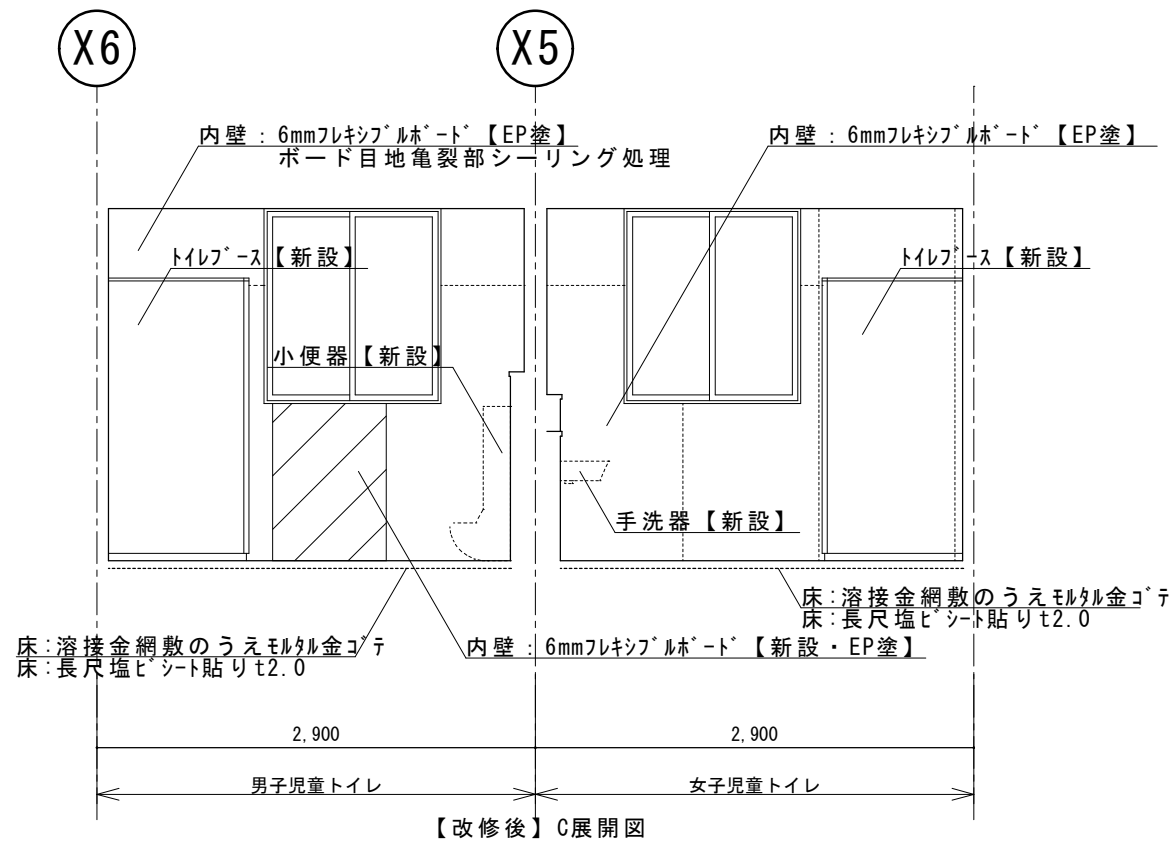
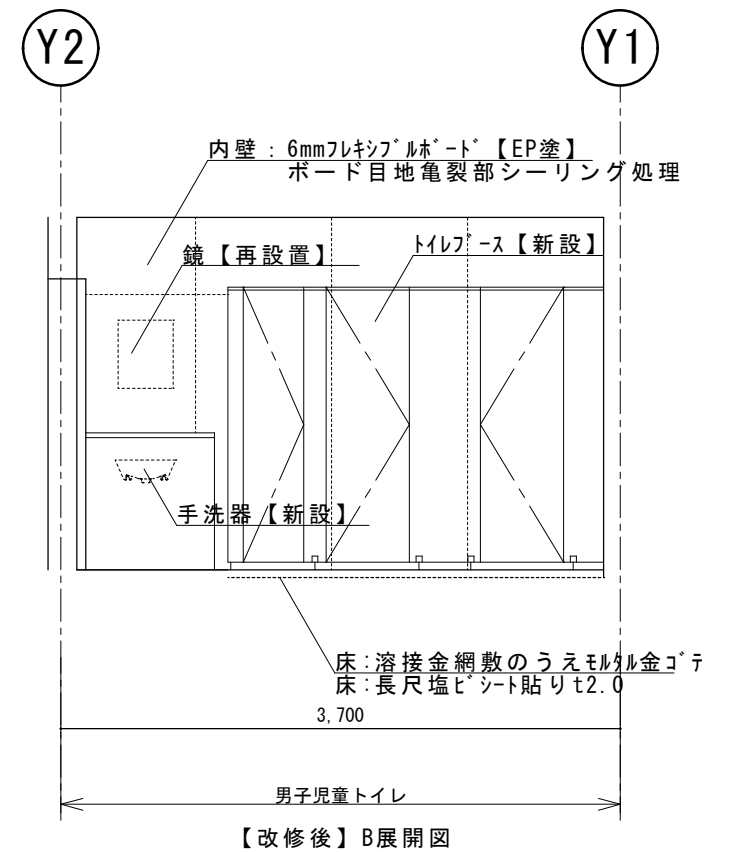
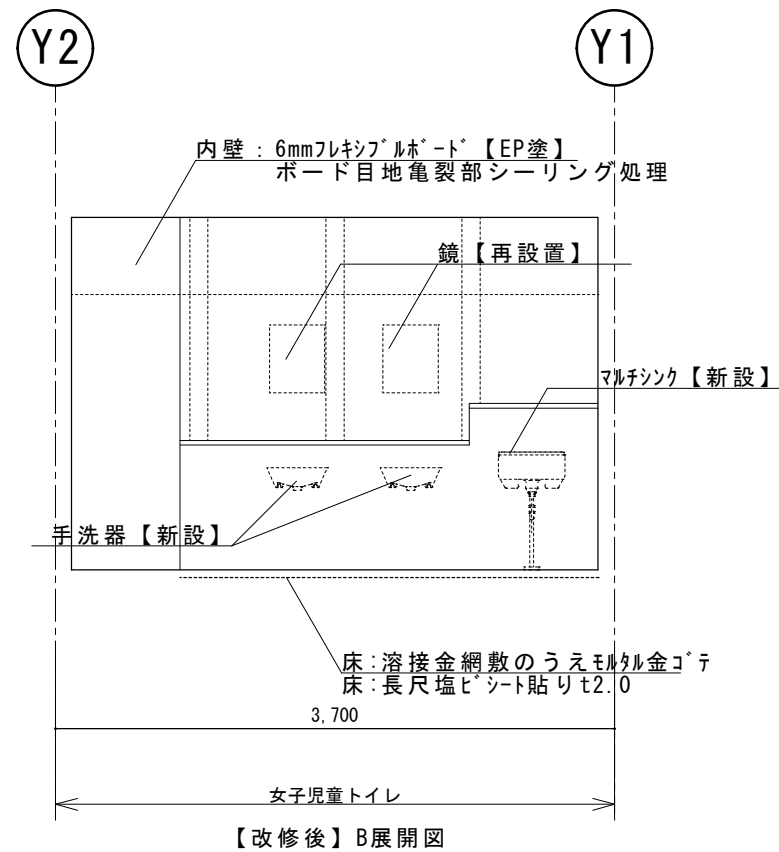
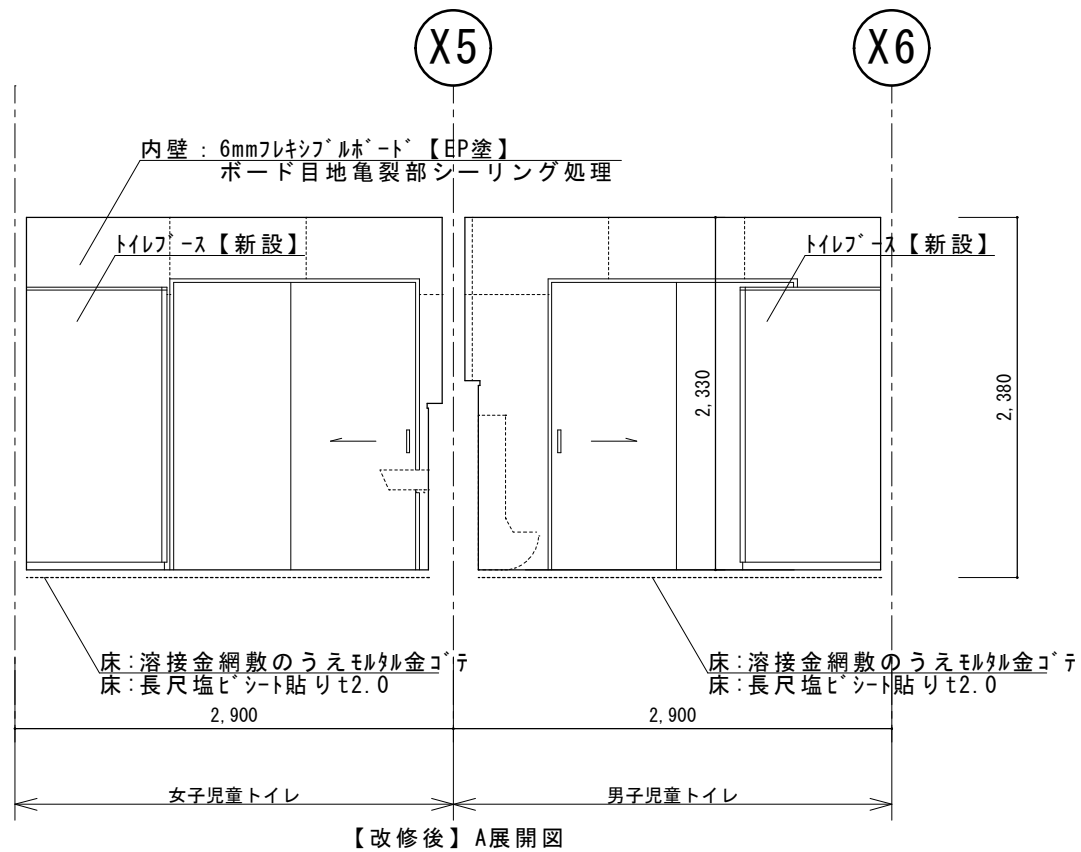
備考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎2階東側トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-45



備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎2階東側トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-46



備考		工 事 名	令和6年度(線) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】屋内運動場トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.4	A-47



※着手前にボード目地亀裂部補修必要箇所を調査し確認を行う。（想定49.7m）

備考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】屋内運動場トイレ展開図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.4	A-48

[illegible]

24. 保通、結露防止

25. 電線類

26. 合成樹脂製可とう管

27. 二種金属製可とう管

28. 電線本数、管路など

29. インサート

30. 呼び線

31. フラッシュプレート

32. フロアプレート・ベース

33. ハンドホール蓋

34. 支持台物、固定金物

35. あと施工アンカー

36. 接地地の種類・表示等

他工事との工区区分は図面に特記なき場合、「各工事の工区区分表」による。

屋外に面する壁、天井でF.P板（スタイロホーム等）打ち込み箇所に取り付ける位置ボックスなどは、保通、結露防止処理を行う。

本工事で環境配慮型の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。

合成樹脂製可とう管は、P.F管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-2Sとする。

露出部分
・ ニル被覆あり
いんべい箇所
・ ニル被覆なし

分盤室、制御盤、端子箱などの2次配以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承認を受け変更しても構わない。

鋼鉄製とする。なお、床版で保温打込部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。

長さ1m以上の連続した電気管には、1.2mm以上のニル被覆鉄線を通過させる。

図面に特記なき場合。（※ 金属製（ステンレス・新金具も含む）・ 樹脂製 ）とする。

※ 水平高低調節付（空転防止リング付）
・ 銅合金製
・ アルミ合金製

鼎章およびチェーン（スポンテス製）付のものとする。

屋外の機器及び配管に使用する支持台物（ボルト頭）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ワッシャー（樹脂製）を取り付ける。
また、振動などが生じる機器の支持台物のナットは、ダブルナットとする。

施工方法
・ 接着系（※ 有機系
金属材料系（※ 本体打込式
性能・施工確認 ※ 行わない 行う

接地地は図面に特記なき場合、下表による。なお、EBの長さは1.500mmとする。
ただし、D=10は1.000mm、W=30は1.200mmとする。
建築物敷設及び屋外用接地地の規定事項を不変とする。

接 地 の 種 別	記 号	接地抵抗値	接地地の規格・数量
・ 常備保護設備用地	EIA	Ω以下	EP×2
・ 常備保護設備用地	EIA	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
・ 共用接地	E-A・E-D・ELH	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連二組
・ 共用接地	E-B・E-C・ED	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連二組
・ A種	E-A	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連二組
・ B種	E-B	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×2
・ C種	E-C	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連二組
・ D種	ED	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 構内内交換機（隔障）用	E-t	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
・ 本机絶縁部の保安装置	EAt	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連二組
・ 電圧計込口の保安器	ESt	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
・ 防弧用磁気	Eba	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 防放射電位	Edt	Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連一組
・	-	-	-
・ 測定用	EO	-	EB（D=10又はW=30）×1
・ 受電専用（低圧用）	ELL	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連二組
・ 送電専用（高圧用）	ELH	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連二組
・ 送電専用（モデム用）	EMO	100Ω以下	EB（D=14又はW=40）×1
・ 構造体接地	-	-	建築構造体利用（適用例も含む）

37. 総合調整

各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を出すこと。
・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 照明装置 ・ 構内内交換設備

38. 塗装工事

下記部位に使用される外面つき電線の露出配管には塗装を施す。
※ 屋外 ※ 屋上

39. 山留め

切取り箇所にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。

40. 舗装工事

国土交通大臣官庁管理官制標準の公共建設工事標準仕様書（建築工事編）22章（舗装工事）及び建築工事監理指針（下巻）22章（舗装工事）による。

41. はつり

既存コンクリート床、壁などの取替作業は、原則としてダイヤモンドカッターによる。

42. 再使用機器

再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうえ、取り付ける。

43. 撤去後の補修等

機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工中に際し、既存設備及び施設に損傷を与えた場合は、原状に戻す。

44. アスベスト

アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）、廃棄物処理法等により、事前調査を実施し、調査結果を整理の上、監督職員へ報告すること
()

④有害物質の取り扱い

P.C.B.（愛荘君、コテンザ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小形二次電池等）、水銀、放射性物質（P.A.T.H.）化学汚染薬等の有害物質の有無を検出し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り組むこと。

① 工事範囲

2. 電気方式

3. 施工方法

4. 照明器具

5. 防災用照明器具

6. 照度測定

8. 予備配管

・ 配管 ・ 配線 ・ 分電盤類 ・ 機器類

・ 幹線 三相3線式 100／200V 50Hz
・ 分岐 三相3線式 100／200V
・ 分枝 単相2線式 100V
幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線

分岐 電灯 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他（ ）
コンセント ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他（ ）
屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線
ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製

L E D ・ 一体型 ・ ダウンライト ・ その他

・ 非常用照明器具（※ 電池内蔵形 ・ 電源別置形）
・ 誘導灯（※ L E D誘導灯 ・ 誘導標識）

照度測定は、原則、本工事範囲内で行うものとするが、これより難しい場合は監督職員との協議による。
※ 銅合金製 ・ アルミニウム製
※ 飛び出し形 ・ 外部固定型

埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が4個以上の場合は（P F 2）を1本、5個以上の場合は（P F 2）を2本以上、天井裏まで立て上げる。
床上に配管・配線スペースのない家には、1スパスにV E（3B）2本を予備スリーブとして埋込む。

1. 工事範囲

2. 電気方式

3. 施工方法

4. 警報盤

5. 電磁開閉器用印扣（遠方操作用）

6. 機器への接続

7. 電動機等の接地

8. 進相用コンデンサ

9. 電気自動車充電装置

・ 配管 ・ 配線 ・ 制御盤類

・ 幹線 三相3線式 200V 50Hz
・ 分岐 三相3線式 200V

分岐 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他
・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ その他
館外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線
ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製

※ 並掛形（電源装置 ・ 内部蔵 ・ 別置） ・

※ 横差運用形配線器具

電動機などへの接続は本工事とする。

図示以外のは金属管配線とする。

各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。

・ 機種類 ・
・ 普通充電装置 電圧 相 V ・ 屋外型 ・ 屋内型
・ 急速充電装置 直流電圧 V

1. 電気方式

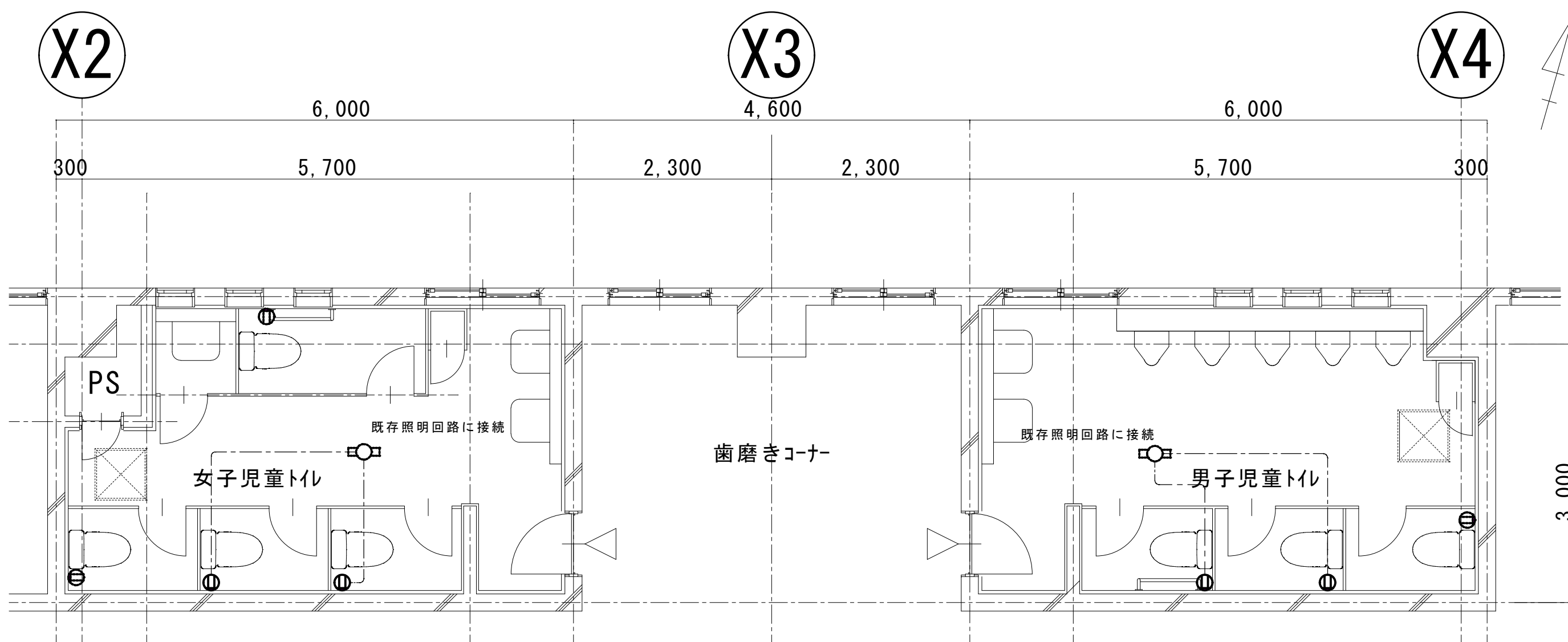
2. 施工場所及び面積

幹線 相 線式 V 50Hz
分岐 相 線式 V

・（ m ） ・（ m ）

電 気 設 備	1. 工事範囲	・ 受電部	・ 引下り導線	・ 接地極埋設	1. 工事範囲
	2. 受電部	・ 変針	・ 機上導体	・ 笠木（別途）など	
	3. 避雷導線	・ 引下り導線	・ 構造体利用		
	4. 接地極	※ 接地極埋設	・ 構造体利用（測定時期	回数	
	5. 測定用補助接地極	・ 設置			
受 電 電 機 設 備	1. 工事範囲	・ 機器類			
	2. 電圧方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz	・ 低圧 三相3線式 200V	・ 低圧 単相3線式 100V/200V	
	3. 引込ケーブル	・ EM-CET38*	・ EM-CET38* - 3C	・ EM-CET60* ・ EM-CET60* - 3C	
	4. 配電盤	・ 屋内部	・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す）		
	5. 主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧無閉開器（PF-S）	・ 高圧交流遮断器（CB）		
	6. 高圧機器類	定格遮断電流 kA	・ 油入式	・ モールド	
	7. 変圧器	・ 手動変圧器	・ 電動変圧器	・ 三相変圧器 kVA	
		(油入式：JIS C4304-2013適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品)			
	8. 進相用コンデンサ	・ 低圧	・ 高圧		
	9. リアクトル	・ 油入式	・ ガス式		
	10. 自動力率制御装置	・ 6%	・ 13%		
11. 測定用補助接地極	・ 油入式	・ モールド			
電 力 貯 蔵 設 備	1. 直流電源装置	※ 非常用照明器具電源 受電設備制御電源供用 ・ 受電設備制御専用 ・ 非常用照明器具専用蓄電池 ・ 鉛蓄電池（ ・ HS ・ CS ・ MSE ・ 長寿命形MSE ・ ）			
	2. 交流無停電電源装置	用途（ ・ リチウムイオン電池 ） 蓄電池 ・ 鉛蓄電池（ ・ HS ・ CS ・ MSE ・ 長寿命形MSE ・ ） ・ アルカリ蓄電池（ ・ AH ・ AMH ・ ） ・ リチウムイオン蓄電池			
発 電 電 機 設 備	1. 工事範囲	・ 機器類			
	2. 形 式	・ 簡易形	・ キュービクル式	・ オープン形	
	3. 発電機	電圧方式	相 線 式 50Hz	電 圧 V	定格出力 kVA 運転時間 時間
	4. 原動機	種類	・ ディーゼル	・ ガスタービン	
	5. 燃 料	燃料小出槽	・ なし	・ あり（ ・ 別途	・ 本工事
	6. 太陽光発電装置	主計油槽	・ なし	・ あり（ ・ 別途	・ 本工事
	7. 系統連系	・ 有	・ 無		
構 内 交 換 設 備	1. 工事範囲	・ 交換機	・ 電話機	・ 配線（ ・ 全部	・ 線子壁以降）
	2. 電話交換機	形式	・ ボタン電話装置	・ デジタルPBX	・ IP-PBX ・ VoIPサーバ
	3. 電話機への配線	回数	・ 局線	・ 内線	・ 回線
	4. ローテーションアウトレット（亀甲形）	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM-TTEFO.6-2P（ ・ 20m ） ・ EM-EBT0.4-2P（ ・ 20m ） ・ ワイヤプロテクタ（樹脂製 外形寸法約20×8）1.5m			
	5. 保安用接地	※ 一般給電用	・ 値（ ・ 納入する	・ 取り付ける）	
通 信 ・ 情 報 設 備	1. 工事範囲及び施工方法	※ 銅全装	・ アルミ装		
	2. 構内情報通信設備	ポックス ・ OBASE-T 10BASE-T 10BASE-TX 1000BASE-T			
	3. 情報表示設備	種類	・ 10BASE-SR	・ 10BASE-TX	・ 1000BASE-T
	4. 映像・音響設備	・ 親時計	・ 回路（ ※ 壁掛け	・ 電子式チャイルド	・ プログラムタイマ
	5. 拡声設備	・ 増幅器	・ W	・ BD	・ S-VHS
	6. 誘導支援設備	・ フロエクト（ ※ 前面投射式	・ 背面投射式	・ S-VHS	
	7. 誘導支援設備	・ 音響設備	・ CD	・ オーディオレコーダ	
	8. テレビ共同受信設備	・ 一般放送用	・ 非常放送用	・ キャビネットラック形	
	9. テレビ共同受信設備	・ 増幅器	・ W（ ※ 卓上形	・ 音声誘導装置	
	10. テレビ共同受信設備	・ インターホン	・ トイレ等呼出装置	・ 音声誘導装置	
	11. 防犯・入退室管理設備	・ テレビアンテナ（ ・ AU-	・ CSBSA	・ CSA	
	12. 防犯・入退室管理設備	・ 地上波アンテナシステム（ ※ 壁面取付形	・ 自立形		
	13. 防犯・入退室管理設備	・ BSアンテナシステム（ ・ 壁面取付形	・ 自立形		
	14. 防犯・入退室管理設備	・ 電界強度測定及び受信設備（ ※ 全チャンネル）			
	火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類
2. 火災報知装置		・ 壁掛け	・ 自立形		
3. 非常警報装置		・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
4. 自動閉鎖装置		・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
5. ガス漏れ火災警報装置		・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
6. 消火器類		・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
7. 消火器類		・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
8. 消火器類		・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
9. 消火器類		・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
10. 消火器類		・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
11. 防犯・入退室管理設備		・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	8. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	9. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	10. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
火 災 報 知 設 備	1. 工事範囲	・ 配管	・ 配線	・ 機器類	
	2. 火災報知装置	・ 壁掛け	・ 自立形		
	3. 非常警報装置	・ 受信機	・ 型 級	・ 回路（ ・ アドレス）	
	4. 自動閉鎖装置	・ 複合型	・ 型 級	・ 回路（火報	・ 回路、自動閉鎖
	5. ガス漏れ火災警報装置	・ 可燃性ガス検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	6. 消火器類	・ 検知器	・ 型 級	・ 回路	・ 回路、ガス漏れ
	7. 消火器類	・ 検知器			

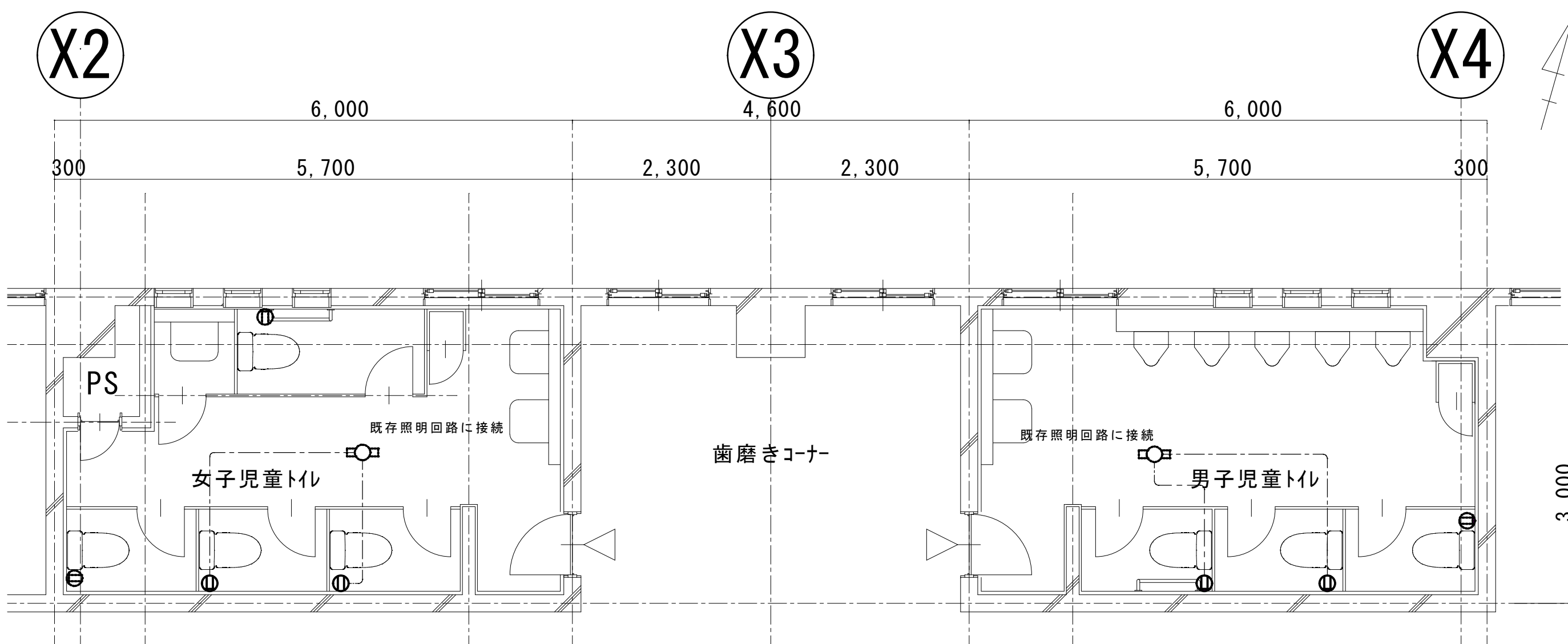
[illegible]



改修後南校舎 1 階トイレ電気設備図

- ① 2P15Aシングルコンセント（メタルモールボックス付）
----- EM-EEF2.0-20天井コロガシ配線（メタルモールA型立下げ）

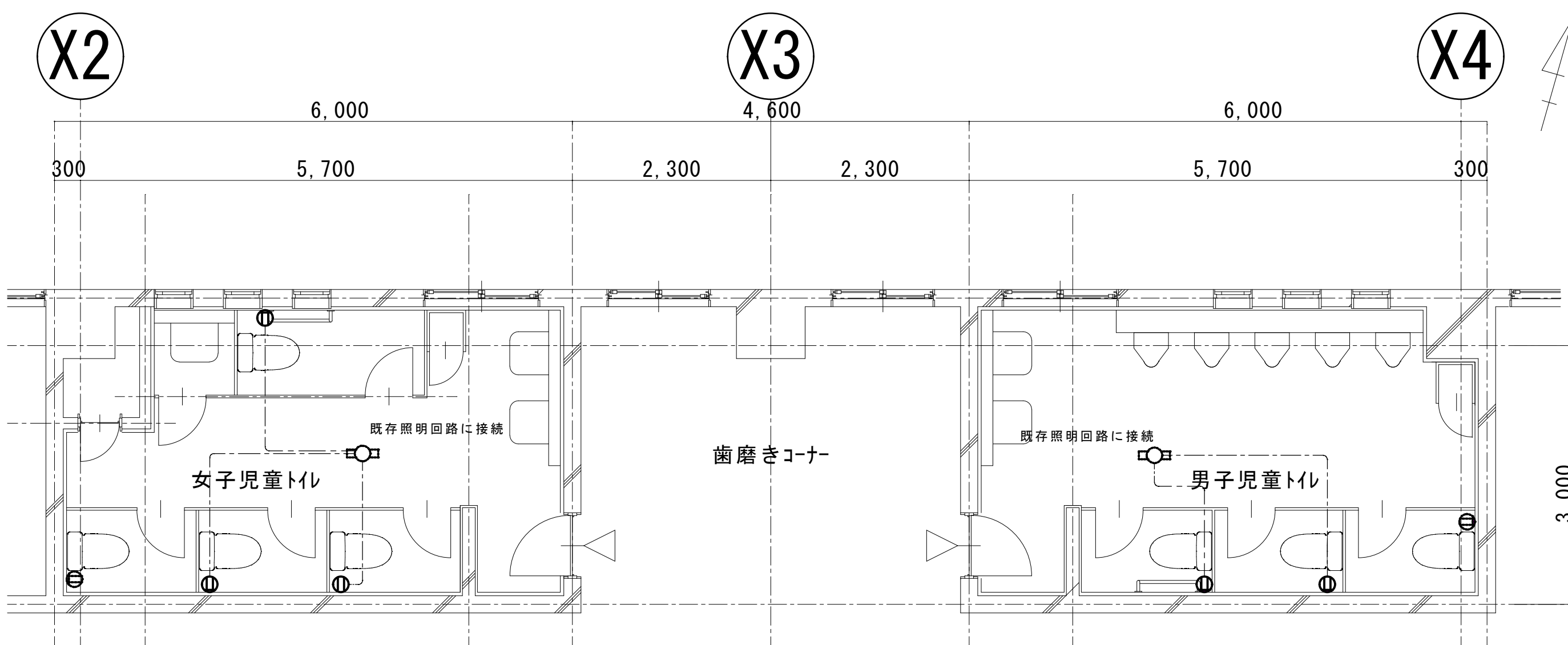
備考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎 1 階児童トイレ電気設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	E-02



改修後南校舎 2 階トイレ電気設備図

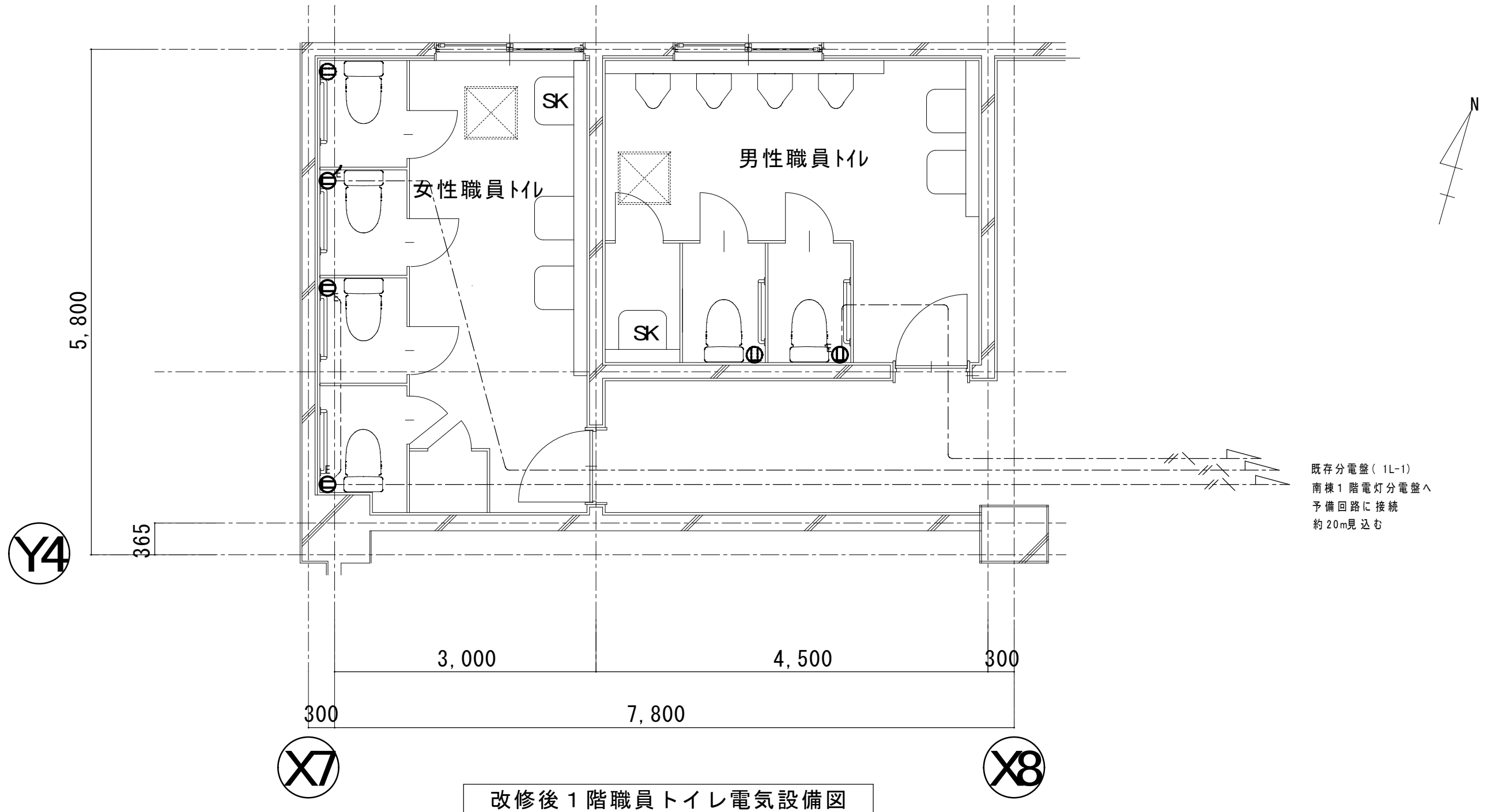
① 2P15Aシングルコンセント（メタルモールボックス付）
----- EM-EEF2.0-20天井コロガシ配線（メタルモールA型立下げ）

備考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎 2 階児童トイレ電気設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	E-03



改修後南校舎3階トイレ電気設備図

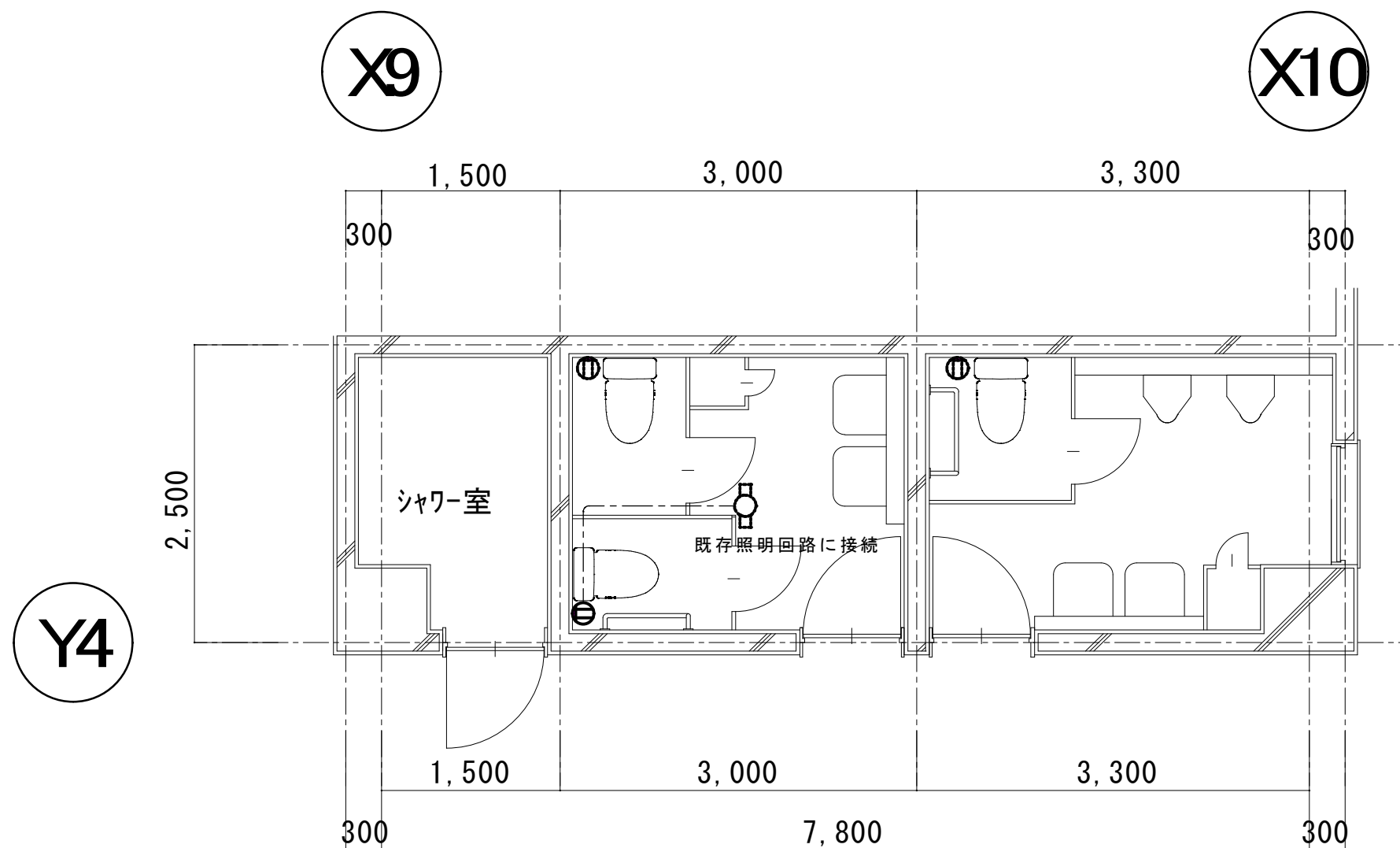
備考		工事名	令和6年度(線) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修後】南校舎3階児童トイレ電気設備図	縮尺	作成年月	図面番号
		工事場所	角田市 角田 字 牛館 地内	発注者	角田市産業建設部 都市計画課	S=1:50	2025.6	E-04



改修後 1 階職員トイレ電気設備図

①_E 2P15Ax1接地端子付コンセント（メタルモールボックス付）
— 〰 — EM-EEF2.0-3C天井コロガシ配線（メタルモールA型立下げ）

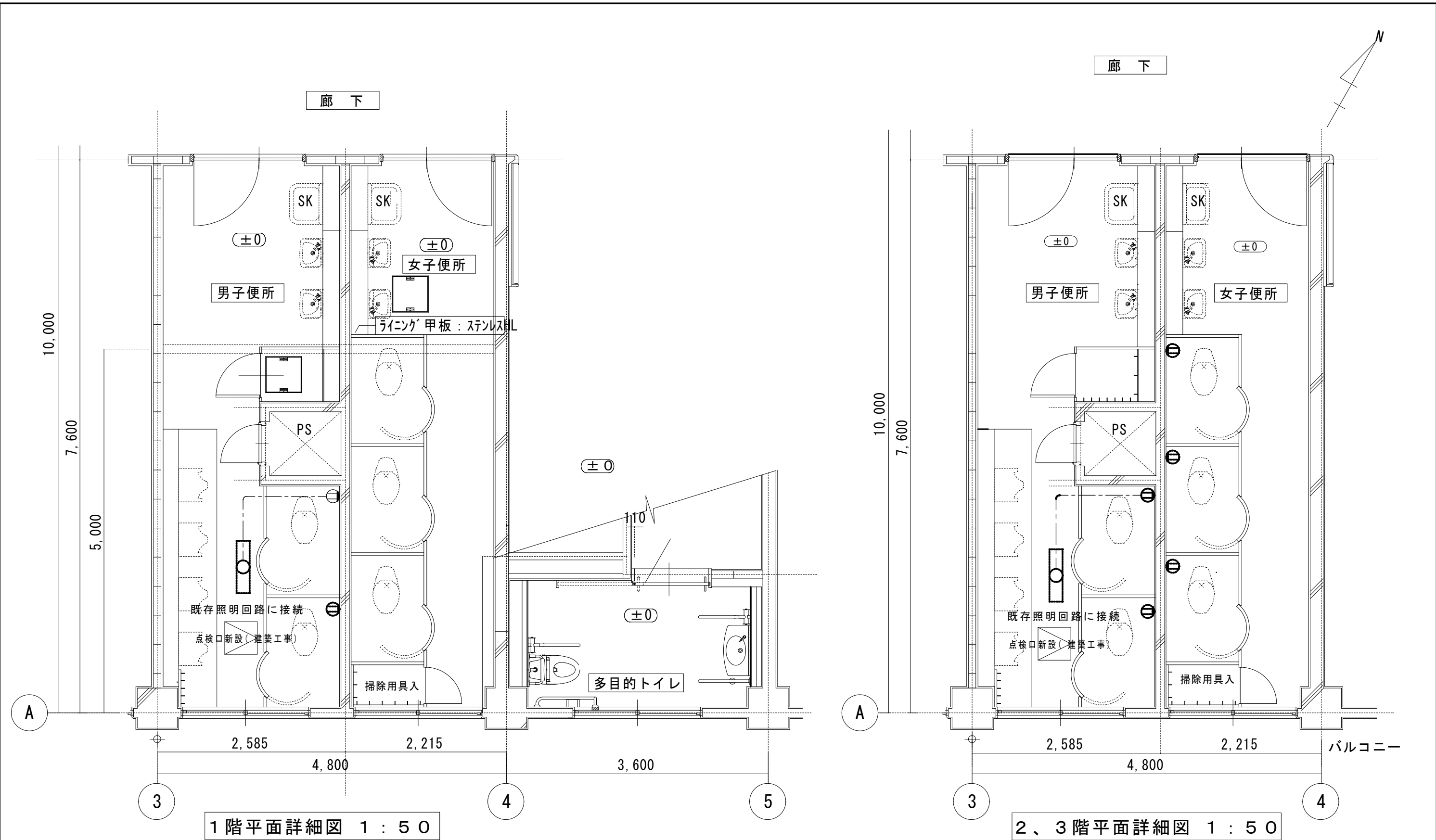
備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】 1 階職員トイレ電気設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	E-05



改修後南校舎 2 階東側トイレ電気設備図

- II 2P15A シングルコンセント (メタルモールボックス付)
- EM-EEF2.0-20 天井コロガシ配線 (メタルモール A 型立下げ)

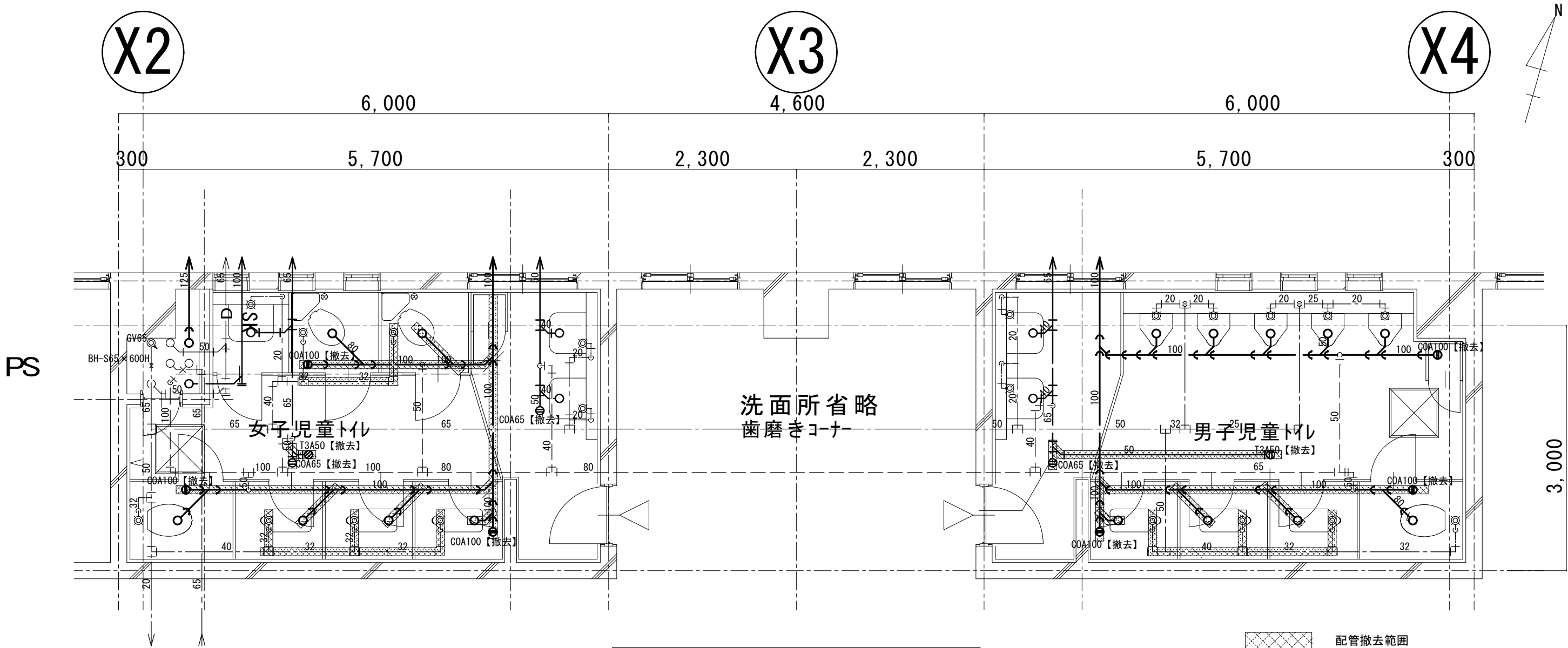
備考		工 事 名	令和 6 年度 (線) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎 2 階東側トイレ電気設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	E-06



改修後北校舎トイレ電気設備図

① 2P15Aシングルコンセント (メタルモールボックス付)
----- EM-EEF2.0-2C天井コロガシ配線 (メタルモールA型立下げ)

備考		工 事 名	令和6年度 (線) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】北校舎トイレ電気設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	E-08



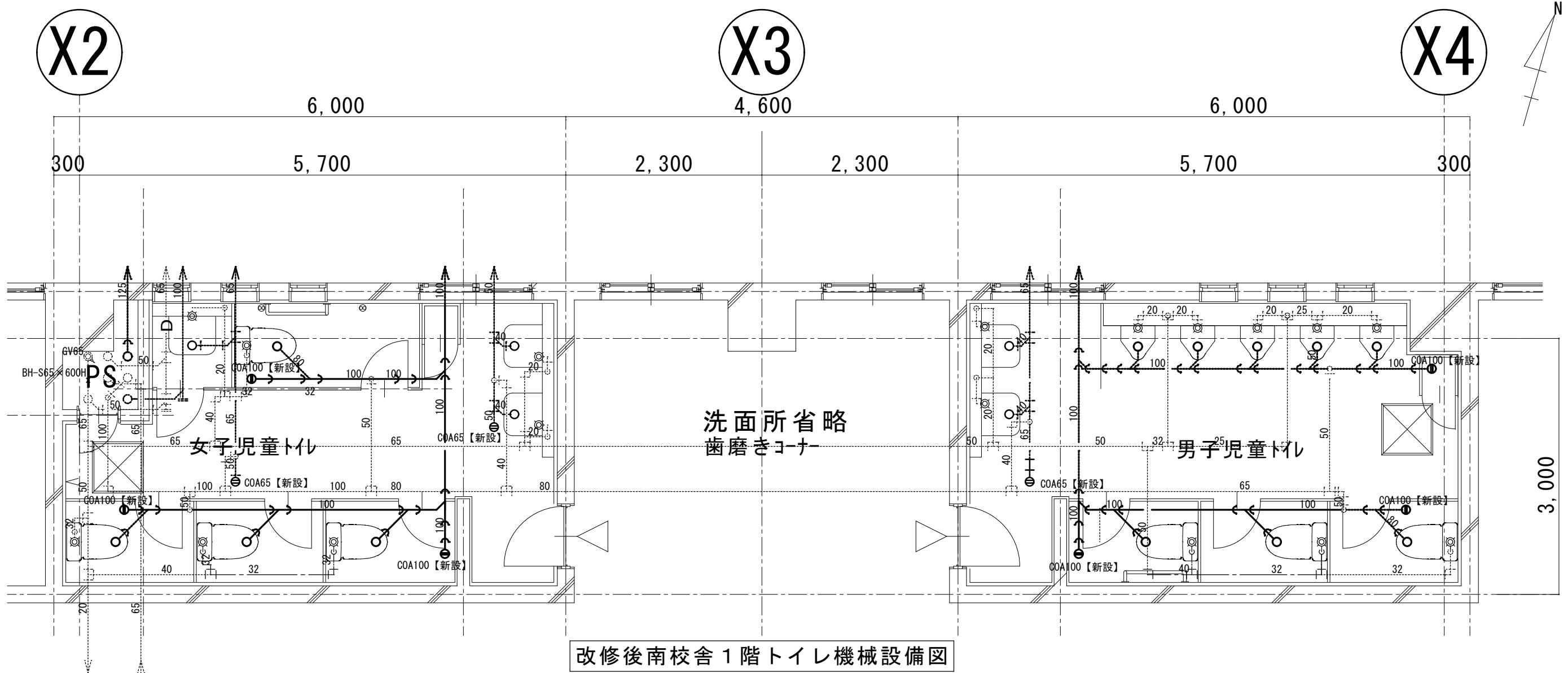
改修前南校舎 1 階トイレ機械設備図

■既存配管	
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（汚水）	排水用鉛管
排水管（雑排水）	排水用鉛管

配管撤去範囲

撤去器具リスト			
器具名称	男性	女性	個数
和便器	3	3	6
洋便器	1	3	4
小便器	5	0	5
手洗器	2	2	4
掃除用流し	0	1	1
紙巻器	4	6	10
標記板(陶製)	8	12	20

備考		工 事 名	令和 6 年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎 1 階児童トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	M-02



改修後南校舎 1 階トイレ機械設備図

■改修配管

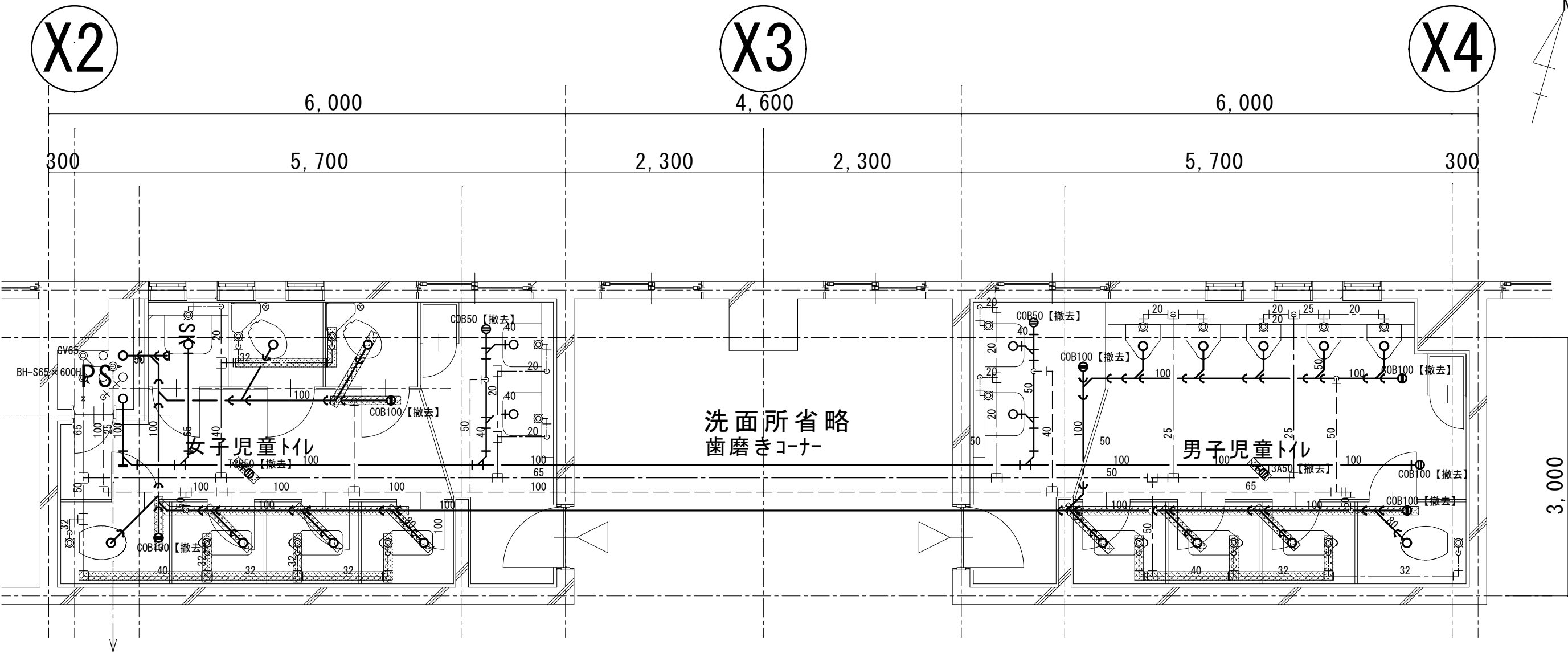
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（汚水）	耐火二層管VP
排水管（雑排水）	耐火二層管VP

※防火区画の貫通部は両側 1 m 以内は不燃材料とし、穴の周囲は不燃材料で埋めること。

衛生器具表

器 具 名	記 号 (参考：TOTO品番)	男性 便所	女性 便所	数 量
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	3	4	7
小 便 器	UFH508CR（フラッシュバルブ）その他付属品一式付	5	0	5
マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	0	1	1
手 洗 器	L210C（自閉式水洗） その他付属品一式	2	2	4
棚付二連紙巻器	YH702	3	4	7
標記板(再利用)	-	8	6	14

備 考		工 事 名	令和 6 年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎 1 階児童トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	M-03



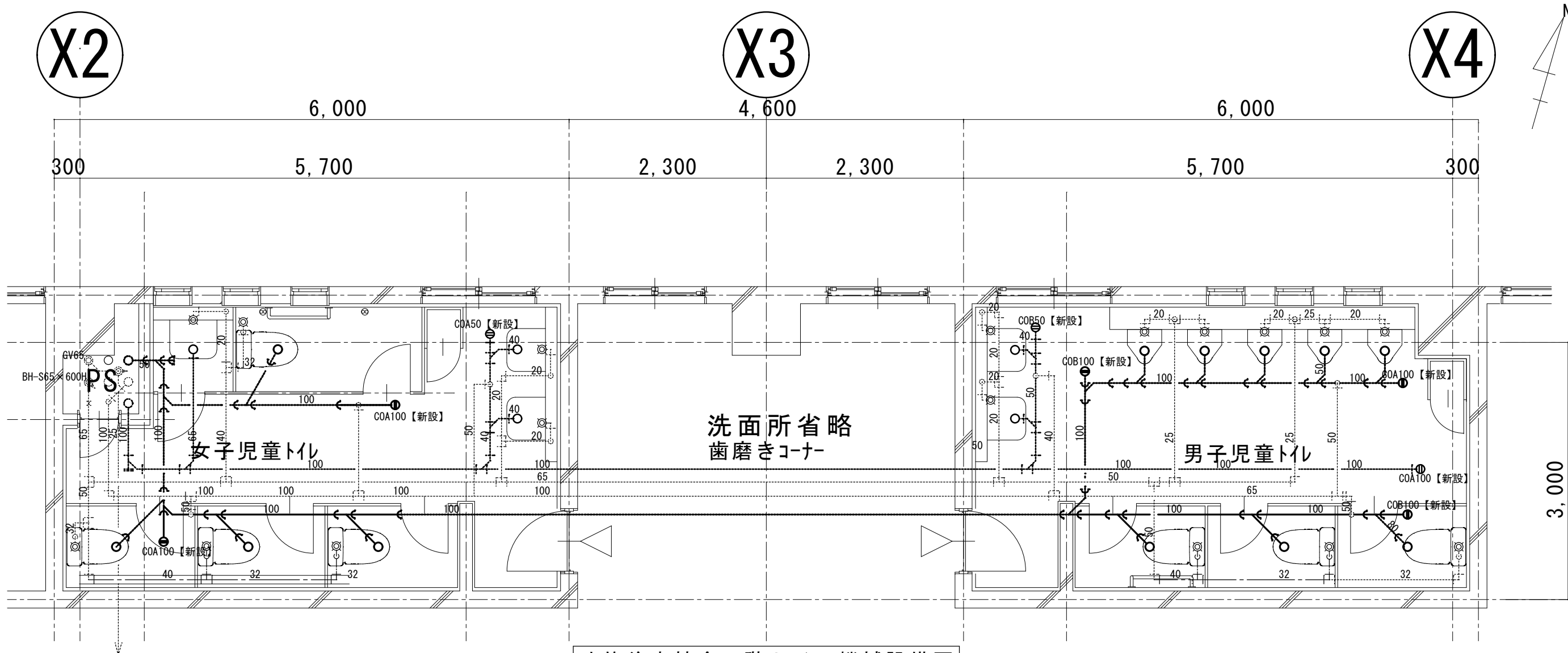
改修前南校舎２階トイレ機械設備図

■既存配管	
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（汚水）	排水用鉛管
排水管（雑排水）	排水用鉛管

 配管撤去範囲

撤去器具リスト			
器具名称	男性	女性	個数
和便器	3	3	6
洋便器	1	3	4
小便器	5	0	5
手洗器	2	2	4
掃除用流し	0	1	1
紙巻器	4	6	10
標記板（陶製）	8	12	20

備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎2階児童トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	M-04



改修後南校舎２階トイレ機械設備図

■改修配管

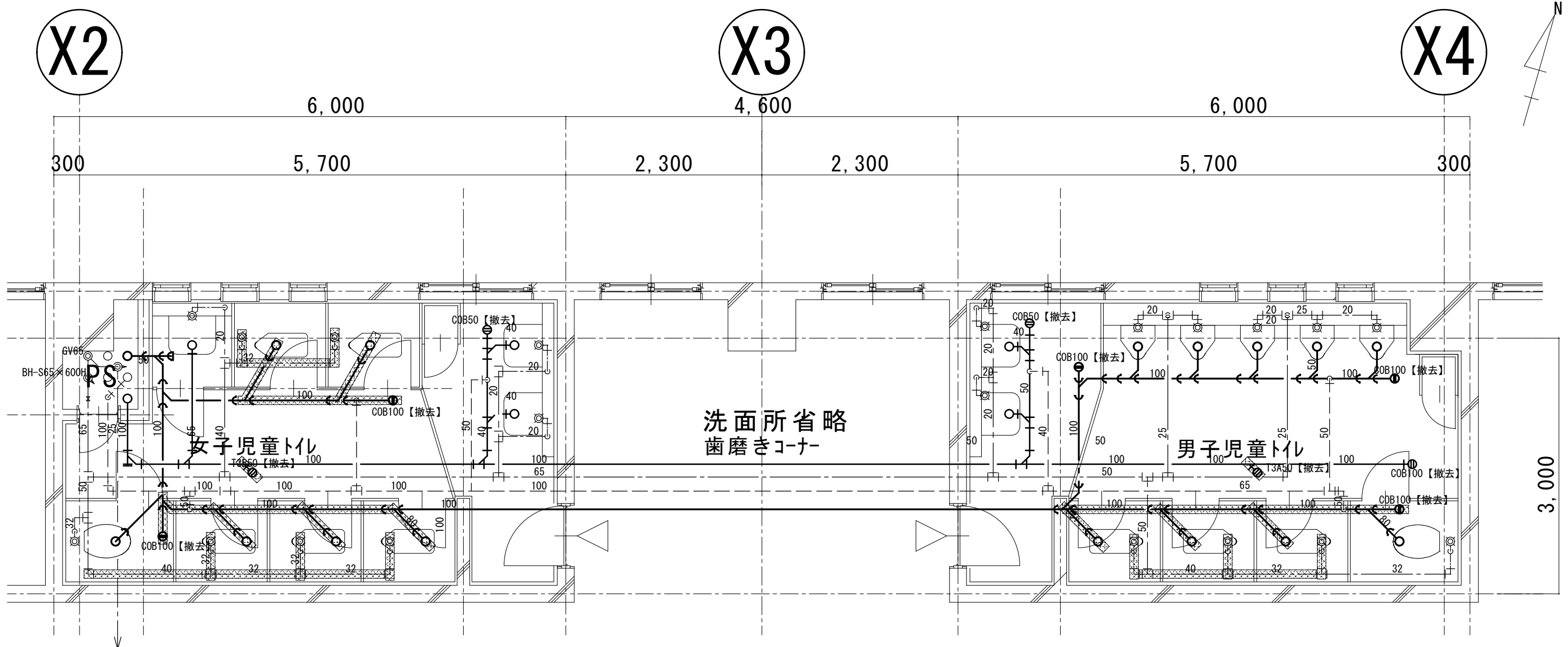
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（污水）	耐火二層管VP
排水管（雑排水）	耐火二層管VP

※防火区画の貫通部は両側１ｍ以内は不燃材料とし、穴の周囲は不燃材料で埋めること。

衛生器具表

器 具 名	記 号 (参考：ＴＯＴＯ品番)	男性 便所	女性 便所	数 量
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	3	4	7
小 便 器	UFH508CR（フラッシュバルブ）その他付属品一式付	5	0	5
マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	0	1	1
手 洗 器	L210C（自閉式水洗） その他付属品一式	2	2	4
棚付二連紙巻器	YH702	3	4	7
標記板(再利用)	-	8	6	14

備考		工 事 名	令和６年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎２階児童トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S＝１：５０	２０２５．６	M-05



改修前南校舎 3 階トイレ機械設備図

■既存配管

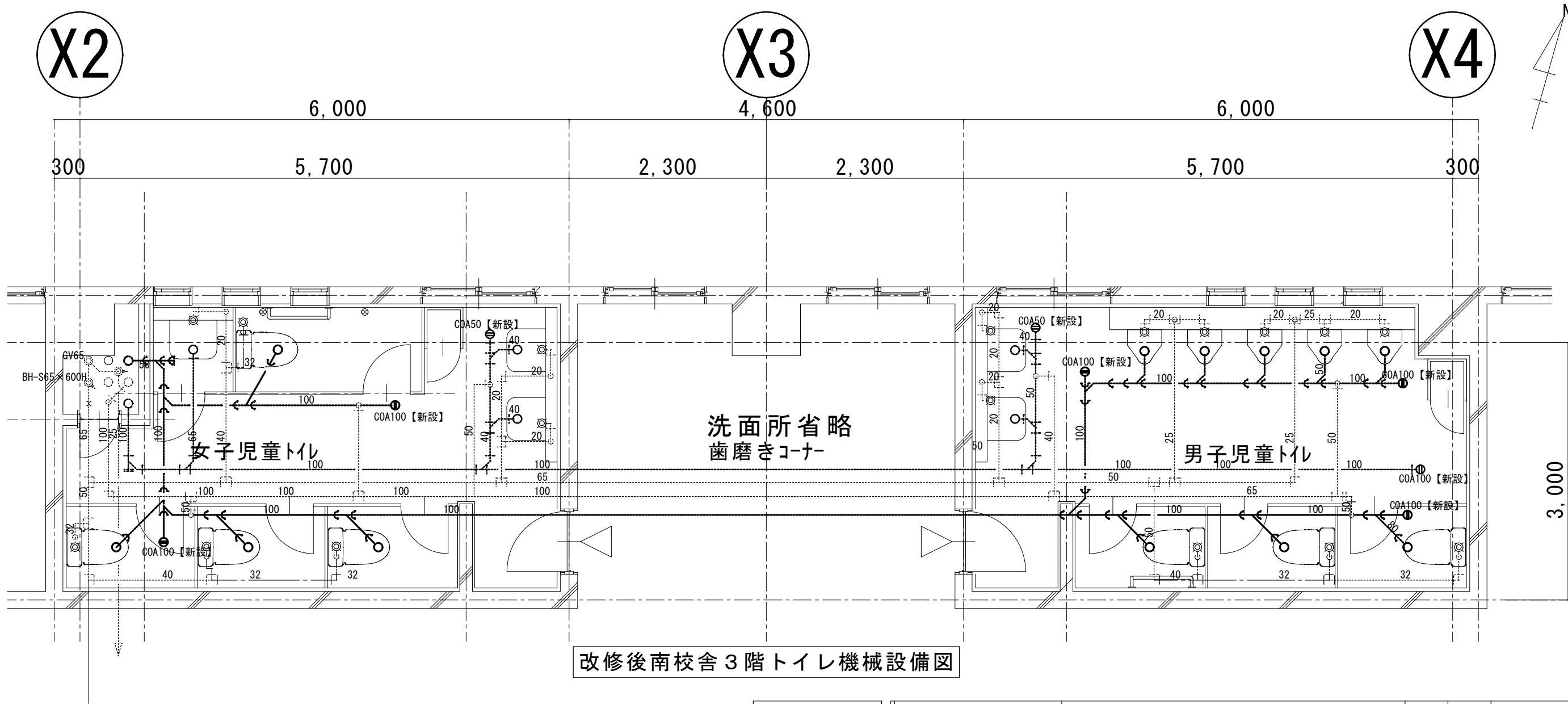
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（汚水）	排水用鉛管
排水管（雑排水）	排水用鉛管

配管撤去範囲

撤去器具リスト

器具名称	男性	女性	個数
和便器	3	3	6
洋便器	1	3	4
小便器	5	0	5
手洗器	2	2	4
掃除用流し	0	1	1
紙巻器	4	6	10
標記板（陶製）	8	12	20

備考		工 事 名	令和 6 年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎 3 階児童トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	M-06



改修後南校舎 3 階トイレ機械設備図

■改修配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（污水）	耐火二層管VP
排水管（雑排水）	耐火二層管VP

衛生器具表

器 具 名	記 号 (参考：TOTO品番)	男性 便所	女性 便所	数 量
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	3	4	7
小 便 器	UFH508CR（フラッシュバルブ）その他付属品一式付	5	0	5
マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	0	1	1
手 洗 器	L210C（自閉式水洗） その他付属品一式	2	2	4
棚付二連紙巻器	YH702	3	4	7
標記板(再利用)	-	6	8	14

※防火区画の貫通部は両側 1 m 以内は不燃材料とし、穴の周囲は不燃材料で埋めること。

備 考		工 事 名	令和 6 年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎 3 階児童トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	M-07

Y4

5,800

365

X7

3,000

7,800

4,500

X8

300

女性職員トイレ

男性職員トイレ

改修前1階職員トイレ機械設備図

■既存配管

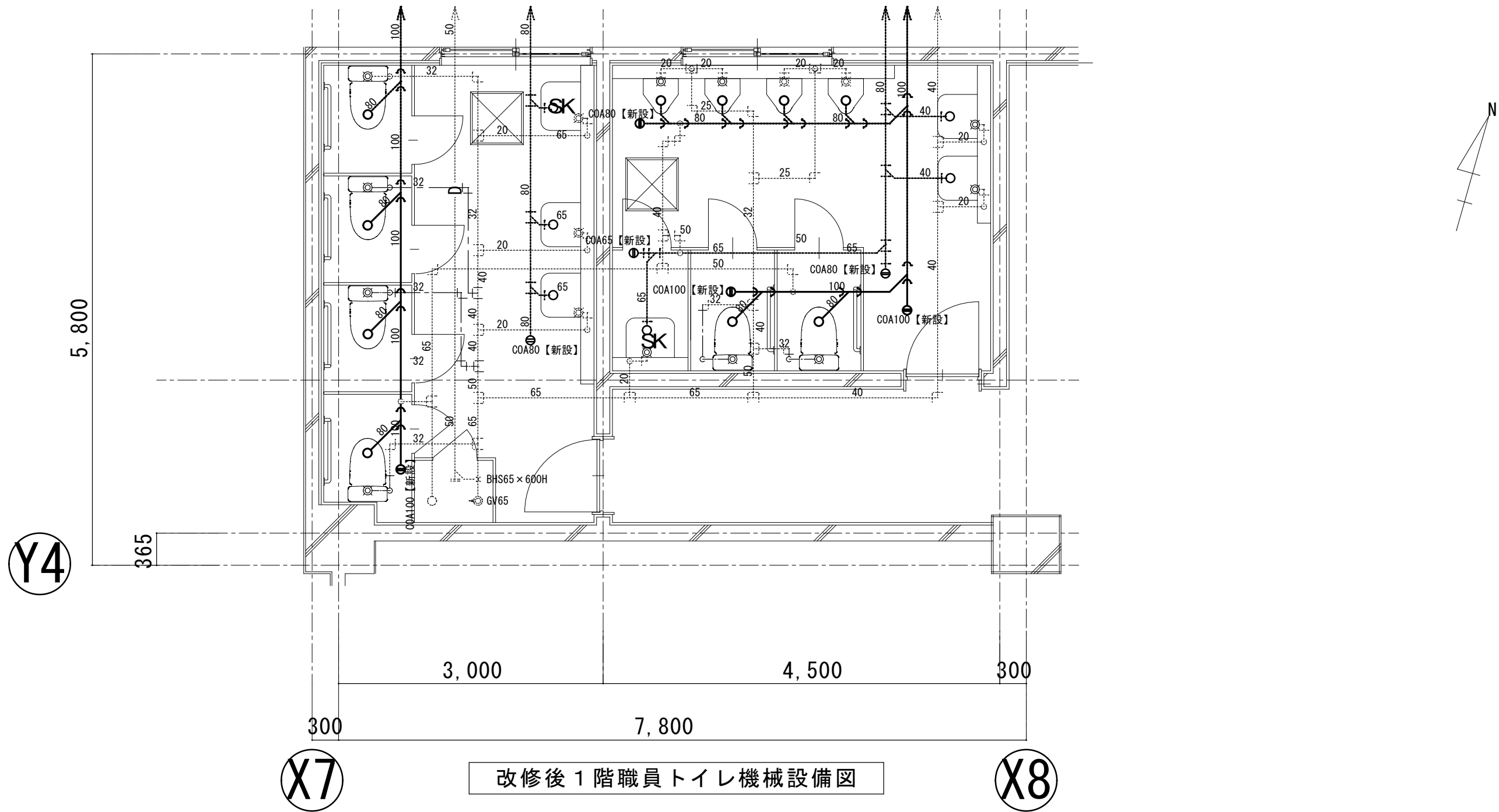
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（汚水）	排水用鉛管
排水管（雑排水）	排水用鉛管

配管撤去範囲

撤去器具リスト

器具名称	男性	女性	個数
和式便器	1	3	4
洋式便器	1	1	2
小便器	4	0	4
掃除用流し	1	1	2
紙巻器	4	2	6

備考		工 事 名	令和6年度（線） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】1階職員トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角田市 角田 字 牛館 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	M-08



改修後 1 階職員トイレ機械設備図

■改修配管

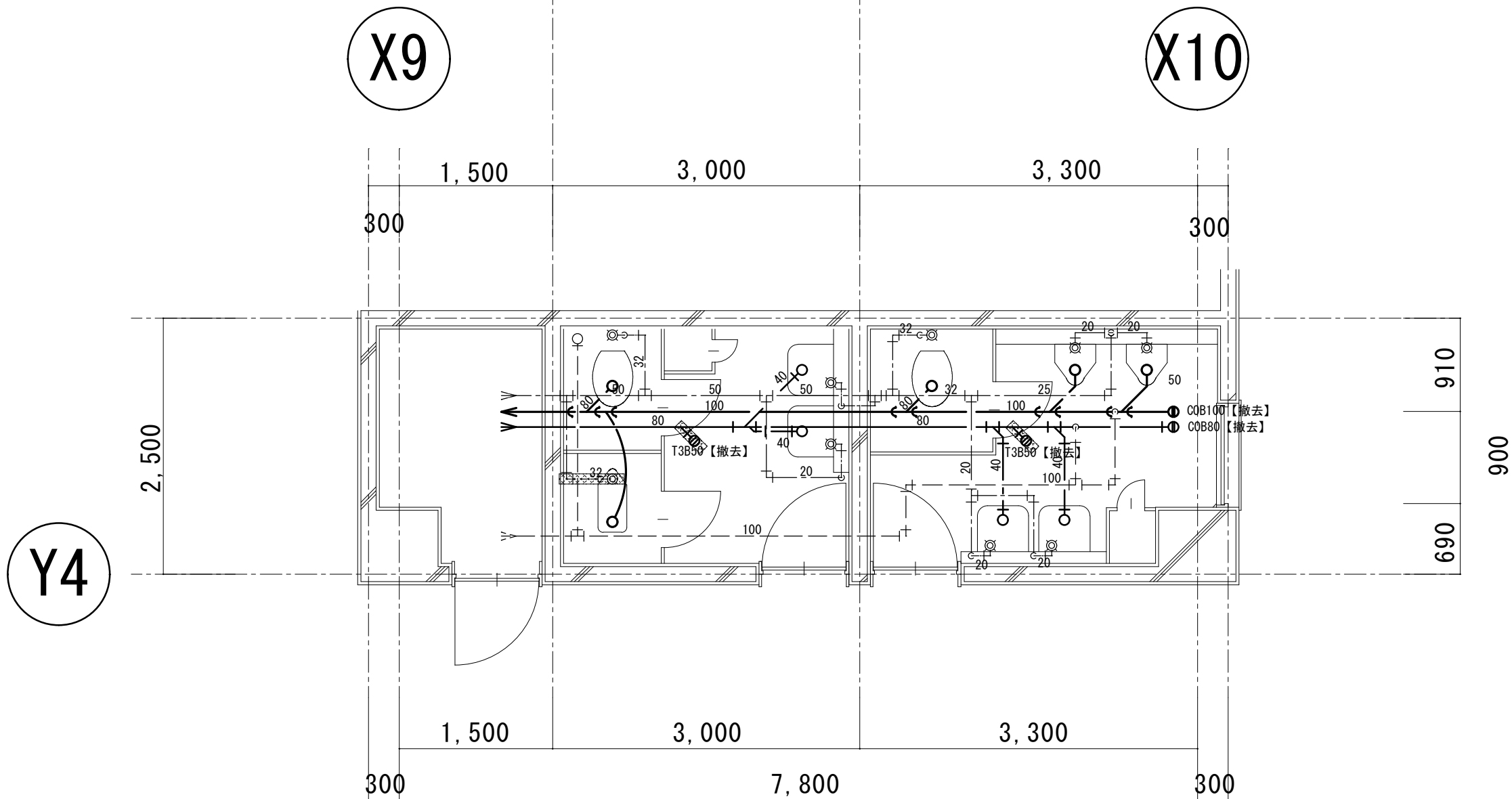
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（污水）	耐火二層管VP
排水管（雑排水）	耐火二層管VP

衛生器具表

器 具 名	記 号 (参考：TOTO品番)	男性 便所	女性 便所	数 量
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF5534AU（エコリモコン） その他付属品一式付	2	4	6
小 便 器	UFH507CR（フラッシュバルブ） その他付属品一式付	4	0	4
マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	1	1	2
手 洗 器	L210C（自閉式水洗） その他付属品一式	2	2	4
棚付二連紙巻器	YH702	2	4	6
標記板(再利用)	-	4	8	12

※防火区画の貫通部は両側 1 m 以内は不燃材料とし、穴の周囲は不燃材料で埋めること。

備 考		工 事 名	令和 6 年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】 1 階職員トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角 田 市 産 業 建 設 部 都 市 計 画 課	S = 1 : 50	2025.6	M-09



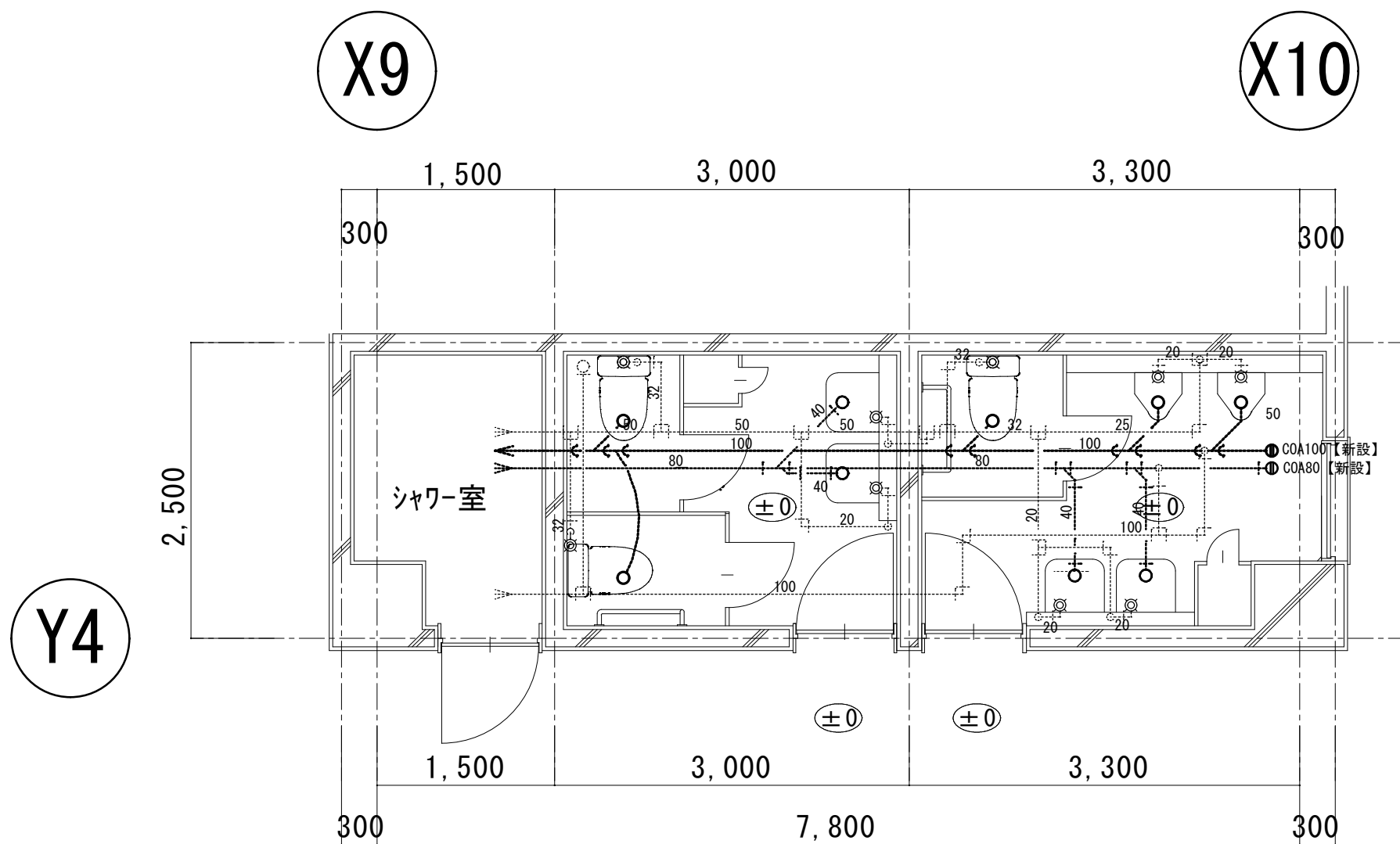
改修前南校舎２階東側トイレ機械設備図

■既存配管	
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（汚水）	排水用鉛管
排水管（雑排水）	排水用鉛管

 配管撤去範囲

撤去器具リスト			
器具名称	男性	女性	個数
和式便器	0	1	1
洋式便器	1	1	2
小便器	2	0	2
手洗器	2	2	4
掃除用流し	0	0	0
紙巻器	2	1	3

備考		工 事 名	令和６年度（緑） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎２階東側トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	M-10



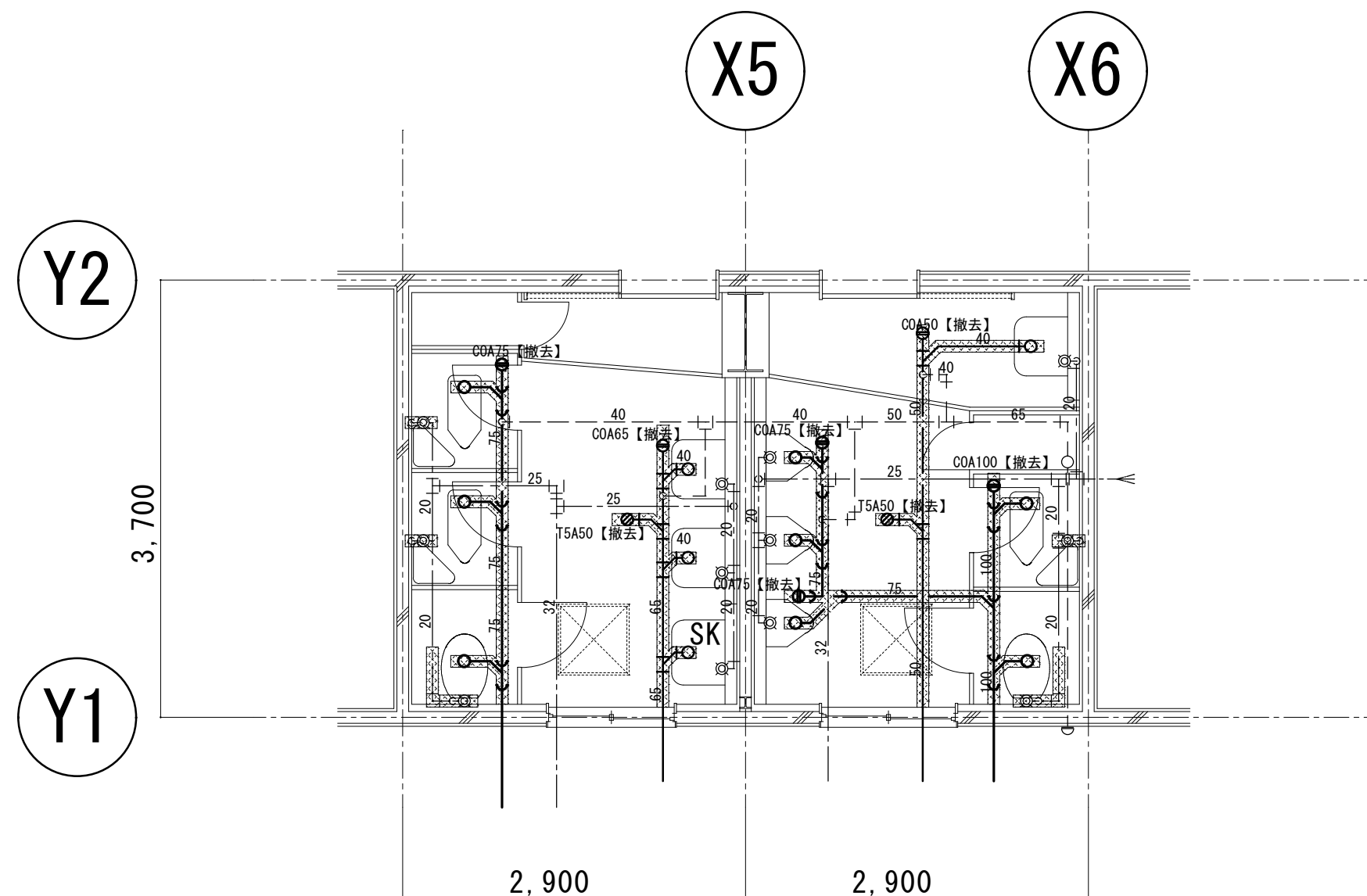
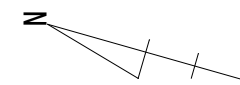
改修後南校舎 2 階東側トイレ機械設備図

■改修配管	
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（污水）	耐火二層管VP
排水管（雑排水）	耐火二層管VP

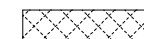
衛生器具表		器 具 名	記 号 (参考：TOTO品番)	男性 便所	女性 便所	数 量
		洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	1	2	3
		小 便 器	UFH508CR（フラッシュバルブ）その他付属品一式付	2	0	2
		マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	0	0	0
		手 洗 器	L210C（自閉式水洗） その他付属品一式	2	2	4
		棚付二連紙巻器	YH702	1	2	3
		標記板（再利用）	-	4	2	6

※防火区画の貫通部は両側 1 m 以内は不燃材料とし、穴の周囲は不燃材料で埋めること。

備 考		工 事 名	令和 6 年度（緑） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎 2 階東側トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	M-11



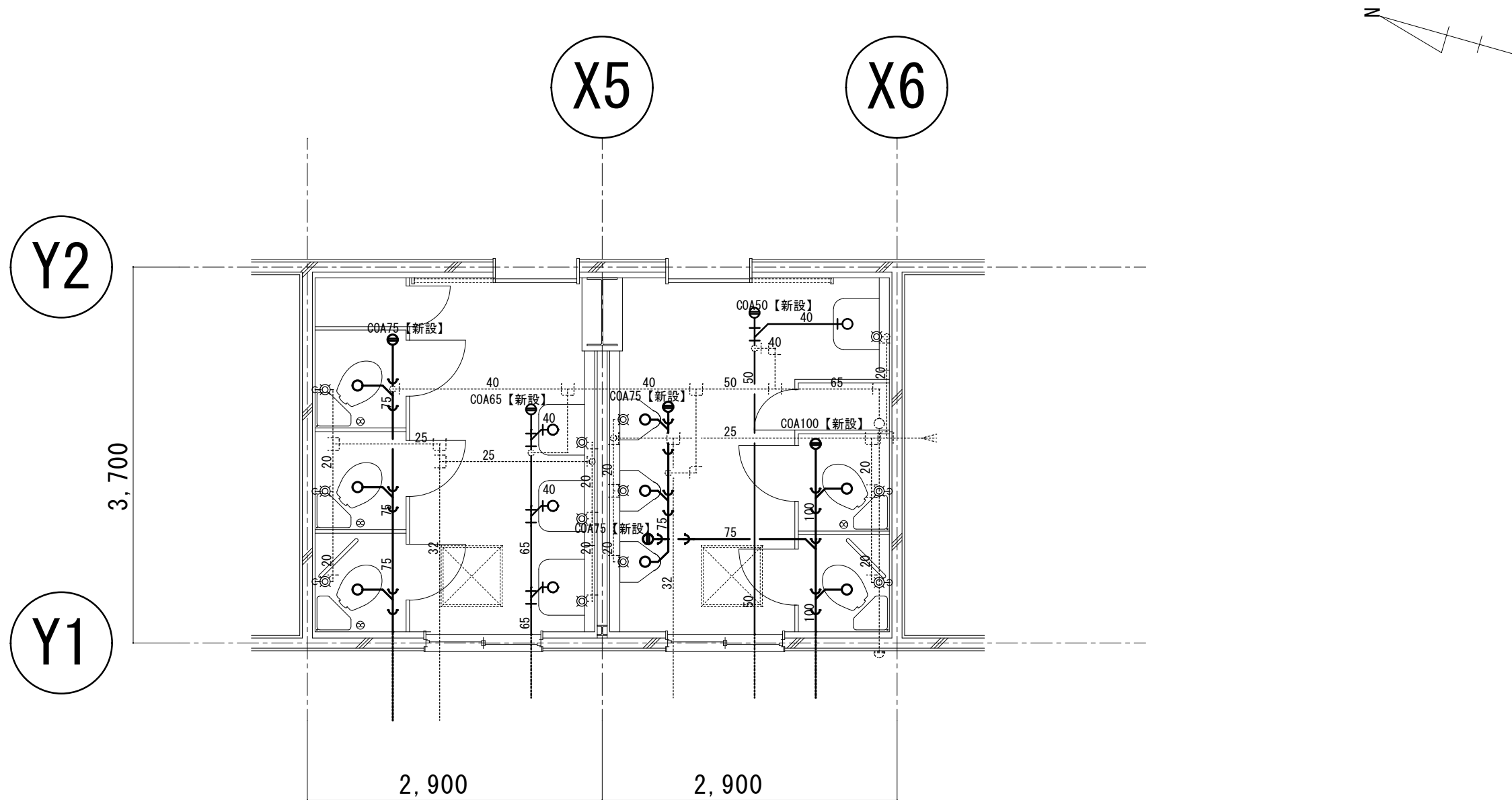
改修前屋内運動場トイレ機械設備図

 配管撤去範囲

■既存配管	
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（污水）	排水用鉛管
排水管（雑排水）	排水用鉛管

撤去器具リスト			
器具名称	男性	女性	個数
和式便器	1	2	3
洋式便器	1	1	2
小便器	2	0	2
洗面器	1	2	3
掃除用流し	0	1	1
鏡（一時撤去）	1	2	3

備考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】屋内運動場トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	M-12



改修後屋内運動場トイレ機械設備図

■改修配管	
給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管（保温）
排水管（污水）	耐火二層管VP
排水管（雑排水）	耐火二層管VP

衛生器具表		器 具 名	記 号 (参考：TOTO品番)	男性 便所	女性 便所	数 量
		洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	2	3	5
		小 便 器	UFH508CR（フラッシュバルブ）その他付属品一式付	3	0	3
		マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	0	1	1
		手 洗 器	L210C（自閉式水洗） その他付属品一式	1	2	3
		棚付二連紙巻器	YH702	2	3	5
		鏡	再利用品	1	2	3

※防火区画の貫通部は両側1m以内は不燃材料とし、穴の周囲は不燃材料で埋めること。

備 考		工 事 名	令和6年度（繰） 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】屋内運動場トイレ機械設備図	縮 尺	作 成 年 月	図 面 番 号
		工 事 場 所	角 田 市 角 田 字 牛 館 地 内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	M-13